

教科	国語	学年	第1学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
はるが きた	3	◎互いの話に関心をもつことができる。(思・判・表A(1)オ) ・言葉には、事物の内容を表す働きがあることに気づくことができる。(知・技(1)ア) ■絵を見て話したり応答したりする。 ☆学校生活(生活科)	【知・技】言葉には、事物の内容を表す働きがあることに気づいている。((1)ア)	【思・判・表】「話すこと・聞くこと」において、互いの話に関心をもっている。(A(1)オ)	【態】進んで友達の話に関心を持ち、これまでの経験をいかして話したり応答したりしようとしている。
おはなし ききたいな	3	◎読書に親しみ、いろいろな本があることを知ることができる。(知・技(3)エ) ○文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつことができる。(思・判・表C(1)オ) ■読み聞かせを聞いて楽しむ。	【知・技】読書に親しみ、いろいろな本があることを知っている。((3)エ)	【思・判・表】「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。(C(1)オ)	【態】積極的にいろいろな本を手に取り、これまでの経験をいかして読み聞かせを楽しもうとしている。
なんて いおうかな	3	◎身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選ぶことができる。(思・判・表A(1)ア) ○丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気をつけて使うことができる。(知・技(1)キ) ○伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さなどを工夫することができる。(思・判・表A(1)ウ) ■場面に応じた言葉や動作を考えて、伝え合う。 ☆先生や友達などの多くの人と親しみをもって関わって学校生活を楽しむことや、場に応じた挨拶に関わる題材(道徳)	【知・技】丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気をつけて使っている。((1)キ)	【思・判・表】 ・「話すこと・聞くこと」において、身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選んでいる。(A(1)ア) ・「話すこと・聞くこと」において、伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さなどを工夫している。(A(1)ウ)	【態】経験を基に積極的に言うことを考え、学習課題に沿って自分の考えを伝えようとしている。
かく こと たのしいな	2	◎平仮名を読み、書くことができる。(知・技(1)ウ) ・姿勢や筆記具の持ち方を正しくして書くことができる。(知・技(3)ウ) ■正しい姿勢や鉛筆の持ち方を意識して書く。 ☆正しい姿勢と鉛筆の持ち方(書写)	【知・技】 ・平仮名を読み、書いている。((1)ウ) ・姿勢や筆記具の持ち方を正しくして書いている。((3)ウ)		【態】正しい姿勢や鉛筆の持ち方で書くことに粘り強く取り組み、自分なりに、字を書く際に気をつけたいことを見つけようとしている。

令和6年度 評価規準

学校名:江戸川区立西葛西小学校

どうぞ よろしく	4	<p>◎身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選ぶことができる。(思・判・表A(1)ア)</p> <p>○経験したことから書くことを見つけ、伝えたい事柄を明確にすることができる。(思・判・表B(1)ア)</p> <p>・丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気をつけて使うことができる。(知・技(1)キ)</p> <p>■名前カードを使って友達と交流する。</p> <p>☆互いを知り、新しい仲間をつくる題材(生活科)</p> <p>☆好きなものの絵を描く活動(図画工作)</p>	【知・技】丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気をつけて使っている。((1)キ)	【思・判・表】 ・「話すこと・聞くこと」において、身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選んでいる。(A(1)ア) ・「書くこと」において、経験したことから書くことを見つけ、伝えたい事柄を明確にしている。(B(1)ア)	【態】積極的に自分の名前を書いたり好きなものを考えたりし、これまでの経験をいかして友達と交流しようとしている。
こんなもの みつけたよ	3	<p>◎身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選ぶことができる。(思・判・表A(1)ア)</p> <p>○丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気をつけて使うことができる。(知・技(1)キ)</p> <p>■見つけたものや思ったことを友達に紹介する。</p> <p>☆学校探検(生活科)</p>	【知・技】丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気をつけて使っている。((1)キ)	【思・判・表】「話すこと・聞くこと」において、身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選んでいる。(A(1)ア)	【態】紹介したい事柄を積極的に選び、学習課題に沿って見つけたものより分かりやすく紹介しようとしている。
うたに あわせて あいうえお	3	<p>◎姿勢や口形、発声や発音に注意して話すことができる。(知・技(1)イ)</p> <p>○長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気づくことができる。(知・技(3)イ)</p> <p>■音読する。</p> <p>■正しい筆順で文字を書く。</p> <p>☆歌を通して正しい発声を身につける題材(音楽)</p>	【知・技】 ・姿勢や口形、発声や発音に注意して話している。((1)イ) ・長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気づいている。((3)イ)		【態】進んで姿勢や口形、発声や発音に注意し、学習課題に沿って音読しようとしている。
こえに だして よもう	2	<p>◎場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えることができる。(思・判・表C(1)イ)</p> <p>○語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読することができる。(知・技(1)ク)</p> <p>■詩を音読する。</p> <p>■想像を広げながら詩を読む。</p>	【知・技】語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読している。((1)ク)	【思・判・表】「読むこと」において、場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えている。(C(1)イ)	【態】進んで詩に描かれた様子を想像し、これまでの学習をいかして音読しようとしている。

令和6年度 評価規準

学校名:江戸川区立西葛西小学校

よく きいて、はなそう	3	<p>◎話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもつことができる。(思・判・表A(1)エ)</p> <p>○言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気づくことができる。(知・技(1)ア)</p> <p>○伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さなどを工夫することができる。(思・判・表A(1)ウ)</p> <p>■応答したり、感想を伝えたりする。</p>	<p>【知・技】言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気づいている。((1)ア)</p>	<p>【思・判・表】</p> <p>・「話すこと・聞くこと」において、伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さなどを工夫している。(A(1)ウ)</p> <p>・「話すこと・聞くこと」において、話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもっている。(A(1)エ)</p>	<p>【態】興味をもって進んで友達の話聞き、より伝わる話し方を考えながら、みんなに知らせようとしている。</p>
ことばを さがそう	3	<p>◎音節と文字との関係に気づくことができる。(知・技(1)イ)</p> <p>◎身近なことを表す語句の量を増し、語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)オ)</p> <p>■言葉集めをする。</p>	<p>【知・技】</p> <p>・音節と文字との関係に気づいている。((1)イ)</p> <p>・身近なことを表す語句の量を増し、語彙を豊かにしている。((1)オ)</p>		<p>【態】語句の音節と文字との関係を積極的に理解し、これまでの学習をいかして言葉を集めようとしている。</p>
はなの みち	7	<p>◎語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読することができる。(知・技(1)ク)</p> <p>◎場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えることができる。(思・判・表C(1)イ)</p> <p>○敬体で書かれた文章に慣れることができる。(知・技(1)キ)</p> <p>■想像を広げながら物語を読む。</p> <p>■物語の音読をする。</p> <p>☆動植物や自然に親しむことに関わる題材(道徳)</p> <p>☆植物の種をまき育てることに関わる題材(生活科)</p>	<p>【知・技】</p> <p>・敬体で書かれた文章に慣れている。((1)キ)</p> <p>・語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読している。((1)ク)</p>	<p>【思・判・表】「読むこと」において、場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えている。(C(1)イ)</p>	<p>【態】興味をもって進んでお話の内容を捉え、学習課題に沿って友達と協力して音読しようとしている。</p>
としょかんへ いこう	3	<p>◎読書に親しみ、いろいろな本があることを知ることができる。(知・技(3)エ)</p> <p>■学校図書館で好きな本を選んで読書に親しむ。</p> <p>☆好きな本を見つけたり、司書の方にきいたりする活動(図書館活用)</p>	<p>【知・技】平仮名を読み、書いている。((1)ウ)</p>	<p>【思・判・表】「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。(B(1)ウ)</p>	<p>【態】進んで濁音を含む言葉を見つけ、これまでの学習をいかして文字で表そうとしている。</p>
かきと かぎ	3	<p>◎平仮名を読み、書くことができる。(知・技(1)ウ)</p> <p>○語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫することができる。(思・判・表B(1)ウ)</p>	<p>【知・技】平仮名を読み、書いている。((1)ウ)</p>	<p>【思・判・表】「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。(B(1)ウ)</p>	<p>【態】進んで濁音を含む言葉を見つけ、これまでの学習をいかして文字で表そうとしている。</p>

令和6年度 評価規準

学校名:江戸川区立西葛西小学校

ぶんをつくろう	4	<p>◎文の中における主語と述語との関係に気づくことができる。(知・技(1)カ) ○句点の打ち方を理解して文の中で使うことができる。(知・技(1)ウ) ○語と語との続き方に注意することができる。(思・判・表B(1)ウ) ■主語と述語を意識して文を書く。</p>	<p>【知・技】 ・句点の打ち方を理解して文の中で使っている。((1)ウ) ・文の中における主語と述語との関係に気づいている。((1)カ)</p>	<p>【思・判・表】「書くこと」において、語と語との続き方に注意している。(B(1)ウ)</p>	<p>【態】語と語との続き方を丁寧にかきめながら、これまでの学習をいかして文を書こうとしている。</p>
ねことねっこ	3	<p>◎促音の表記、助詞の「を」の使い方、句点の打ち方を理解し、文の中で使うことができる。(知・技(1)ウ) ○語と語との続き方に注意することができる。(思・判・表B(1)ウ) ■促音や濁音のある言葉を使って文を書く。</p>	<p>【知・技】促音の表記、助詞の「を」の使い方、句点の打ち方を理解し、文の中で使っている。((1)ウ)</p>	<p>【思・判・表】「書くこと」において、語と語との続き方に注意している。(B(1)ウ)</p>	<p>【態】進んで促音や濁音のある言葉を見つけようとし、これまでの学習をいかして文を書こうとしている。</p>
わけをはなそう	3	<p>◎相手に伝わるように、行動したことや経験したことに基いて、話す事柄の順序を考えることができる。(思・判・表A(1)イ) ○言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気づくことができる。(知・技(1)ア) ○身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選ぶことができる。(思・判・表A(1)ア) ■自分の考えとそのわけを話す。 ☆わけを説明する題材(生活科・算数)</p>	<p>【知・技】言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気づいている。((1)ア)</p>	<p>【思・判・表】 ・「話すこと・聞くこと」において、身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選んでいる。(A(1)ア) ・「話すこと・聞くこと」において、相手に伝わるように、行動したことや経験したことに基いて、話す事柄の順序を考えている。(A(1)イ)</p>	<p>【態】話す事柄の順序を進んで考えながら、これまでの学習や経験をいかして考えとわけを話そうとしている。</p>
おばさんとおばあさん	3	<p>◎長音の表記、助詞の「へ」の使い方、句点の打ち方を理解し、文の中で使うことができる。(知・技(1)ウ) ○語と語との続き方に注意することができる。(思・判・表B(1)ウ) ■長音のある言葉を使って文を書く。</p>	<p>【知・技】長音の表記、助詞の「へ」の使い方、句点の打ち方を理解し、文の中で使っている。((1)ウ)</p>	<p>【思・判・表】「書くこと」において、語と語との続き方に注意している。(B(1)ウ)</p>	<p>【態】進んで長音のある言葉を見つけようとし、これまでの学習をいかして文を書こうとしている。</p>
あいうえおで あそぼう	3	<p>◎平仮名を読み、書くことができる。(知・技(1)ウ) ◎長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気づくことができる。(知・技(3)イ) ○姿勢や口形、発声や発音に注意して話すことができる。(知・技(1)イ) ■言葉遊び歌を楽しむ。</p>	<p>【知・技】 ・姿勢や口形、発声や発音に注意して話している。((1)イ) ・平仮名を読み、書いている。((1)ウ) ・長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気づいている。((3)イ)</p>		<p>【態】進んで平仮名の五十音をかきめ、これまでの学習をいかして言葉遊びを楽しもうとしている。</p>

令和6年度 評価規準

学校名:江戸川区立西葛西小学校

つぼみ	<p>8</p> <p>8時間(知・技②、読⑥) ◎事柄の順序を考えながら、内容の大体を捉えることができる。(思・判・表C(1)ア) ○文の中における主語と述語との関係に気づくことができる。(知・技(1)カ) ○語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読することができる。(知・技(1)ク) ○文章の中の重要な語や文を考えて選り出すことができる。(思・判・表C(1)ウ) ■文章を読んで分かったことや考えたことを伝え合う。 ☆動植物や自然に親しむ題材(道徳) ☆図鑑でいろいろな花のつぼみを見つける活動(図書館活用)</p>	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文の中における主語と述語との関係に気づいている。((1)カ) ・語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読している。((1)ク) 	<p>【思・判・表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えている。(C(1)ア) ・「読むこと」において、文章の中の重要な語や文を考えて選り出している。(C(1)ウ) 	<p>【態】積極的に説明の順序を捉えながら文章を読み、学習課題に沿って分かったことや考えたことを伝えようとしている。</p>
おもちゃと おもちゃ	<p>3</p> <p>◎拗音の表記、句点の打ち方を理解し、文の中で使うことができる。(知・技(1)ウ) ○語と語との続き方に注意することができる。(思・判・表B(1)ウ) ■拗音のある言葉を使って文を書く。</p>	<p>【知・技】拗音の表記、句点の打ち方を理解し、文の中で使っている。((1)ウ)</p>	<p>【思・判・表】「書くこと」において、語と語との続き方に注意している。(B(1)ウ)</p>	<p>【態】進んで拗音のある言葉を見つけようとし、これまでの学習をいかして文を書こうとしている。</p>
おおきく なった	<p>4</p> <p>◎観察したことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりすることができる。(思・判・表B(1)ア) ○身近なことを表す語句の量を増し、文章の中で使うことができる。(知・技(1)オ) ■観察したことを記録する文を書く。 ☆植物を観察する活動(生活科) ☆観察時に写真を撮影(ICT活用)</p>	<p>【知・技】身近なことを表す語句の量を増し、文章の中で使っている。((1)オ)</p>	<p>【思・判・表】「書くこと」において、観察したことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりしている。(B(1)ア)</p>	<p>【態】植物をさまざまな観点から積極的に観察し、これまでの学習をいかして観察したことを記録しようとしている。</p>
おおきな かぶ	<p>7</p> <p>◎語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読することができる。(知・技(1)ク) ◎場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えることができる。(思・判・表C(1)イ) ○文の中における主語と述語との関係に気づくことができる。(知・技(1)カ) ○場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像することができる。(思・判・表C(1)エ) ■物語を楽しんで音読したり、劇遊びをしたりする。 ☆人との関わりで協力したり親切にしたりする題材(道徳) ☆練習を撮影した動画をいかした振り返り(ICT活用)</p>	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文の中における主語と述語との関係に気づいている。((1)カ) ・語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読している。((1)ク) 	<p>【思・判・表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えている。(C(1)イ) ・「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。(C(1)エ) 	<p>【態】積極的に登場人物の行動を捉え、これまでの学習をいかして音読や劇遊びをしようとしている。</p>

令和6年度 評価規準

学校名:江戸川区立西葛西小学校

<p>はをへを つかおう</p>	<p>3</p>	<p>◎助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方を理解して文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)ウ) ○語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫することができる。(思・判・表B(1)ウ) ■助詞「は」「へ」「を」を使った書き方</p>	<p>【知・技】助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方を理解して文や文章の中で使っている。((1)ウ)</p>	<p>【思・判・表】「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。(B(1)ウ)</p>	<p>【態】進んで助詞の使い方を確かめながら、学習課題に沿って文を作ろうとしている。</p>
<p>すきな こと、なかに</p>	<p>7</p>	<p>◎身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選ぶことができる。(思・判・表A(1)ア) ◎語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫することができる。(思・判・表B(1)ウ) ○言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気づくことができる。(知・技(1)ア) ○丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気をつけて使うとともに、敬体で書かれた文章に慣れることができる。(知・技(1)キ) ○相手に伝わるように、行動したことや経験したことに基づいて、話す事柄の順序を考えることができる。(思・判・表A(1)イ) ■「好きなこと」を紹介する。</p>	<p>【知・技】 ・言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気づいている。((1)ア) ・丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気をつけて使うとともに、敬体で書かれた文章に慣れている。((1)キ)</p>	<p>【思・判・表】 ・「話すこと・聞くこと」において、身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選んでいる。(A(1)ア) ・「話すこと・聞くこと」において、相手に伝わるように、行動したことや経験したことに基づいて、話す事柄の順序を考えている。(A(1)イ) ・「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。(B(1)ウ)</p>	<p>【態】粘り強く伝えたいことや表し方を考え、これまでの学習をいかして自分が好きなものとその理由を紹介しようとしている。</p>
<p>おむすび ころりん</p>	<p>5</p>	<p>◎昔話の読み聞かせを聞くなどして、我が国の伝統的な言語文化に親しむことができる。(知・技(3)ア) ◎場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えることができる。(思・判・表C(1)イ) ○語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読することができる。(知・技(1)ク) ■昔話を音読したり演じたりする。 ☆練習を撮影した動画をいかした振り返り(ICT活用)</p>	<p>【知・技】 ・語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読している。((1)ク) ・昔話の読み聞かせを聞くなどして、我が国の伝統的な言語文化に親しんでいる。((3)ア)</p>	<p>【思・判・表】「読むこと」において、場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えている。(C(1)イ)</p>	<p>【態】進んで昔話の内容を捉え、これまでの学習をいかして音読しようとしている。</p>

令和6年度 評価規準

学校名:江戸川区立西葛西小学校

<p>こんな ことが あったよ</p>	<p>7</p>	<p>◎経験したことや想像したことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にすることができる。(思・判・表B(1)ア) ○文章に対する感想を伝え合い、自分の文章のよいところを見つけることができる。(思・判・表B(1)オ) ・言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気づくことができる。(知・技(1)ア) ■出来事や経験を報告する文章を書く。</p>	<p>【知・技】言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気づいている。((1)ア)</p>	<p>【思・判・表】 ・「書くこと」において、経験したことや想像したことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア) ・「書くこと」において、文章に対する感想を伝え合い、自分の文章のよいところを見つけている。(B(1)オ)</p>	<p>【態】積極的に出来事や経験を思い出し、これまでの学習をいかして日記に書くようとしている。</p>
<p>としょかんと なかよし</p>	<p>3</p>	<p>◎読書に親しみ、いろいろな本があることを知ることができる。(知・技(3)エ) ■図書館に行き、好きな本を選んで読書に親しむ。 ☆好きな本を見つけたり、司書の方にきいたりする活動(図書館活用)</p>	<p>【知・技】読書に親しみ、いろいろな本があることを知っている。((3)エ)</p>		<p>【態】積極的にいろいろな本を手に取り、これまでの学習をいかして本を選ぶようとしている。</p>
<p>こえを あわせて よもう</p>	<p>3</p>	<p>◎場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えることができる。(思・判・表C(1)イ) ○語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読することができる。(知・技(1)ク) ■詩を音読する。 ☆好きな詩を探して読む活動の継続(図書館活用)</p>	<p>【知・技】語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読している。((1)ク)</p>	<p>【思・判・表】「読むこと」において、場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えている。(C(1)イ)</p>	<p>【態】進んで詩の内容を捉え、これまでの学習をいかして音読を楽しもうとしている。</p>
<p>みんなに しらせよう</p>	<p>3</p>	<p>◎場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えることができる。(思・判・表C(1)イ) ○語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読することができる。(知・技(1)ク) ■詩を音読する。 ☆好きな詩を探して読む活動の継続(図書館活用)</p>	<p>【知・技】語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読している。((1)ク)</p>	<p>【思・判・表】「読むこと」において、場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えている。(C(1)イ)</p>	<p>【態】進んで詩の内容を捉え、これまでの学習をいかして音読を楽しもうとしている。</p>
<p>ことばを みつけよう</p>	<p>3</p>	<p>◎身近なことを表す語句の量を増し、語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)オ) ■みんなで言葉遊びをする。</p>	<p>【知・技】身近なことを表す語句の量を増し、語彙を豊かにしている。((1)オ)</p>		<p>【態】積極的に言葉遊びに取り組み、これまでの学習をいかして自分でも言葉遊びを作成しようとしている。</p>

令和6年度 評価規準

学校名:江戸川区立西葛西小学校

<p>やくそく</p>	<p>8</p>	<p>◎場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えることができる。(思・判・表C(1)イ) ○文の中における主語と述語との関係に気づくことができる。(知・技(1)カ) ○語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読することができる。(知・技(1)ク) ○場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像することができる。(思・判・表C(1)エ) ■お話を楽しんだり、想像を広げたりしながら読む。 ☆人との関わりや譲り合い等に関わる題材(道徳)</p>	<p>【知・技】 ・文の中における主語と述語との関係に気づいている。((1)カ) ・語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読している。((1)ク)</p>	<p>【思・判・表】 ・「読むこと」において、場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えている。(C(1)イ) ・「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。(C(1)エ)</p>	<p>【態】進んで登場人物の行動を確かめ、学習の見通しをもって声に出してお話を楽しもうとしている。</p>
<p>かたかなを みつけよう</p>	<p>3</p>	<p>◎片仮名を読み、書くとともに、片仮名の長音、拗音、促音、撥音などの表記を理解して文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)ウ) ○語と語との続き方に注意しながら、文を書き表すことができる。(思・判・表B(1)ウ) ■身の回りから片仮名で書く言葉を見つけて、読んだり書いたりする。</p>	<p>【知・技】片仮名を読み、書くとともに、片仮名の長音、拗音、促音、撥音などの表記を理解して文や文章の中で使っている。((1)ウ)</p>	<p>【思・判・表】「書くこと」において、語と語との続き方に注意しながら文を書き表している。(B(1)ウ)</p>	<p>【態】身の回りから片仮名で書く言葉を進んで見つけ、これまでの学習をいかして簡単な文を書こうとしている。</p>
<p>うみの かくれんぼ</p>	<p>9</p>	<p>◎文章の中の重要な語や文を考えて選り出すことができる。(思・判・表C(1)ウ) ○文の中における主語と述語との関係に気づくことができる。(知・技(1)カ) ○事柄の順序など情報と情報との関係について理解することができる。(知・技(2)ア) ○事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えることができる。(思・判・表C(1)ア) ■説明する文章を読み、分かったことを伝える。 ☆自然に親しむ題材(道徳) ☆他の生き物の隠れ方を図鑑等で調べる活動(図書館活用)</p>	<p>【知・技】 ・文の中における主語と述語との関係に気づいている。((1)カ) ・事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。((2)ア)</p>	<p>【思・判・表】 ・「読むこと」において、事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えている。(C(1)ア) ・「読むこと」において、文章の中の重要な語や文を考えて選り出している。(C(1)ウ)</p>	<p>【態】粘り強く文章の中で大事な言葉を押さえながら読み、学習課題に沿って分かったことを伝えようとしている。</p>
<p>かずと かんじ</p>	<p>4</p>	<p>◎第1学年に配当されている漢字を読み、漸次書くことができる。(知・技(1)エ) ・語と語との続き方に注意しながら文を書き表すことができる。(思・判・表B(1)ウ) ■数え歌を書く。</p>	<p>【知・技】第1学年に配当されている漢字を読み、漸次書いている。((1)エ)</p>	<p>【思・判・表】「書くこと」において、語と語との続き方に注意しながら文を書き表している。(B(1)ウ)</p>	<p>【態】積極的に数え方に興味をもち、これまでの学習や経験をいかして漢字を使って数え歌を書こうとしている。</p>

令和6年度 評価規準

学校名:江戸川区立西葛西小学校

くじらぐも	8	<p>◎かぎ(「 」)の使い方を理解して文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)ウ)</p> <p>◎場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像することができる。(思・判・表C(1)エ)</p> <p>○語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読することができる。(知・技(1)ク)</p> <p>■読んで想像したことを伝え合う。</p>	<p>【知・技】</p> <p>・かぎ(「 」)の使い方を理解して文や文章の中で使っている。((1)ウ)</p> <p>・語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読している。((1)ク)</p>	<p>【思・判・表】「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。(C(1)エ)</p>	<p>【態】積極的に想像力を広げて物語を読み、これまでの学習をいかして想像したことを友達に伝えようとしている。</p>
まちがいを なおそう	3	<p>◎文章を読み返す習慣をつけるとともに、間違いを正すことができる。(思・判・表B(1)エ)</p> <p>○助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方を理解して、文や文章の中で使っている。(知・技(1)ウ)</p> <p>■正しい表記で文章を書く。</p>	<p>【知・技】助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方を理解して、文や文章の中で使っている。((1)ウ)</p>	<p>【思・判・表】「書くこと」において、文章を読み返す習慣をつけるとともに、間違いを正している。(B(1)エ)</p>	<p>【態】進んで文章を見直し、これまでの学習をいかして適切な表記に正そうとしている。</p>
しらせたいな、見せたいな	10	<p>◎経験したことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりすることができる。(思・判・表B(1)ア)</p> <p>○言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気づくことができる。(知・技(1)ア)</p> <p>○助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方、かぎ(「 」)の使い方を理解して、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)ウ)</p> <p>○語と語や文と文との続き方に注意しながら書き表すことができる。(思・判・表B(1)ウ)</p> <p>■見つけたことを記録して伝える。</p> <p>☆動植物の観察記録文を書く活動(生活科)</p> <p>☆知らせたい対象を端末で撮影(ICT活用)</p>	<p>【知・技】</p> <p>・言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気づいている。((1)ア)</p> <p>・助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方、かぎ(「 」)の使い方を理解して、文や文章の中で使っている。((1)ウ)</p>	<p>【思・判・表】</p> <p>・「書くこと」において、経験したことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりしている。(B(1)ア)</p> <p>・「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら書き表している。(B(1)ウ)</p>	<p>【態】知らせたいものを丁寧に観察し、学習の見通しをもって見つけたことを文章にして伝えようとしている。</p>
かん字の はなし	6	<p>◎第1学年に配当されている漢字を読み、漸次書き、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)エ)</p> <p>○語と語との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫することができる。(思・判・表B(1)ウ)</p> <p>■漢字を使った短文を書く。</p>	<p>【知・技】第1学年に配当されている漢字を読み、漸次書き、文や文章の中で使っている。((1)エ)</p>	<p>【思・判・表】「書くこと」において、語と語との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。(B(1)ウ)</p>	<p>【態】積極的に漢字の成り立ちに興味をもち、学習課題に沿って漢字を使った短い文を書こうとしている。</p>

令和6年度 評価規準

学校名:江戸川区立西葛西小学校

ことばを たのしもう	3	<p>◎長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気づくことができる。(知・技(3)イ)</p> <p>○音節と文字との関係に気づくとともに、発声や発音に注意して話すことができる。(知・技(1)イ)</p> <p>○語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読することができる。(知・技(1)ク)</p> <p>■詩や早口言葉を楽しむ。</p> <p>☆他にもおもしろい発音の詩を探す活動(図書館活用)</p>	<p>【知・技】</p> <p>・音節と文字との関係に気づくとともに、発声や発音に注意して話している。((1)イ)</p> <p>・語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読している。((1)ク)</p> <p>・長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気づいている。((3)イ)</p>		<p>【態】積極的に詩や早口言葉を楽しみ、これまでの学習や経験をいかして、発声や発音に気をつけながら声に出して読もうとしている。</p>
じどう車くらべ	8	<p>◎事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えることができる。(思・判・表C(1)ア)</p> <p>○事柄の順序など情報と情報との関係について理解することができる。(知・技(2)ア)</p> <p>○文章の中の重要な語や文を考えて選び出すことができる。(思・判・表C(1)ウ)</p> <p>■事物の仕組みを説明した文章を読み、分かったことをまとめる。</p>	<p>【知・技】事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。((2)ア)</p>	<p>【思・判・表】</p> <p>・「読むこと」において、事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えている。(C(1)ア)</p> <p>・「読むこと」において、文章の中の重要な語や文を考えて選び出している。(C(1)ウ)</p>	<p>【態】進んで説明における順序を考えながら読み、自分が説明するときにかしたいことを見つけようとしている。</p>
じどう車ずかんをつくろう	5	<p>◎事柄の順序に沿って簡単な構成を考えることができる。(思・判・表B(1)イ)</p> <p>○事柄の順序など情報と情報との関係について理解することができる。(知・技(2)ア)</p> <p>■「じどう車しょうかいカード」を書く。</p> <p>☆自動車について書かれた図鑑等を選んで読む活動(図書館活用)</p>	<p>【知・技】事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。((2)ア)</p>	<p>【思・判・表】「書くこと」において、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えている。(B(1)イ)</p>	<p>【態】分かりやすい説明のしかたについて興味をもち、説明の順序に気をつけながら、見通しをもって自動車図鑑を作ろうとしている。</p>
かたかなを かこう	3	<p>◎片仮名を読み、書くとともに、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)ウ)</p> <p>○語と語との続き方に注意しながら、書き表し方を工夫することができる。(思・判・表B(1)ウ)</p> <p>■片仮名で書く言葉を集め、短文を書く。</p>	<p>【知・技】片仮名を読み、書くとともに、文や文章の中で使っている。((1)ウ)</p>	<p>【思・判・表】「書くこと」において、語と語との続き方に注意しながら、書き表し方を工夫している。(B(1)ウ)</p>	<p>【態】片仮名の表記のしかたに気をつけながら、これまでの学習をいかして文の中で片仮名を使おうとしている</p>

令和6年度 評価規準

学校名:江戸川区立西葛西小学校

<p>どんな おはなしが できるかな</p>	<p>6</p>	<p>◎互いの話に関心をもち、相手の発言を受けて話をつなぐことができる。(思・判・表A(1)才) ◎文章に対する感想を伝え合い、自分の文章の内容や表現のよいところを見つけることができる。(思・判・表B(1)才) ○句読点の打ち方、かぎ(「 」)の使い方を理解して文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)ウ) ○文の中における主語と述語との関係に気づくことができる。(知・技(1)カ) ○話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもつことができる。(思・判・表A(1)エ) ■友達と話したことを基にして物語を作る。</p>	<p>【知・技】 ・句読点の打ち方、かぎ(「 」)の使い方を理解して文や文章の中で使っている。((1)ウ) ・文の中における主語と述語との関係に気づいている。((1)カ)</p>	<p>【思・判・表】 ・「話すこと・聞くこと」において、話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもっている。(A(1)エ) ・「話すこと・聞くこと」において、互いの話に関心をもち、相手の発言を受けて話をつないでいる。(A(1)才) ・「書くこと」において、文章に対する感想を伝え合い、自分の文章の内容や表現のよいところを見つけている。(B(1)才)</p>	<p>【態】物語を完成させるという見通しをもち、進んで友達に質問し、お話を書こうとしている。</p>
<p>たぬきの 糸車</p>	<p>8</p>	<p>◎文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつことができる。(思・判・表C(1)才) ○文の中における主語と述語との関係に気づくことができる。(知・技(1)カ) ○語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読することができる。(知・技(1)ク) ○場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像することができる。(思・判・表C(1)エ) ■物語の好きなところを見つけて、そのわけを話し合う。</p>	<p>【知・技】 ・文の中における主語と述語との関係に気づいている。((1)カ) ・語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読している。((1)ク)</p>	<p>【思・判・表】 ・「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。(C(1)エ) ・「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。(C(1)才)</p>	<p>【態】場面の様子に進んで着目し、これまでの学習をいかして、好きなところとそのわけを考えようとしている。</p>
<p>日づけと よう日</p>	<p>3</p>	<p>◎第1学年に配当されている漢字を読み、漸次書き、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)エ) ○身近なことを表す語句の量を増し、語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)才) ○語と語との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫することができる。(思・判・表B(1)ウ) ■唱え歌を作る。</p>	<p>【知・技】 ・第1学年に配当されている漢字を読み、漸次書き、文や文章の中で使っている。((1)エ) ・身近なことを表す語句の量を増し、語彙を豊かにしている。((1)才)</p>	<p>【思・判・表】「書くこと」において、語と語との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。(B(1)ウ)</p>	<p>【態】積極的に日付や曜日を表す漢字に関心をもち、これまでの学習をいかして自分でも唱え歌を作ろうとしている。</p>

令和6年度 評価規準

学校名:江戸川区立西葛西小学校

<p>てがみで しらせよう</p>	<p>6</p>	<p>◎丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気をつけて使うとともに、敬体で書かれた文章に慣れることができる。(知・技(1)キ) ◎文章を読み返す習慣をつけるとともに、間違いを正したり、語と語や文と文との続き方を確かめたりすることができる。(思・判・表B(1)エ) ○語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫することができる。(思・判・表B(1)ウ) ■伝えたいことを手紙に書く。 ☆お世話になった人に手紙を書く活動(生</p>	<p>【知・技】丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気をつけて使うとともに、敬体で書かれた文章に慣れている。((1)キ)</p>	<p>【思・判・表】 ・「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫することができる。(B(1)ウ) ・「書くこと」において、文章を読み返す習慣をつけるとともに、間違いを正したり、語と語や文と文との続き方を確かめたりしている。(B(1)エ)</p>	<p>【態】書いた文章を積極的に見直しながら、これまでの学習をいかして、身近な人に手紙を書こうとしている。</p>
<p>むかしばなしを よもう</p>	<p>8</p>	<p>◎読書に親しみ、いろいろな本があることを知ることができる。(知・技(3)エ) ○語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫することができる。(思・判・表B(1)ウ) ○文章を読んで感じたことや分かったことを共有することができる。(思・判・表C(1)カ) ■昔話を読み、感想を伝え合う。 ☆いろいろな昔話を選んで読む活動(図書</p>	<p>【知・技】読書に親しみ、いろいろな本があることを知っている。((3)エ)</p>	<p>【思・判・表】 ・「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。(B(1)ウ) ・「読むこと」において、文章を読んで感じたことや分かったことを共有している。(C(1)カ)</p>	<p>【態】積極的に世界の昔話を読み、これまでの学習をいかして感想をカードに書いて伝えようとしている。</p>
<p>なりきって よもう</p>	<p>3</p>	<p>◎場面の様子など、内容の大体を捉えることができる。(思・判・表C(1)イ) ○語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読することができる。(知・技(1)ク) ☆お気に入りの詩を見つける活動(図書館活用) ☆工夫した読み方を端末で動画撮影し、友達と交流(ICT活用)</p>	<p>【知・技】語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読している。((1)ク)</p>	<p>【思・判・表】「読むこと」において、場面の様子など、内容の大体を捉えている。(C(1)イ)</p>	<p>【態】進んで詩の内容を捉え、これまでの学習をいかして音読を楽しもうとしている。</p>

令和6年度 評価規準

学校名:江戸川区立西葛西小学校

くわしく きこう	3	<p>◎身近なことを表す語句の量を増し、話の中で使い、語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)オ)</p> <p>◎話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもつことができる。(思・判・表A(1)エ)</p> <p>○身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選ぶことができる。(思・判・表A(1)ア)</p> <p>■紹介を聞いて、質疑応答する。 ☆紹介したい本を選ぶ活動(図書館活用) ☆話す練習を動画で撮影(ICT活用)</p>	<p>【知・技】身近なことを表す語句の量を増し、話の中で使い、語彙を豊かにしている。((1)オ)</p>	<p>【思・判・表】</p> <p>・「話すこと・聞くこと」において、身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選んでいる。(A(1)ア)</p> <p>・「話すこと・聞くこと」において、話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもっている。(A(1)エ)</p>	<p>【態】積極的に友達の話聞き、学習の見通しをもって、質問や感想を述べようとしている。</p>
ことばで あそぼう	3	<p>◎身近なことを表す語句の量を増し、語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)オ)</p> <p>○長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気づくことができる。(知・技(3)イ)</p>	<p>【知・技】</p> <p>・身近なことを表す語句の量を増し、語彙を豊かにすることができる。((1)オ)</p> <p>・長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気づいている。((2)イ)</p>		<p>【態】積極的に身近なことを表す語句を使った言葉遊びを楽しみ、これまでの学習をいかして語彙を豊かにしようとしている。</p>
どうぶつの 赤ちゃん	10	<p>◎共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解することができる。(知・技(2)ア)</p> <p>◎文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつことができる。(思・判・表C(1)オ)</p> <p>◎文章を読んで感じたことや分かったことを共有することができる。(思・判・表C(1)カ)</p> <p>○読書に親しみ、いろいろな本があることを知ることができる。(知・技(3)エ)</p> <p>■書かれていることを比べて読む。 ☆他の動物の赤ちゃんについて書かれた本を読む活動(図書館活用)</p>	<p>【知・技】</p> <p>・共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。((2)ア)</p> <p>・読書に親しみ、いろいろな本があることを知っている。((3)エ)</p>	<p>【思・判・表】</p> <p>・「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。(C(1)オ)</p> <p>・「読むこと」において、文章を読んで感じたことや分かったことを共有している。(C(1)カ)</p>	<p>【態】文章の内容を比べながら粘り強く読み、学習の見通しをもって、本から得たことを友達に知らせようとしている。</p>
ものの 名まえ	6	<p>◎言葉には、事物の内容を表す働きがあることに気づくことができる。(知・技(1)ア)</p> <p>○身近なことを表す語句の量を増し、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気づくことができる。(知・技(1)オ)</p> <p>○互いの話に関心を持ち、相手の発言を受けて話をつなぐことができる。(思・判・表A(1)オ)</p> <p>■尋ねたり、応答したりする。</p>	<p>【知・技】</p> <p>・言葉には、事物の内容を表す働きがあることに気づいている。((1)ア)</p> <p>・身近なことを表す語句の量を増し、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気づいている。((1)オ)</p>	<p>【思・判・表】「話すこと・聞くこと」において、互いの話に関心を持ち、相手の発言を受けて話をつないでいる。(A(1)オ)</p>	<p>【態】積極的に言葉の上位語と下位語に関心を持ち、学習の見通しをもって、言葉を集めて「おみせやさんごっこ」をしようとしている。</p>

令和6年度 評価規準

学校名:江戸川区立西葛西小学校

<p>わらしべちょうじゃ</p>	<p>2</p> <p>◎昔話の読み聞かせを聞くなどして、我が国の伝統的な言語文化に親しむことができる。(知・技(3)ア) ○文章を読んで感じたことを共有することができる。(思・判・表C(1)カ) ■昔話の読み聞かせを聞く。 ☆我が国の文化や生活に親しみ愛着をもたせる題材(道徳) ☆いろいろな昔話を読む活動(図書館活用)</p>	<p>【知・技】昔話の読み聞かせを聞くなどして、我が国の伝統的な言語文化に親しんでいる。((3)ア)</p>	<p>【思・判・表】「読むこと」において、文章を読んで感じたことを共有している。(C(1)カ)</p>	<p>【態】積極的に昔話の読み聞かせを楽しみ、これまでの学習をいかして内容や感想を共有しようとしている。</p>
<p>かたかなの かたち</p>	<p>3</p> <p>◎片仮名を読み、書くとともに、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)ウ) ○語と語との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫することができる。(思・判・表B(1)ウ) ■片仮名の言葉を使って文を書く。</p>	<p>【知・技】片仮名を読み、書くとともに、文や文章の中で使っている。((1)ウ)</p>	<p>【思・判・表】「書くこと」において、語と語との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。(B(1)ウ)</p>	<p>【態】進んで形の似ている字を探し、これまでの学習をいかして片仮名の言葉を使った文を書こうとしている。</p>
<p>ことばあそびを つくろう</p>	<p>6</p> <p>◎身近なことを表す語句の量を増し、文章の中で使い、語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)オ) ○長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気づくことができる。(知・技(3)イ) ○語と語との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫することができる。(思・判・表B(1)ウ) ■言葉遊びを作る。</p>	<p>【知・技】 ・身近なことを表す語句の量を増し、文章の中で使い、語彙を豊かにしている。((1)オ) ・長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気づいている。((3)イ)</p>	<p>【思・判・表】「書くこと」において、語と語との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。(B(1)ウ)</p>	<p>【態】身近なことを表す語句に積極的に興味をもち、これまでの学習をいかして言葉遊びを楽しもうとしている。</p>
<p>これは、なんでしょう</p>	<p>4</p> <p>◎互いの話に関心をもち、相手の発言を受けて話をつなぐことができる。(思・判・表A(1)オ) ○事柄の順序など情報と情報との関係について理解することができる。(知・技(2)ア) ○身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選ぶことができる。(思・判・表A(1)ア) ■二人で相談し、考えをまとめる。</p>	<p>【知・技】事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。((2)ア)</p>	<p>【思・判・表】 ・「話すこと・聞くこと」において、身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選ぶことができる。(A(1)ア) ・「話すこと・聞くこと」において、互いの話に関心をもち、相手の発言を受けて話をつないでいる。(A(1)オ)</p>	<p>【態】粘り強く二人で話し合い、学習課題に沿って協力してクイズを作ろうとしている。</p>
<p>ずうっと、ずっと、大すきだよ</p>	<p>8</p> <p>◎文章を読んで感じたことや分かったことを共有することができる。(思・判・表C(1)カ) ○事柄の順序など情報と情報との関係について理解することができる。(知・技(2)ア) ○文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつことができる。(思・判・表C(1)オ) ■読んで感じたことを伝え合う。 ☆生命を尊重する心を育てる題材(道徳)</p>	<p>【知・技】事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。((2)ア)</p>	<p>【思・判・表】 ・「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。(C(1)カ) ・「読むこと」において、文章を読んで感じたことや分かったことを共有している。(C(1)カ)</p>	<p>【態】友達への考えや感想を積極的に知ろうとし、学習の見通しをもって、読んで感じたことを伝え合おうとしている。</p>

<p>にて いる かん字</p>	<p>3</p>	<p>◎第1学年に担当されている漢字を読み、漸次書き、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)エ) ・語と語との続き方に注意しながら、文を書き表すことができる。(思・判・表B(1)ウ) ■似ている漢字を使って文を書く。</p>	<p>【知・技】第1学年に担当されている漢字を読み、漸次書き、文や文章の中で使っている。(1)エ)</p>	<p>【思・判・表】「書くこと」において、語と語との続き方に注意しながら、文を書き表している。(B(1)ウ)</p>	<p>【態】進んで漢字の形に注意し、これまでの学習をいかして楽しみながら文を書こうとしている。</p>
<p>いい こと いっぱい、一年生</p>	<p>10</p>	<p>◎自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えることができる。(思・判・表B(1)イ) ○敬体で書かれた文章に慣れることができる。(知・技(1)キ) ○経験したことから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にすることができる。(思・判・表B(1)ア) ■経験したことを報告する文章を書く。 ☆生活を明るくする態度を育てる題材(道徳) ☆これまでの活動の様子の写真や動画を端末に保存している場合は、それらも参照(ICT活用)</p>	<p>【知・技】敬体で書かれた文章に慣れている。(1)キ)</p>	<p>【思・判・表】 ・「書くこと」において、経験したことから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア) ・「書くこと」において、自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えている。(B(1)イ)</p>	<p>【態】事柄の順序に沿って構成を粘り強く考えながら、これまでの学習や経験をいかして1年生の思い出を伝える文章を書こうとしている。</p>

教科	国語	学年	第2学年
----	----	----	------

◎重点指導事項 △知識・技能 ◇話すこと・聞くこと ■書くこと □読むこと

A話すこと・聞くこと B書くこと C読むこと

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとめりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
こえの大きさをかんがえて はなそう すごろくトーク	3	△音節と文字との関係, アクセントによる語の意味の違いなどに気付くとともに, 姿勢や口形, 発声や発音に注意して話すこと。⇒◎知技(1)イ ◇身近なことや経験したことなどから話題を決め, 伝え合うために必要な事柄を選ぶこと。⇒思判表A(1)ア ◇相手に伝わるように, 行動したことや経験したことに基づいて, 話す事柄の順序を考えること。⇒思判表A(1)イ ◇伝えたい事柄や相手に応じて, 声の大きさや速さなどを工夫すること。⇒◎思判表A(1)ウ	◎【知識・技能】音節と文字との関係, アクセントによる語の意味の違いなどに気付くとともに, 姿勢や口形, 発声や発音に注意して話している。([知識及び技能](1)イ)	◎【思考・判断・表現】「話すこと・聞くこと」において, 伝えたい事柄や相手に応じて, 声の大きさや速さなどを工夫している。([思考力, 判断力, 表現力等]Aウ)	【態度】積極的に声の大きさや速さなどを工夫し, 学習の見通しをもって話そうとしている。
きょうのできごとを書きとめよう つづけて みよう —— 日記	4	△長音, 拗音, 促音, 撥音などの表記, 助詞の「は」「へ」及び「を」の使い方, 句読点の打ち方, かぎ(「」)の使い方を理解して文や文章の中で使うこと。また, 平仮名及び片仮名を読み, 書くとともに, 片仮名で書く語の種類を知り, 文や文章の中で使うこと。⇒◎知技(1)ウ ■経験したことや想像したことなどから書くことを見付け, 必要な事柄を集めたり確かめたりして, 伝えたいことを明確にすること。⇒◎思判表B(1)ア ■日記や手紙を書くなど, 思ったことや伝えたいことを書く活動。⇒思判表B(2)イ	◎【知識・技能】長音, 拗音, 促音, 撥音などの表記, 助詞の「は」「へ」及び「を」の使い方, 句読点の打ち方を理解して文や文章の中で使っている。([知識及び技能](1)ウ)	◎【思考・判断・表現】「書くこと」において, 経験したことや想像したことなどから書くことを見付け, 必要な事柄を集めたり確かめたりして, 伝えたいことを明確にしている。([思考力, 判断力, 表現力等]Bア)	【態度】積極的に経験したことから書くことを見付け, 学習の見通しをもって日記を書こうとしている。
たのしく こえに 出して よもうちいさい おおきい	2	△言葉には, 事物の内容を表す働きや, 経験したことを伝える働きがあることに気付くこと。⇒知技(1)ア △語のまとめりや言葉の響きなどに気を付けて音読すること。⇒◎知技(1)ク □場面の様子に着目して, 登場人物の行動を具体的に想像すること。⇒◎思判表C(1)エ	◎【知識・技能】語のまとめりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。([知識及び技能](1)ク)	◎【思考・判断・表現】「読むこと」において, 場面の様子に着目して, 登場人物の行動を具体的に想像している。([思考力, 判断力, 表現力等]Cエ)	【態度】進んで言葉の響きなどに気を付けて, 学習の見通しをもって音読しようとしている。

令和6年度 評価規準

学校名:江戸川区立西葛西小学校

<p>一 どうじょう人物のしたことに気をつけて読もう はるねこ</p>	<p>13</p>	<p>△語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読すること。⇒◎知技(1)ク □場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えること。⇒◎思判表C(1)イ □場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像すること。⇒◎思判表C(1)エ ◇紹介や説明、報告など伝えたいことを話したり、それらを聞いて声に出して確かめたり感想を述べたりする活動。⇒思判表A(2)ア □読み聞かせを聞いたり物語などを読んだりして、内容や感想などを伝え合ったり、演じたりする活動。⇒思判表C(2)イ</p>	<p>◎【知識・技能】語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。([知識及び技能](1)ク)</p>	<p>◎【思考・判断・表現】「読むこと」において、場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えている。([思考力、判断力、表現力等]Cイ) ◎【思考・判断・表現】「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。([思考力、判断力、表現力等]Cエ)</p>	<p>【態度】進んで場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉え、学習の見通しをもっておもしろいところを紹介しようとしている。</p>
<p>大事なことをおとさずに聞こう ひろい公園</p>	<p>3</p>	<p>△共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解すること。⇒◎知技(2)ア ◇相手に伝わるように、行動したことや経験したことに基づいて、話す事柄の順序を考えること。⇒思判表A(1)イ ◇伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さなどを工夫すること。⇒思判表A(1)ウ ◇話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもつこと。⇒◎思判表A(1)エ</p>	<p>◎【知識・技能】共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。([知識及び技能](2)ア)</p>	<p>◎【思考・判断・表現】「話すこと・聞くこと」において、話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもっている。([思考力、判断力、表現力等]Aエ)</p>	<p>【態度】積極的に自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、学習課題に沿って質問に答えようとしている。</p>
<p>言葉の文化① 回文をたのしもう</p>	<p>4</p>	<p>△語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読すること。⇒◎知技(1)ク △長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気付くこと。⇒◎知技(3)イ</p>	<p>◎【知識・技能】語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。([知識及び技能](1)ク) ◎【知識・技能】長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気付いている。([知識及び技能](3)イ)</p>		<p>【態度】進んで長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気付こうとし、学習の見通しをもって音読しようとしている。</p>
<p>漢字の広場① 画と書きじゅん</p>	<p>2</p>	<p>△第2学年においては、学年別漢字配当表の第2学年までに配当されている漢字を読むこと。また、第1学年に配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、第2学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使うこと。⇒◎知技(1)エ</p>	<p>◎【知識・技能】前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使っている。([知識及び技能](1)エ)</p>		<p>【態度】積極的に漢字の筆順を理解し、学習の見通しをもって正しい筆順で漢字を書こうとしている</p>

令和6年度 評価規準

学校名:江戸川区立西葛西小学校

<p>一年生で 学んだ 漢字 ①</p>	<p>2</p>	<p>△第2学年においては、学年別漢字配当表の第2学年までに配当されている漢字を読むこと。また、第1学年に配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、第2学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使うこと。⇒◎知技(1)エ ■経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にすること。⇒◎思判表B(1)ア</p>	<p>◎【知識・技能】前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使っている。([知識及び技能](1)エ)</p>	<p>◎【思考・判断・表現】「書くこと」において、経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。([思考力, 判断力, 表現力等]Bア)</p>	<p>【態度】積極的に前学年で配当されている漢字を書き、学習の見通しをもって文を書こうとしている</p>
<p>二 じゅんじょに 気をつけて、二つの つながりを かんがえよう すみれと あり</p>	<p>13</p>	<p>△共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解すること。⇒◎知技(2)ア ■語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫すること。⇒思判表B(1)ウ <input type="checkbox"/>時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えること。⇒◎思判表C(1)ア <input type="checkbox"/>文章の中の重要な語や文を考えて選び出すこと。⇒◎思判表C(1)ウ</p>	<p>◎【知識・技能】共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。([知識及び技能](2)ア)</p>	<p>【思考・判断・表現】「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。([思考力, 判断力, 表現力等]Bウ) ◎【思考・判断・表現】「読むこと」において、時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えている。([思考力, 判断力, 表現力等]Cア) ◎【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章の中の重要な語や文を考えて選び出している。([思考力, 判断力, 表現力等]Cウ)</p>	<p>【態度】進んで時間的な順序や事柄の順序などを考え、内容の大体を捉え、学習課題に沿って考えたことを文章にまとめようとしている。</p>
<p>わかりやすきろくしょう かんさつ発見カード</p>	<p>6</p>	<p>△文の中における主語と述語との関係に気付くこと。⇒◎知技(1)カ △共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解すること。⇒◎知技(2)ア ■自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えること。⇒◎思判表B(1)イ</p>	<p>◎【知識・技能】文の中における主語と述語との関係に気付いている。([知識及び技能](1)カ) ◎【知識・技能】共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。([知識及び技能](2)ア)</p>	<p>◎【思考・判断・表現】「書くこと」において、自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えている。([思考力, 判断力, 表現力等]Bイ)</p>	<p>【態度】粘り強く事柄の順序に沿って簡単な構成を考え、学習の見通しをもって「かんさつ発見カード」を書こうとしている。</p>
<p>言葉の文化② むかしのうたを読もう</p>	<p>3</p>	<p>△平仮名四十七文字を全て使った歌や数字が歌詞に組み込まれた遊び歌があることを知り、音読する。</p>	<p>【知識・技能】 ◎語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。((1)ク) ◎長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気付いている。((3)イ)</p>		<p>【態度】 ・進んで長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気づこうとし、学習の見通しをもって音読しようとしている。</p>

令和6年度 評価規準

学校名:江戸川区立西葛西小学校

<p>言葉のひろば① かたかなで書く言葉</p>	<p>3</p>	<p>△長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方、かぎ(「」)の使い方を理解して文や文章の中で使うこと。また、平仮名及び片仮名を読み、書くとともに、片仮名で書く語の種類を知り、文や文章の中で使うこと。⇒◎知技(1)ウ △身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、語彙を豊かにすること。⇒知技(1)オ</p>	<p>◎【知識・技能】片仮名で書く語の種類を知り、文や文章の中で使っている。([知識及び技能](1)ウ)</p>		<p>【態度】積極的に片仮名で書く語の種類を知ろうとし、今までの学習を生かして文を書こうとしている。</p>
<p>読書のひろば① 本でしらべよう</p>	<p>4</p>	<p>△読書に親しみ、いろいろな本があることを知ること。⇒◎知技(3)エ □文章の中の重要な語や文を考えて選び出すこと。⇒◎思判表C(1)ウ</p>	<p>◎【知識・技能】読書に親しみ、いろいろな本があることを知っている。([知識及び技能](3)エ)</p>	<p>◎【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章の中の重要な語や文を考えて選び出している。([思考力、判断力、表現力等]Cウ)</p>	<p>【態度】積極的に読書に親しみ、学習の見通しをもって本の探し方を知ろうとしている。</p>
<p>三本で調べて紹介しよう 「生きものクイズ」で知らせよう</p>	<p>6</p>	<p>△共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解すること。⇒◎知技(2)ア ■経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にすること。⇒◎B思判表(1)ア ■自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えること。⇒◎思判表B(1)イ</p>	<p>◎【知識・技能】共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。([知識及び技能](2)ア)</p>	<p>◎【思考・判断・表現】「書くこと」において、経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。([思考力、判断力、表現力等]Bア) ◎【思考・判断・表現】「書くこと」において、自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えている。([思考力、判断力、表現力等]Bイ)</p>	<p>【態度】積極的に必要な事柄を集めたり確かめたりし、学習の見通しをもって「生きものクイズ」を作ろうとしている。</p>
<p>漢字のひろば② なかまの言葉と漢字</p>	<p>3</p>	<p>△第2学年においては、学年別漢字配当表の第2学年までに配当されている漢字を読むこと。また、第1学年に配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、第2学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使うこと。⇒◎知技(1)エ △身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、語彙を豊かにすること。⇒知技(1)オ</p>	<p>◎【知識・技能】前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使っている。([知識及び技能](1)エ)</p>		<p>【態度】積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を書き、学習の見通しをもって漢字の意味のつながりを知ろうとしている。</p>
<p>言葉のひろば② 「言葉のなかまさがしゲーム」をしよう</p>	<p>4</p>	<p>△身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、語彙を豊かにすること。⇒◎知技(1)オ</p>	<p>◎【知識・技能】身近なことを表す語句の量を増し、文章の中で使っていると同時に、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、語彙を豊かにしている。([知識及び技能](1)オ)</p>		<p>【態度】積極的に、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付こうとし、学習の見通しをもって言葉を分類しようとしている。</p>

令和6年度 評価規準

学校名:江戸川区立西葛西小学校

<p>四 くりかえしに 気をつけて、とうじょう人物の様子を読もう きつねの おきゃくさま</p>	<p>15</p>	<p>△語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読すること。⇒◎知技(1)ク ■文章に対する感想を伝え合い、自分の文章の内容や表現のよいところを見付けること。⇒思判表B(1)オ □場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像すること。⇒◎思判表C(1)エ □文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつこと。⇒◎思判表C(1)オ</p>	<p>◎【知識・技能】語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読している。([知識及び技能](1)ク)</p>	<p>【思考・判断・表現】「書くこと」において、文章に対する感想を伝え合い、自分の文章の内容や表現のよいところを見付けている。([思考力, 判断力, 表現力等]Bオ) ◎【思考・判断・表現】「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。([思考力, 判断力, 表現力等]Cエ) ◎【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。([思考力, 判断力, 表現力等]Cオ)</p>	<p>【態度】進んで場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像し、学習課題に沿って好きな場面を発表しようとしている。</p>
<p>言葉の文化③ いなばのしろうさぎ</p>	<p>7</p>	<p>△昔話や神話・伝承などの読み聞かせを聞くなどして、我が国の伝統的な言語文化に親しむこと。⇒◎知技(3)ア</p>	<p>◎【知識・技能】昔話や神話・伝承などの読み聞かせを聞くなどして、我が国の伝統的な言語文化に親しんでいる。([知識及び技能](3)ア)</p>		<p>【態度】進んで昔話や神話・伝承などの読み聞かせを聞き、今までの学習を生かして昔話や神話・伝承の書かれた本を探して読もうとしている。</p>
<p>言葉のひろば③ うれしくなる言葉</p>	<p>4</p>	<p>△言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付くこと。⇒◎知技(1)ア △身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、語彙を豊かにすること。⇒知技(1)オ ◇身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選ぶこと。⇒思判表A(1)ア ◇伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さなどを工夫すること。⇒◎思判表A(1)ウ</p>	<p>◎【知識・技能】言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付いている。([知識及び技能](1)ア)</p>	<p>◎【思考・判断・表現】「話すこと・聞くこと」において、伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さなどを工夫している。([思考力, 判断力, 表現力等]Aウ)</p>	<p>【態度】積極的に言葉には事物の内容を表す働きや経験したことを伝える働きがあることに気付こうとし、学習の見通しをもって「うれしくなる言葉」を伝え合おうとしている。</p>
<p>読書のひろば② ひろがる読書のせかい</p>	<p>2</p>	<p>△「オリジナル図書カード」や「読書ゆうびん」を作成する活動を通して、いろいろな本があることを知る。</p>	<p>【知識・技能】 ◎読書に親しみ、いろいろな本があることを知っている。((3)エ)</p>	<p>【思考・判断・表現】 ○「読むこと」において、文章を読んで感じたことや分かったことを共有している。(C(1)カ)</p>	<p>【態度】 ・読書生活を振り返ったり、読みたい本を選んだりしている。</p>
<p>じゅんじよを考えて話そう 話したいな、聞きたいな、夏休みのこと</p>	<p>5</p>	<p>△音節と文字との関係、アクセントによる語の意味の違いなどに気付くとともに、姿勢や口形、発声や発音に注意して話すこと。⇒◎知技(1)イ ◇相手に伝わるように、行動したことや経験したことに基づいて、話す事柄の順序を考えること。⇒◎思判表A(1)イ ◇伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さなどを工夫すること。⇒思判表A(1)ウ</p>	<p>◎【知識・技能】姿勢や口形、発声や発音に注意して話している。([知識及び技能](1)イ)</p>	<p>◎【思考・判断・表現】「話すこと・聞くこと」において、相手に伝わるように、行動したことや経験したことに基づいて、話す事柄の順序を考えている。([思考力, 判断力, 表現力等]Aイ)</p>	<p>【態度】進んで相手に伝わるように話す事柄の順序を考え、今までの学習を生かして夏休みのできごとを紹介しようとしている。</p>

令和6年度 評価規準

学校名:江戸川区立西葛西小学校

<p>しを読もう てんとうむし</p>	<p>3</p>	<p>△身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、語彙を豊かにすること。⇒◎知技(1)オ □場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像すること。⇒◎思判表C(1)エ □文章を読んで感じたことや分かったことを共有すること。⇒思判表C(1)カ</p>	<p>◎【知識・技能】身近なことを表す語句の量を増し、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、語彙を豊かにしている。([知識及び技能](1)オ)</p>	<p>◎【思考・判断・表現】「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。([思考力、判断力、表現力等]Cエ)</p>	<p>【態度】進んで言葉の響きなどに気を付けて、学習の見通しをもって感想を発表しようとしている。</p>
<p>漢字のひろば ③ 二つの漢字できている言葉</p>	<p>3</p>	<p>△第2学年においては、学年別漢字配当表の第2学年までに配当されている漢字を読むこと。また、第1学年に配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、第2学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使うこと。⇒◎知技(1)エ △身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、語彙を豊かにすること。⇒知技(1)オ</p>	<p>◎【知識・技能】前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使っている。([知識及び技能](1)エ)</p>		<p>【態度】積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を書き、学習の見通しをもって二つの漢字できている言葉を読んだり書いたりしようとしている。</p>
<p>一年生で学んだ漢字 ②</p>	<p>3</p>	<p>△文の中における主語と述語との関係に気付くこと。⇒◎知技(1)カ ■語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫すること。⇒◎思判表B(1)ウ</p>	<p>◎【知識・技能】文の中における主語と述語との関係に気付いている。([知識及び技能](1)カ)</p>	<p>◎【思考・判断・表現】「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。([思考力、判断力、表現力等]Bウ)</p>	<p>【態度】積極的に文の中における主語と述語の関係に気付こうとし、学習の見通しをもって文や文章を書こうとしている。</p>
<p>五 登場人物が考えていたことをそうぞうしよう わにのおじいさんのたからもの</p>	<p>12</p>	<p>△言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付くこと。⇒◎知技(1)ア ■語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫すること。⇒思判表B(1)ウ □場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像すること。⇒◎思判表C(1)エ □文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつこと。⇒◎思判表C(1)オ</p>	<p>◎【知識・技能】言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付いている。([知識及び技能](1)ア)</p>	<p>【思考・判断・表現】「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。([思考力、判断力、表現力等]Bウ) ◎【思考・判断・表現】「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。([思考力、判断力、表現力等]Cエ) ◎【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。([思考力、判断力、表現力等]Cオ)</p>	<p>【態度】進んで場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像し、学習課題に沿って登場人物に手紙を書こうとしている。</p>
<p>言葉のひろば④ はんたいのいみの言葉、にたいのいみの言葉</p>	<p>2</p>	<p>△身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、語彙を豊かにすること。⇒◎知技(1)オ</p>	<p>◎【知識・技能】身近なことを表す語句の量を増し、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、語彙を豊かにしている。([知識及び技能](1)オ)</p>		<p>【態度】積極的に言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付こうとし、学習の見通しをもって言葉を分類しようとしている。</p>

令和6年度 評価規準

学校名:江戸川区立西葛西小学校

<p>六 まとまりのある文章を書こう 町の「すてき」をつたえます</p>	<p>11</p>	<p>△長音, 拗音, 促音, 撥音などの表記, 助詞の「は」, 「へ」及び「を」の使い方, 句読点の打ち方, かぎ(「」)の使い方を理解して文や文章の中で使うこと。また, 平仮名及び片仮名を読み, 書くとともに, 片仮名で書く語の種類を知り, 文や文章の中で使うこと。 ⇒知技(1)ウ</p> <p>■自分の思いや考えが明確になるように, 事柄の順序に沿って簡単な構成を考えること。 ⇒◎思判表B(1)イ</p> <p>■語と語や文と文との続き方に注意しながら, 内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫すること。 ⇒◎思判表B(1)ウ</p> <p>■文章を読み返す習慣を付けるとともに, 間違いを正したり, 語と語や文と文との続き方を確かめたりすること。 ⇒◎思判表B(1)エ</p>	<p>【知識・技能】長音, 拗音, 促音, 撥音などの表記, 助詞の「は」, 「へ」及び「を」の使い方, 句読点の打ち方, かぎ(「」)の使い方を理解して文や文章の中で使っている。 ([知識及び技能](1)ウ)</p>	<p>◎【思考・判断・表現】「書くこと」において, 自分の思いや考えが明確になるように, 事柄の順序に沿って簡単な構成を考えている。 ([思考力, 判断力, 表現力等]Bイ)</p> <p>◎【思考・判断・表現】「書くこと」において, 語と語や文と文との続き方に注意しながら, 内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。 ([思考力, 判断力, 表現力等]Bウ)</p> <p>◎【思考・判断・表現】「書くこと」において, 文章を読み返す習慣を付けているとともに, 間違いを正したり, 語と語や文と文との続き方を確かめたりしている。 ([思考力, 判断力, 表現力等]Bエ)</p>	<p>【態度】積極的に事柄の順序に沿って簡単な構成を考え, 今までの学習を生かして報告する文章を書こうとしている。</p>
<p>国語の学習 つながる ひろがる</p>	<p>1</p>	<p>◇一年間の国語学習を振り返ったり, これからの学習について考えたりして, 楽しみながら学習できるようにする。</p>	<p>【思考・判断・表現】 ◎「話すこと・聞くこと」において, 話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き, 話の内容を捉えて感想をもっている。(A(1)エ) ○「書くこと」において, 経験したことや想像したことなどから書くことを見付け, 必要な事柄を集めたり確かめたりして, 伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア)</p>	<p>【思考・判断・表現】 ◎「話すこと・聞くこと」において, 相手に伝わるように, 行動したことや経験したことに基づいて, 話す事柄の順序を考えている。 ([思考力, 判断力, 表現力等]Aイ)</p> <p>◎【思考・判断・表現】「読むこと」において, 文章の中の重要な語や文を考えて選り出している。 ([思考力, 判断力, 表現力等]Cウ)</p> <p>◎【思考・判断・表現】「読むこと」において, 文章の内容と自分の体験とを結び付けて, 感想をもっている。 ([思考力, 判断力, 表現力等]Cオ)</p>	<p>【態度】 ・進んで経験したことから書くことを見つけ, 今までの学習を生かして思い出したことや下巻の教科書でどんな学習をしたいかを共有しようとしている。</p>
<p>一 じゅんじょや様子に気をつけて読もう さげが大きくなるまで</p>	<p>11</p>	<p>△共通, 相違, 事柄の順序など情報と情報との関係について理解すること。 ⇒知技(2)ア</p> <p>◇相手に伝わるように, 行動したことや経験したことに基づいて, 話す事柄の順序を考えること。 ⇒◎思判表A(1)イ</p> <p>□文章の中の重要な語や文を考えて選り出すこと。 ⇒◎思判表C(1)ウ</p> <p>□文章の内容と自分の体験とを結び付けて, 感想をもつこと。 ⇒◎思判表C(1)オカ</p>	<p>◎【知識・技能】共通, 相違, 事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。 ([知識及び技能](2)ア)</p>	<p>◎【思考・判断・表現】「話すこと・聞くこと」において, 相手に伝わるように, 行動したことや経験したことに基づいて, 話す事柄の順序を考えている。 ([思考力, 判断力, 表現力等]Aイ)</p> <p>◎【思考・判断・表現】「読むこと」において, 文章の中の重要な語や文を考えて選り出している。 ([思考力, 判断力, 表現力等]Cウ)</p> <p>◎【思考・判断・表現】「読むこと」において, 文章の内容と自分の体験とを結び付けて, 感想をもっている。 ([思考力, 判断力, 表現力等]Cオ)</p>	<p>【態度】積極的に文章の中の重要な語や文を考えて選り出し, 学習課題に沿ってさげが大きくなる様子を説明しようとしている。</p>

令和6年度 評価規準

学校名:江戸川区立西葛西小学校

<p>二 まいのしゃしんのちがいをくらべよう この間に何があった？</p>	<p>2</p>	<p>△共通, 相違, 事柄の順序など情報と情報との関係について理解すること。⇒◎知技(2)ア ■自分の思いや考えが明確になるように, 事柄の順序に沿って簡単な構成を考えること。⇒◎思判表B(1)イ □時間的な順序や事柄の順序などを考えながら, 内容の大体を捉えること。⇒◎思判表C(1)ア □文章の内容と自分の体験とを結び付けて, 感想をもつこと。⇒◎思判表C(1)オ</p>	<p>◎【知識・技能】共通, 相違, 事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。〔知識及び技能〕(2)ア)</p>	<p>◎【思考・判断・表現】「書くこと」において, 自分の思いや考えが明確になるように, 事柄の順序に沿って簡単な構成を考えている。〔思考力, 判断力, 表現力等〕Bイ) ◎【思考・判断・表現】「読むこと」において, 時間的な順序や事柄の順序などを考えながら, 内容の大体を捉えている。〔思考力, 判断力, 表現力等〕Cア) ◎【思考・判断・表現】「読むこと」において, 文章の内容と自分の体験とを結び付けて, 感想をもっている。〔思考力, 判断力, 表現力等〕Cオ)</p>	<p>【態度】積極的に共通, 相違, 事柄の順序など情報と情報との関係について理解し, 学習課題に沿って考えたことを文章にまとめようとしている。</p>
<p>二 様子をよく見て, くわしく書こう おもしろいもの, 見つけたよ</p>	<p>10</p>	<p>△身近なことを表す語句の量を増し, 話や文章の中で使うとともに, 言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き, 語彙を豊かにすること。⇒◎知技(1)オ ■語と語や文と文との続き方に注意しながら, 内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫すること。⇒思判表◎B(1)ウ ■文章を読み返す習慣を付けるとともに, 間違いを正したり, 語と語や文と文との続き方を確かめたりすること。⇒思判表B(1)エ ■文章に対する感想を伝え合い, 自分の文章の内容や表現のよいところを見付けること。⇒◎思判表B(1)オ ■身近なことや経験したことを報告したり, 観察したことを記録したりするなど, 見聞きしたことを書く活動。⇒思判表B(2)ア</p>	<p>◎【知識・技能】身近なことを表す語句の量を増し, 文章の中で使っていると同時に, 言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き, 語彙を豊かにしている。〔知識及び技能〕(1)オ)</p>	<p>◎【思考・判断・表現】「書くこと」において, 語と語や文と文との続き方に注意しながら, 内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。〔思考力, 判断力, 表現力等〕Bウ) ◎【思考・判断・表現】「書くこと」において, 文章に対する感想を伝え合い, 自分の文章の内容や表現のよいところを見付けている。〔思考力, 判断力, 表現力等〕Bオ)</p>	<p>【態度】進んで文章に対する感想を伝え合い, 学習の見通しをもって記録する文章を書こうとしている</p>
<p>言葉の文化④ 「あいうえお」であそぼう</p>	<p>1</p>	<p>△折句の文を読み, 自分の名前やすきなものの名前を使って折句の文を作る。</p>	<p>【知識・技能】 ◎長く親しまれている言葉遊びを通して, 言葉の豊かさに気付いている。〔3)イ)</p>		<p>【態度】 ・進んで長く親しまれている言葉遊びを通して, 言葉の豊かさに気づこうとし, 学習の見通しをもって折句の文を作っている。</p>

令和6年度 評価規準

学校名:江戸川区立西葛西小学校

<p>三 心にのこったところをしよう かいし合おう ないた赤おに</p>	<p>7</p>	<p>△語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読すること。⇒◎知技(1)ク □場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像すること。⇒◎思判表C(1)エ □文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつこと。⇒◎思判表C(1)オ</p>	<p>◎【知識・技能】語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。([知識及び技能](1)ク)</p>	<p>◎【思考・判断・表現】「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。([思考力、判断力、表現力等]Cエ) ◎【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。([思考力、判断力、表現力等]Cオ)</p>	<p>【態度】進んで場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像し、学習課題に沿って心に残ったところを文章にまとめようとしている。</p>
<p>読書の広場③ 「お話しじゅつかん」を作ろう</p>	<p>5</p>	<p>△読書に親しみ、いろいろな本があることを知る。⇒◎知技(3)エ □文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつこと。⇒◎思判表C(1)オ □文章を読んで感じたことや分かったことを共有すること。⇒◎思判表C(1)カ</p>	<p>◎【知識・技能】読書に親しみ、いろいろな本があることを知っている。([知識及び技能](3)エ)</p>	<p>◎【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。([思考力、判断力、表現力等]Cオ) ◎【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章を読んで感じたことや分かったことを共有している。([思考力、判断力、表現力等]Cカ)</p>	<p>【態度】積極的に読書に親しみ、学習の見通しをもって本を紹介しようとしている。</p>
<p>四 しつもんしたり答えたりして、つないで話し合おう 「クラスお楽しみ会」をひらこう</p>	<p>8</p>	<p>△共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解すること。⇒◎知技(2)ア ◇互いの話に関心をもち、相手の発言を受けて話をつなぐこと。⇒◎思判表A(1)オ</p>	<p>◎【知識・技能】共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。([知識及び技能](2)ア)</p>	<p>◎【思考・判断・表現】「話すこと・聞くこと」において、互いの話に関心をもち、相手の発言を受けて話をつないでいる。([思考力、判断力、表現力等]Aオ)</p>	<p>【態度】積極的に互いの話に関心を持ち、今までの学習を生かして少人数で話し合おうとしている。</p>
<p>心がうごいたことを書こう みじかい言葉で</p>	<p>5</p>	<p>△言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付くこと。⇒◎知技(1)ア ■語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫すること。⇒◎思判表B(1)ウ</p>	<p>◎【知識・技能】言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付いている。([知識及び技能](1)ア)</p>	<p>◎【思考・判断・表現】「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。([思考力、判断力、表現力等]Bウ)</p>	<p>【態度】積極的に語と語や文と文との続き方に注意しながら、学習の見通しをもって心が動いたことを短い言葉で書こうとしている。</p>
<p>漢字の広場 ④ 漢字のつかい方と読み方</p>	<p>2</p>	<p>△第2学年においては、学年別漢字配当表の第2学年までに配当されている漢字を読むこと。また、第1学年に配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、第2学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使うこと。⇒◎知技(1)エ</p>	<p>◎【知識・技能】当該学年までに配当されている漢字を読んでいる。([知識及び技能](1)エ)</p>		<p>【態度】積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を読み、学習の見通しをもって漢字を正しく使おうとしている。</p>
<p>一年生で学んだ漢字 ③</p>	<p>2</p>	<p>△第2学年においては、学年別漢字配当表の第2学年までに配当されている漢字を読むこと。また、第1学年に配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、第2学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使うこと。⇒◎知技(1)エ ■語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫すること。⇒◎思判表B(1)ウ</p>	<p>◎【知識・技能】前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使っている。([知識及び技能](1)エ)</p>	<p>◎【思考・判断・表現】「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。([思考力、判断力、表現力等]Bウ)</p>	<p>【態度】積極的に前学年で配当されている漢字を書き、学習の見通しをもって文や文章を書こうとしている。</p>

令和6年度 評価規準

学校名:江戸川区立西葛西小学校

<p>五 せつめいのくふうをたしかめて読み、せつめい書を書こう ジャンプロケットを作ろう</p>	<p>12</p>	<p>△言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付くこと。⇒知技(1)ア ■自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考へること。⇒思判表B(1)イ □時間的な順序や事柄の順序などを考へながら、内容の大体を捉えること。⇒◎思判表C(1)ア □文章の中の重要な語や文を考へて選り出すこと。⇒◎思判表C(1)ウ</p>	<p>【知識・技能】言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付いている。([知識及び技能](1)ア)</p>	<p>【思考・判断・表現】「書くこと」において、自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考へている。([思考力、判断力、表現力等]Bイ) ◎【思考・判断・表現】「読むこと」において、時間的な順序や事柄の順序などを考へながら、内容の大体を捉えている。([思考力、判断力、表現力等]Cア) ◎【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章の中の重要な語や文を考へて選り出している。([思考力、判断力、表現力等]Cウ)</p>	<p>【態度】進んで時間的な順序や事柄の順序などを考へ、学習課題に沿って「しかけ絵本」を作ろうとしている。</p>
<p>五 わかりやすくせつめいするための、くふうをたしかめよう おもちゃのせつめい書を書こう</p>	<p>7</p>	<p>△共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解すること。⇒◎知技(2)ア ■語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫すること。⇒◎思判表B(1)ウ ■文章を読み返す習慣を付けるとともに、間違いを正したり、語と語や文と文との続き方を確かめたりすること。⇒◎思判表B(1)エ</p>	<p>◎【知識・技能】共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。([知識及び技能](2)ア)</p>	<p>◎【思考・判断・表現】「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。([思考力、判断力、表現力等]Bウ) ◎【思考・判断・表現】「書くこと」において、文章を読み返す習慣を付けているとともに、間違いを正したり、語と語や文と文との続き方を確かめたりしている。([思考力、判断力、表現力等]Bエ)</p>	<p>【態度】粘り強く語と語や文と文との続き方に注意し、学習の見通しをもって説明する文章を書こうとしている。</p>
<p>しを読もう せかいじゅうの海が</p>	<p>2</p>	<p>△身近なことを表す語句の量を増し、語や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、語彙を豊かにすること。⇒◎知技(1)オ □文章を読んで感じたことや分かったことを共有すること。⇒◎思判表C(1)カ</p>	<p>◎【知識・技能】身近なことを表す語句の量を増し、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、語彙を豊かにしている。([知識及び技能](1)オ)</p>	<p>◎【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章を読んで感じたことや分かったことを共有している。([思考力、判断力、表現力等]Cカ)</p>	<p>【態度】積極的に文章を読んで感じたことや分かったことを共有し、学習の見通しをもって想像したことを発表しようとしている。</p>
<p>六 場面や人物の様子をそうぞうして、音読げきをしよう かさこじぞう</p>	<p>11</p>	<p>△語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読すること。⇒◎知技(1)ク ◇伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さなどを工夫すること。⇒◎思判表A(1)ウ □場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像すること。⇒◎思判表C(1)エ □文章を読んで感じたことや分かったことを共有すること。⇒◎思判表C(1)カ</p>	<p>◎【知識・技能】語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。([知識及び技能](1)ク)</p>	<p>◎【思考・判断・表現】「話すこと・聞くこと」において、伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さなどを工夫している。([思考力、判断力、表現力等]Aウ) ◎【思考・判断・表現】「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。([思考力、判断力、表現力等]Cエ) ◎【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章を読んで感じたことや分かったことを共有している。([思考力、判断力、表現力等]Cカ)</p>	<p>【態度】進んで場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像し、学習の見通しをもって音読発表会をしようとしている。</p>

令和6年度 評価規準

学校名:江戸川区立西葛西小学校

<p>言葉の文化⑤ かるたであそぼう</p>	<p>3</p>	<p>△昔話や神話・伝承などの読み聞かせを聞くなどして、我が国の伝統的な言語文化に親しむこと。⇒知技(3)ア △長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気付くこと。⇒◎知技(3)イ</p>	<p>◎【知識・技能】長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気付いている。([知識及び技能](3)イ)</p>		<p>【態度】進んで長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気付き、学習の見通しをもってかるたを楽しもうとしている。</p>
<p>じゅんじょに気をつけてせつめいしよう おはじきのあそび方</p>	<p>4</p>	<p>△音節と文字との関係、アクセントによる語の意味の違いなどに気付くとともに、姿勢や口形、発声や発音に注意して話すこと。⇒◎知技(1)イ ◇相手に伝わるように、行動したことや経験したことに基づいて、話す事柄の順序を考慮すること。⇒◎思判表A(1)イ</p>	<p>◎【知識・技能】姿勢や口形、発声や発音に注意して話している。([知識及び技能](1)イ)</p>	<p>◎【思考・判断・表現】「話すこと・聞くこと」において、相手に伝わるように、行動したことや経験したことに基づいて、話す事柄の順序を考えている。([思考力、判断力、表現力等]Aイ)</p>	<p>【態度】進んで相手に伝わるように話す事柄の順序を考え、今までの学習を生かして昔の遊びの遊び方を説明しようとしている。</p>
<p>言葉の広場⑤ 主語とじゅつ語</p>	<p>3</p>	<p>△文の中における主語と述語との関係に気付くこと。⇒◎知技(1)カ</p>	<p>◎【知識・技能】文の中における主語と述語との関係に気付いている。([知識及び技能](1)カ)</p>		<p>【態度】積極的に文の中における主語と述語との関係に気付き、学習の見通しをもって文を読んだり書いたりしようとしている</p>
<p>漢字の広場 ⑤ 同じ読み方の漢字</p>	<p>2</p>	<p>△第2学年においては、学年別漢字配当表の第2学年までに配当されている漢字を読むこと。また、第1学年に配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、第2学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使うこと。⇒◎知技(1)エ</p>	<p>◎【知識・技能】当該学年までに配当されている漢字を読んでいる。([知識及び技能](1)エ)</p>		<p>【態度】積極的に当該学年までに配当されている漢字を読み、学習の見通しをもって同じ読み方の漢字を正しく使おうとしている。</p>
<p>七 思い出をくわしく書いて、読みかえそう こんなことができるようになったよ</p>	<p>13</p>	<p>△長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方、かぎ(「」)の使い方を理解して文や文章の中で使うこと。また、平仮名及び片仮名を読み、書くとともに、片仮名で書く語の種類を知り、文や文章の中で使うこと。⇒◎知技(1)ウ ■語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫すること。⇒◎思判表B(1)ウ ■文章を読み返す習慣を付けるとともに、間違いを正したり、語と語や文と文との続き方を確かめたりすること。⇒◎思判表B(1)エ ■文章に対する感想を伝え合い、自分の文章の内容や表現のよいところを見付けること。⇒◎思判表B(1)オ</p>	<p>◎【知識・技能】長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方、かぎ(「」)の使い方を理解して文や文章の中で使っている。([知識及び技能](1)ウ)</p>	<p>◎【思考・判断・表現】「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。([思考力、判断力、表現力等]Bウ) ◎【思考・判断・表現】「書くこと」において、文章を読み返す習慣を付けているとともに、間違いを正したり、語と語や文と文との続き方を確かめたりしている。([思考力、判断力、表現力等]Bエ) ◎【思考・判断・表現】「書くこと」において、文章に対する感想を伝え合い、自分の文章の内容や表現のよいところを見付けている。([思考力、判断力、表現力等]Bオ)</p>	<p>【態度】積極的に、間違いを正したり、語と語や文と文との続き方を確かめたりし、学習の見通しをもって文章を書こうとしている。</p>

令和6年度 評価規準

学校名:江戸川区立西葛西小学校

<p>言葉の広場⑥ 音や様子をあらわす言葉</p>	<p>3</p>	<p>△身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、語彙を豊かにすること。⇒◎知技(1)オ</p>	<p>◎【知識・技能】身近なことを表す語句の量を増し、文章の中で使っているとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、語彙を豊かにしている。([知識及び技能](1)オ)</p>		<p>【態度】積極的に、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、学習の見通しをもって文の中で使おうとしている。</p>
<p>漢字の広場 ⑥ 組み合わせてできている漢字</p>	<p>2</p>	<p>△第2学年においては、学年別漢字配当表の第2学年までに配当されている漢字を読むこと。また、第1学年に配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、第2学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使うこと。⇒◎知技(1)エ</p>	<p>◎【知識・技能】当該学年までに配当されている漢字を読んでいる。([知識及び技能](1)エ)</p>		<p>【態度】積極的に当該学年までに配当されている漢字を読み、学習の見通しをもって同じ部分をもつ漢字を正しく使おうとしている。</p>
<p>一年生で学んだ漢字 ④</p>	<p>2</p>	<p>△第2学年においては、学年別漢字配当表の第2学年までに配当されている漢字を読むこと。また、第1学年に配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、第2学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使うこと。⇒◎知技(1)エ ■語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫すること。⇒◎思判表B(1)ウ</p>	<p>◎【知識・技能】前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使っている。([知識及び技能](1)エ)</p>	<p>◎【思考・判断・表現】「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。([思考力, 判断力, 表現力等]Bウ)</p>	
<p>八 何が、どのようにかわつたかに気をつけて読み、お話をしようかいしよう アレクサンダとぜんまいねずみ</p>	<p>16</p>	<p>■自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えること。⇒思判表B(1)イ □文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつこと。⇒◎思判表C(1)オ □文章を読んで感じたことや分かったことを共有すること。⇒◎思判表C(1)カ</p>	<p>◎【知識・技能】言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付いている。([知識及び技能](1)ア)</p>	<p>【思考・判断・表現】「書くこと」において、自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えている。([思考力, 判断力, 表現力等]Bイ) ◎【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。([思考力, 判断力, 表現力等]Cオ) ◎【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章を読んで感じたことや分かったことを共有している。([思考力, 判断力, 表現力等]Cカ)</p>	<p>【態度】進んで文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもち、学習課題に沿って文章にまとめようとしている</p>

<p>国語の学習 これまで これから</p>	<p>4</p>	<p>◇話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもつこと。⇒◎思判表A(1)エ ■経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にすること。⇒◎思判表B(1)ア</p>		<p>◎【思考・判断・表現】「話すこと・聞くこと」において、話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもっている。([思考力, 判断力, 表現力等]Aエ) ◎【思考・判断・表現】「書くこと」において、経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。([思考力, 判断力, 表現力等]Bア)</p>	<p>【態度】進んで経験したことから書くことを見付け、今までの学習を生かして思い出したことや三年生でどんな学習をしたか共有しようとしている。</p>
------------------------	----------	---	--	---	--

教科	国語	学年	第3学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
よく聞いて、じこしょうかい	1	○相手を見て話したり聞いたりするとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話することができる。(知・技(1)イ) ○話し手が伝えたいことの内容の中心を捉えることができる。(思・判・表A(1)エ) ■自己紹介をする。 ☆楽しい学級づくり(特別活動)	【知・技】相手を見て話したり聞いたりするとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話している。((1)イ)	【思・判・表】「話すこと・聞くこと」において、話し手が伝えたいことの内容の中心を捉えている。(A(1)エ)	【態】積極的に相手を見て話したり聞いたりし、学習課題に沿って自己紹介をしようとしている。
どきん	1	◎文章全体の構成や内容の大体を意識しながら音読することができる。(知・技(1)ク) ○文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気づくことができる。(思・判・表C(1)カ) ■詩を楽しんで音読する。	【知・技】文章全体の構成や内容の大体を意識しながら音読している。((1)ク)	【思・判・表】「読むこと」において、文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気づいている。(C(1)カ)	【態】積極的に文章全体の構成や内容の大体を意識し、学習課題に沿って楽しんで詩を音読しようとしている。
わたしのさいごうの一日 つづけてみよう	1	○相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、伝えたいことを明確にすることができる。(思・判・表B(1)ア) ○自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫することができる。(思・判・表B(1)ウ) ・様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、文章の中で使うことができる。(知・技(1)オ) ■日記を書く。	【知・技】様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、文章の中で使っている。((1)オ)	【思・判・表】 ・「書くこと」において、相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア) ・「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。(B(1)ウ)	【態】経験したことや想像したことなどから書くことを進んで選び、学習課題に沿って日記を書こうとしている。
春風をたどって	9	◎様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)オ) ◎登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えることができる。(思・判・表C(1)イ) ○文章全体の構成や内容の大体を意識しながら音読することができる。(知・技(1)ク) ■読んで想像したことを伝え合う。 ☆自然のすばらしさや不思議さを感じ取り、自然や動植物を大切にすることを育てる題材(道徳)	【知・技】 ・様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、語彙を豊かにしている。((1)オ) ・文章全体の構成や内容の大体を意識しながら音読している。((1)ク)	【思・判・表】「読むこと」において、登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えている。(C(1)イ)	【態】進んで、登場人物の行動や気持ちなどについて叙述を基に捉え、学習課題に沿って想像したことを伝え合おうとしている。

令和6年度 評価規準

学校名:江戸川区立西葛西小学校

図書館たんていだん	1	◎読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づくことができる。(知・技(3)オ) ■図書館の地図を作り、本を探す。 ☆図書館の配架を知る活動(図書館活用)	【知・技】読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づいている。((3)オ)		【態】読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことを積極的に知り、学習課題に沿って学校図書館の工夫について調べようとしている。
国語辞典を使おう	2	◎辞書の使い方を理解し使うことができる。(知・技(2)イ) ☆考えをまとめる活動などの漢字の確かめ(総合的な学習の時間など)	【知・技】辞書の使い方を理解し使っている。((2)イ)		【態】進んで辞書の使い方を理解し、学習課題に沿って国語辞典を使おうとしている。
漢字の広場①	2	◎第2学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)エ) ・間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確認したりして、文や文章を整えることができる。(思・判・表B(1)エ) ■絵を見て想像したことを基に文を書く。	【知・技】第2学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。((1)エ)	【思・判・表】「書くこと」において、間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確認したりして、文や文章を整えている。(B(1)エ)	【態】積極的に第2学年までに配当されている漢字を書き、これまでの学習をいかして漢字を適切に使った文を作ろうとしている。
春のくらし	2	◎語句の量を増し、話や文章の中で使い、語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)オ) ○経験したことや想像したことなどから書くことを選び、伝えたいことを明確にすることができる。(思・判・表B(1)ア) ■春を感じたことについて、文章に書く。 ☆我が国の伝統と文化に対する理解と愛情を養う題材(道徳) ☆春を感じたものの撮影(ICT活用)	【知・技】語句の量を増し、話や文章の中で使い、語彙を豊かにしている。((1)オ)	【思・判・表】「書くこと」において、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア)	【態】積極的に語句の量を増し、話や文章の中で使い、学習課題に沿ってその季節らしさを表現した文章を書こうとしている。
もっと知りたい、友だちのこと【コラム】きちんとつたえるために	6	◎相手を見て話したり聞いたりするとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話すことができる。(知・技(1)イ) ◎必要なことを質問しながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの原因を捉え、自分の考えをもつことができる。(思・判・表A(1)エ) ○目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選ぶことができる。(思・判・表A(1)ア) ■知らせたいことを話したり、知りたいことを質問したりする。 ☆友達の新たな一面やよさを知る活動(特別活動、道徳)	【知・技】相手を見て話したり聞いたりするとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話している。((1)イ)	【思・判・表】 ・「話すこと・聞くこと」において、目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選んでいる。(A(1)ア) ・「話すこと・聞くこと」において、必要なことを質問しながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの原因を捉え、自分の考えをもっている。(A(1)エ)	【態】粘り強く話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの原因を捉え、学習の見通しをもって話したり、質問したりしようとしている。
漢字の音と訓	2	◎第3学年までに配当されている漢字を読むことができる。(知・技(1)エ)	【知・技】第3学年までに配当されている漢字を読んでいる。((1)エ)		【態】進んで第3学年までに配当されている漢字を読み、学習課題に沿ってよりよく漢字を学ぼうとしている。

令和6年度 評価規準

学校名:江戸川区立西葛西小学校

漢字の広場②	2	<p>◎第2学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)エ) ○接続する語句の役割について理解することができる。(知・技(1)カ) ●間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確認したりして、文や文章を整えることができる。(思・判・表B(1)エ) ■絵を見て想像したことを基に文を書く。</p>	<p>【知・技】 ・第2学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。((1)エ) ・接続する語句の役割について理解している。((1)カ)</p>	<p>【思・判・表】「書くこと」において、間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確認したりして、文や文章を整えている。(B(1)エ)</p>	<p>【態】積極的に第2学年までに配当されている漢字を書き、これまでの学習をいかして漢字を適切に使った文を作ろうとしている。</p>
文様 こまを楽しむ 【じょうほう】全体と中心	8	<p>◎全体と中心など情報と情報との関係について理解することができる。(知・技(2)ア) ◎段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉えることができる。(思・判・表C(1)ア) ○段落の役割について理解することができる。(知・技(1)カ) ○目的を意識して、中心となる語や文を見つけることができる。(思・判・表C(1)ウ) ■説明する文章を読み、感想を伝え合う。 ☆伝統や文化を知り、歴史を愛する題材(道徳)</p>	<p>【知・技】 ・段落の役割について理解している。((1)カ) ・全体と中心など情報と情報との関係について理解している。((2)ア)</p>	<p>【思・判・表】 ・「読むこと」において、段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉えている。(C(1)ア) ・「読むこと」において、目的を意識して、中心となる語や文を見つけている。(C(1)ウ)</p>	<p>【態】進んで段落相互の関係に着目しながら内容を捉え、学習課題に沿って説明する文章を読んだ感想を伝え合おうとしている。</p>
気持ちをこめて、「来てください」	4	<p>◎丁寧な言葉を使うとともに、敬体と常体との違いに注意しながら書くことができる。(知・技(1)キ) ◎間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確認したりして、文や文章を整えることができる。(思・判・表B(1)エ) ○言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気づくことができる。(知・技(1)ア) ■行事を案内する手紙を書く。 ☆時と場に応じた適切な手紙を書く活動(社会、総合的な学習の時間)</p>	<p>【知・技】 ・言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気づいている。((1)ア) ・丁寧な言葉を使うとともに、敬体と常体との違いに注意しながら書いている。((1)キ)</p>	<p>【思・判・表】「書くこと」において、間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確認したりして、文や文章を整えている。(B(1)エ)</p>	<p>【態】粘り強く、間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確認したりして、文や文章を整え、学習の見通しをもって行事を案内する手紙を書こうとしている。</p>
漢字の広場③	2	<p>◎第2学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)エ) ・間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確認したりして、文や文章を整えることができる。(思・判・表B(1)エ) ■絵を見て想像したことを基に文を書く。</p>	<p>【知・技】第2学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。((1)エ)</p>	<p>【思・判・表】「書くこと」において、間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確認したりして、文や文章を整えている。(B(1)エ)</p>	<p>【態】積極的に第2学年までに配当されている漢字を書き、これまでの学習をいかして、漢字を適切に使った文を作ろうとしている。</p>

令和6年度 評価規準

学校名:江戸川区立西葛西小学校

<p>まいごのかぎ</p>	<p>7</p>	<p>◎登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりや結び付けて具体的に想像することができる。(思・判・表C(1)エ) ○様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)オ) ■物語を読んで、好きな場面について話し合う。</p>	<p>【知・技】様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、語彙を豊かにしている。((1)オ)</p>	<p>【思・判・表】「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりや結び付けて具体的に想像している。(C(1)エ)</p>	<p>【態】登場人物の気持ちの変化について、進んで場面の移り変わりや結び付けて具体的に想像し、学習課題に沿って物語の好きな場面について話し合おうとしている。</p>
<p>俳句を楽しもう</p>	<p>1</p>	<p>◎易しい文語調の俳句を音読したり暗唱したりするなどして、言葉の響きやリズムに親しむことができる。(知・技(3)ア) ■俳句を音読する。 ☆我が国の伝統と文化に対する理解と愛情を養う題材(道徳) ☆五音と七音を組み合わせた詩などを探す活動(図書館活用)</p>	<p>【知・技】易しい文語調の俳句を音読したり暗唱したりするなどして、言葉の響きやリズムに親しんでいる。((3)ア)</p>		<p>【態】進んで言葉の響きやリズムに親しみ、学習課題に沿って俳句を音読しようとしている。</p>
<p>こそあど言葉を使いこなそう</p>	<p>2</p>	<p>◎指示する語句の役割について理解することができる。(知・技(1)カ)</p>	<p>【知・技】指示する語句の役割について理解している。((1)カ)</p>		<p>【態】積極的に指示する語句の役割について理解し、学習課題に沿って使おうとしている。</p>
<p>【じょうほう】引用するとき</p>	<p>3</p>	<p>◎引用のしかたや出典の示し方を理解し使うことができる。(知・技(2)イ) ・自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫することができる。(思・判・表B(1)ウ) ■本などから調べたことを書き留め、引用して文章を書く。 ☆調べたことを文章にまとめる活動(社会など)</p>	<p>【知・技】引用のしかたや出典の示し方を理解し使っている。((2)イ)</p>	<p>【思・判・表】書くことにおいて、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。(B(1)ウ)</p>	<p>【態】積極的に引用のしかたや出典の示し方を理解し使い、学習課題に沿って本などから調べたことを引用して文章を書こうとしている。</p>
<p>仕事のくふう、見つけたよ【コラム】符号など</p>	<p>10</p>	<p>◎相手や目的を意識して書くことを選び、伝えたいことを明確にすることができる。(思・判・表B(1)ア) ○改行のしかたを理解して文や文章の中で使うとともに、句読点を適切に打つことができる。(知・技(1)ウ) ○段落の役割について理解することができる。(知・技(1)カ) ○自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫することができる。(思・判・表B(1)ウ) ■調べたことを報告する文章を書く。 ☆調べたいことを決めて、調査を行い、報告する文章にまとめる活動(社会、総合的な学習の時間) ☆調べる仕事についての本を探す活動(図書館活用) ☆見つけた工夫の撮影(ICT活用)</p>	<p>【知・技】 ・改行のしかたを理解して文や文章の中で使うとともに、句読点を適切に打っている。((1)ウ) ・段落の役割について理解している。((1)カ)</p>	<p>【思・判・表】 ・「書くこと」において、相手や目的を意識して書くことを選び、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア) ・「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。(B(1)ウ)</p>	<p>【態】進んで相手や目的を意識して書くことを選び、伝えたいことを明確にし、学習の見通しをもって調べたことを報告する文章を書こうとしている。</p>

令和6年度 評価規準

学校名:江戸川区立西葛西小学校

夏のくらし	2	<p>◎語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)オ) ○経験したことや想像したことなどから書くことを選び、伝えたいことを明確にすることができる。(思・判・表B(1)ア) ■夏を感じたことについて文章に書く。 ☆我が国の伝統と文化に対する理解と愛情を養う題材(道徳) ☆夏を感じたものの撮影(ICT活用)</p>	【知・技】語句の量を増し、文章の中で使うとともに、語彙を豊かにしている。(1)オ)	【思・判・表】「書くこと」において、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア)	【態】積極的に語句の量を増し、話や文章の中で使い、学習課題に沿ってその季節らしさを表現した文章を書こうとしている。
本で知ったことをクイズにしよう 鳥になったきょうりゅうの話	5	<p>◎幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づくことができる。(知・技(3)オ) ○文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気づくことができる。(思・判・表C(1)カ) ■図鑑や科学読み物を読んで、クイズを出し合う。 ☆本を選んで読む活動(図書館活用)</p>	【知・技】幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づいている。(3)オ)	【思・判・表】「読むこと」において、文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気づいている。(C(1)カ)	【態】進んで幅広く読書に親しみ、学習課題に沿って本で知ったことをクイズにしようとしている。
わたしと小鳥とすずと 夕日がせなかをおしてくる	2	<p>○文章全体の構成や内容の大体を意識しながら音読することができる。(知・技(1)ク) ○登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像することができる。(思・判・表C(1)エ) ■詩を読んで、思ったことや感じたことを話し合う。</p>	【知・技】文章全体の構成や内容の大体を意識しながら音読している。(1)ク)	【思・判・表】「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像している。(C(1)エ)	【態】進んで文章全体の構成や内容の大体を意識しながら音読し、学習課題に沿って詩を読んで思ったことや感じたことを話し合おうとしている。
こんな係がクラスにほしい	4	<p>◎考えとそれを支える理由や事例について理解することができる。(知・技(2)ア) ◎目的や進め方を確認して話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめることができる。(思・判・表A(1)オ) ○目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりすることができる。(思・判・表A(1)ア) ■グループで話し合い、考えを整理してまとめる。 ☆係活動における話し合い(特別活動)</p>	【知・技】考えとそれを支える理由や事例について理解している。(2)ア)	【思・判・表】 ・「話すこと・聞くこと」において、目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりしている。(A(1)ア) ・「話すこと・聞くこと」において、目的や進め方を確認して話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめている。(A(1)オ)	【態】進んで互いの意見の共通点や相違点に着目して考えをまとめ、学習の見通しをもってグループで話し合い、考えを整理してまとめようとしている。
ポスターを読もう	2	<p>◎文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつことができる。(思・判・表C(1)オ) ○比較や分類のしかたを理解し使うことができる。(知・技(2)イ) ○目的を意識して、中心となる語や文を見つけることができる。(思・判・表C(1)ウ) ■ポスターを読み比べて、考えたことを伝え合う。</p>	【知・技】比較や分類のしかたを理解し使っている。(2)イ)	【思・判・表】 ・「読むこと」において、目的を意識して、中心となる語や文を見つけている。(C(1)ウ) ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。(C(1)オ)	【態】文章を読んで理解したことに基づいて、進んで感想や考えをもち、学習課題に沿って考えたことを伝え合おうとしている。

令和6年度 評価規準

学校名:江戸川区立西葛西小学校

書くことを考えるときは	2	<p>◎比較や分類のしかたを理解し使うことができる。(知・技(2)イ)</p> <p>◎相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にすることができる。(思・判・表B(1)ア)</p> <p>■夏休みの思い出を書く。</p>	【知・技】比較や分類のしかたを理解し使っている。((2)イ)	【思・判・表】「書くこと」において、相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア)	【態】粘り強く集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にし、学習課題に沿って夏休みの思い出を書こうとしている。
漢字の組み立て	3	◎漢字が、へんやつくりなどから構成されていることについて理解することができる。(知・技(3)ウ)	【知・技】漢字が、へんやつくりなどから構成されていることについて理解している。((3)ウ)		【態】漢字がへんやつくりなどから構成されていることについて粘り強く理解し、学習課題に沿って漢字の構成を捉えようとしている。
ローマ字	5	◎日常使われている簡単な単語について、ローマ字で表記されたものを読み、ローマ字で書くことができる。(知・技(1)ウ)	【知・技】日常使われている簡単な単語について、ローマ字で表記されたものを読み、ローマ字で書いている。((1)ウ)		【態】進んでローマ字で表記されたものを読み、学習課題に沿ってローマ字で書いたり入力したりしようとしている。
ちいちゃんのかげおくり	11	<p>◎様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使い、語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)オ)</p> <p>◎文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつことができる。(思・判・表C(1)オ)</p> <p>◎登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像することができる。(思・判・表C(1)エ)</p> <p>■物語を読み、感想をまとめる。</p> <p>☆戦争や平和について考え、平和を願う心を養う題材(道徳)</p>	【知・技】様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使い、語彙を豊かにしている。((1)オ)	<p>【思・判・表】</p> <p>・「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像している。(C(1)エ)</p> <p>・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。(C(1)オ)</p>	【態】文章を読んで理解したことに基づいて、進んで感想や考えをもち、学習課題に沿って物語を読んだ感想をまとめようとしている。
修飾語を使って書こう	2	<p>◎主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係について理解することができる。(知・技(1)カ)</p> <p>◎言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解することができる。(知・技(1)オ)</p>	<p>【知・技】</p> <p>・言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解している。((1)オ)</p> <p>・主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係について理解している。((1)カ)</p>		【態】粘り強く修飾と被修飾との関係について理解し、学習課題に沿って修飾語を使って文を書こうとしている。

令和6年度 評価規準

学校名:江戸川区立西葛西小学校

<p>秋のくらし</p>	<p>2</p>	<p>◎語句の量を増し、話や文章の中で使い、語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)オ) ○経験したことや想像したことなどから書くことを選び、伝えたいことを明確にすることができる。(思・判・表B(1)ア) ■秋を感じたことについて文章に書く。 ☆我が国の伝統と文化に対する理解と愛情を養う題材(道徳) ☆秋を感じたものの撮影(ICT活用)</p>	<p>【知・技】語句の量を増し、話や文章の中で使い、語彙を豊かにしている。((1)オ)</p>	<p>【思・判・表】「書くこと」において、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア)</p>	<p>【態】積極的に語句の量を増し、話や文章の中で使い、学習課題に沿ってその季節らしさを表現した文章を書こうとしている。</p>
<p>おすすめのさつを決めよう</p>	<p>8</p>	<p>◎比較や分類のしかたを理解し使うことができる。(知・技(2)イ) ◎目的や進め方を確認し、司会などの役割を果たしながら話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめることができる。(思・判・表A(1)オ) ○目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝え合うために必要な事柄を選ぶことができる。(思・判・表A(1)ア) ■グループで役割を決めて話し合い、考えをまとめる。 ☆インタビューによって調査する活動(社会、総合的な学習の時間)</p>	<p>【知・技】比較や分類のしかたを理解し使っている。((2)イ)</p>	<p>【思・判・表】 ・「話すこと・聞くこと」において、目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝え合うために必要な事柄を選んでいる。(A(1)ア) ・「話すこと・聞くこと」において、目的や進め方を確認し、司会などの役割を果たしながら話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめている。(A(1)オ)</p>	<p>【態】粘り強く司会などの役割を果たしながら話し合い、学習の見通しをもって考えをまとめようとしている。</p>
<p>すがたをかえる大豆 食べ物のひみつを教えます</p>	<p>13</p>	<p>◎比較や分類のしかた、辞書の使い方を理解し使うことができる。(知・技(2)イ) ◎書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えることができる。(思・判・表B(1)イ) ◎目的を意識して、中心となる語や文を見つけることができる。(思・判・表C(1)ウ) ○幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づくことができる。(知・技(3)オ) ■筆者の説明の工夫を見つけ、食材について説明する文章を書く。 ☆食育に関わる題材(総合的な学習の時間) ☆食べ物について書かれた本を探す活動(図書館活用)</p>	<p>【知・技】 ・比較や分類のしかた、辞書の使い方を理解し使っている。((2)イ) ・幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づいている。((3)オ)</p>	<p>【思・判・表】 ・「書くこと」において、書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えている。(B(1)イ) ・「読むこと」において、目的を意識して、中心となる語や文を見つけている。(C(1)ウ)</p>	<p>【態】目的を意識して、粘り強く中心となる語や文を見つけたり、それらを明確にして文章の構成を考えたりし、学習の見通しをもって筆者の説明の工夫をいかした文章を書こうとしている。</p>

令和6年度 評価規準

学校名:江戸川区立西葛西小学校

ことわざ・故事成語	4	<p>◎長い間使われてきたことわざや慣用句、故事成語などの意味を知り、使うことができる。(知・技(3)イ) ○目的を意識して、伝えたいことを明確にすることができる。(思・判・表B(1)ア) ■ことわざの意味を調べ、ことわざ辞典を作る。</p>	<p>【知・技】長い間使われてきたことわざや慣用句、故事成語などの意味を知り、使っている。((3)イ)</p>	<p>【思・判・表】「書くこと」において、目的を意識して、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア)</p>	<p>【態】積極的にことわざや慣用句、故事成語などの意味を知り、使い、学習課題に沿ってことわざ辞典を作ろうとしている。</p>
漢字の意味	2	<p>◎漢字と仮名を用いた表記を理解して文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)ウ)</p>	<p>【知・技】漢字と仮名を用いた表記を理解して文や文章の中で使っている。((1)ウ)</p>		<p>【態】積極的に漢字と仮名を用いた表記を理解し、これまでの学習をいかして文や文章の中で使おうとしている。</p>
短歌を楽しもう	1	<p>◎易しい文語調の短歌を音読したり暗唱したりするなどして、言葉の響きやリズムに親しむことができる。(知・技(3)ア) ☆我が国の伝統と文化に対する理解と愛情を養う題材(道徳)</p>	<p>【知・技】易しい文語調の短歌を音読したり暗唱したりするなどして、言葉の響きやリズムに親しんでいる。((3)ア)</p>		<p>【態】進んで言葉の響きやリズムに親しみ、学習課題に沿って短歌を音読したり暗唱したりしようとしている。</p>
漢字の広場④	2	<p>◎第2学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)エ) ・間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確認したりして、文や文章を整えることができる。(思・判・表B(1)エ) ■絵を見て想像したことを基に文を書く。</p>	<p>【知・技】第2学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。((1)エ)</p>	<p>【思・判・表】「書くこと」において、間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確認したりして、文や文章を整えている。(B(1)エ)</p>	<p>【態】積極的に第2学年までに配当されている漢字を書き、これまでの学習をいかして、漢字を適切に使った文を作ろうとしている。</p>
三年とうげ	6	<p>◎登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えることができる。(思・判・表C(1)イ) ○引用のしかたを理解し使うことができる。(知・技(2)イ) ○幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づくことができる。(知・技(3)オ) ○文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつことができる。(思・判・表C(1)オ) ■民話や昔話を紹介する。 ☆世界の文化に対する興味・関心を促し、その理解を図る題材(道徳、総合的な学習の時間) ☆民話や昔話を探す活動(図書館活用)</p>	<p>【知・技】 ・引用のしかたを理解し使っている。((2)イ) ・幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づいている。((3)オ)</p>	<p>【思・判・表】 ・「読むこと」において、登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えている。(C(1)イ) ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。(C(1)オ)</p>	<p>【態】登場人物の行動や気持ちなどについて、積極的に叙述を基に捉え、学習課題に沿って民話や昔話を紹介しようとしている。</p>

令和6年度 評価規準

学校名:江戸川区立西葛西小学校

わたしの町のよいところ	10	<p>◎書こうとしたことが明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見つけることができる。(思・判・表B(1)オ)</p> <p>○考えとそれを支える理由について理解することができる。(知・技(2)ア)</p> <p>■町のよさを紹介する文章を書く。</p> <p>☆身近な地域を観察・調査する題材(社会)</p> <p>☆文章に適切な写真の撮影(ICT活用)</p>	【知・技】考えとそれを支える理由について理解している。((2)ア)	【思・判・表】「書くこと」において、書こうとしたことが明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見つけている。(B(1)オ)	【態】積極的に文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見つけ、学習課題に沿って町のよさを紹介する文章を書こうとしている。
冬のくらし	2	<p>◎語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)オ)</p> <p>○経験したことや想像したことなどから書くことを選び、伝えたいことを明確にすることができる。(思・判・表B(1)ア)</p> <p>■冬を感じたことについて文章を書く。</p> <p>☆我が国の伝統と文化に対する理解と愛情を養う題材(道徳)</p> <p>☆冬を感じたものの撮影(ICT活用)</p>	【知・技】語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語彙を豊かにしている。((1)オ)	【思・判・表】経験したことや想像したことなどから書くことを選び、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア)	【態】積極的に語句の量を増し、話や文章の中で使い、学習課題に沿ってその季節らしさを表現した文章を書こうとしている。
詩のくふうを楽しもう	4	<p>○文章全体の構成や内容の大体を意識しながら音読することができる。(知・技(1)ク)</p> <p>○文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見つけることができる。(思・判・表B(1)オ)</p> <p>○文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつことができる。(思・判・表C(1)オ)</p> <p>■詩を創作する。</p> <p>☆詩を探す活動(図書館活用)</p>	【知・技】文章全体の構成や内容の大体を意識しながら音読している。((1)ク) 【思・判・表】	【思・判・表】 ・「書くこと」において、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見つけている。(B(1)オ) ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。(C(1)オ)	【態】進んで文章全体の構成や内容の大体を意識しながら音読し、学習課題に沿って詩を創作しようとしている。
四まいの絵を使って	2	<p>◎書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えることができる。(思・判・表B(1)イ)</p> <p>○段落の役割について理解することができる。(知・技(1)カ)</p>	【知・技】段落の役割について理解している。((1)カ)	【思・判・表】「書くこと」において、書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えている。(B(1)イ)	【態】書く内容の中心を明確にし、文章の構成を考えることに粘り強く取り組み、学習課題に沿って物語の流れを書こうとしている。
カンジーはかせの音訓かるた	2	<p>◎第2学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)エ)</p> <p>・間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確認したりして、文や文章を整えることができる。(思・判・表B(1)エ)</p> <p>■絵を見て想像したことを基に文を書く。</p>	【知・技】第2学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。((1)エ)	【思・判・表】「書くこと」において、間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確認したりして、文や文章を整えている。(B(1)エ)	【態】積極的に第2学年までに配当されている漢字を書き、これまでの学習をいかして、漢字を適切に使った文を作ろうとしている。

令和6年度 評価規準

学校名:江戸川区立西葛西小学校

漢字の広場⑤	2	<p>◎第2学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)エ) ・間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確認したりして、文や文章を整えることができる。(思・判・表B(1)エ) ■絵を見て想像したことを基に文を書く。</p>	<p>【知・技】第2学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。(1)エ)</p>	<p>【思・判・表】「書くこと」において、間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確認したりして、文や文章を整えている。(B(1)エ)</p>	<p>【態】積極的に第2学年までに配当されている漢字を書き、これまでの学習をいかして、漢字を適切に使った文を作ろうとしている。</p>
ありの行列	9	<p>◎指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解することができる。(知・技(1)カ) ◎文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつことができる。(思・判・表C(1)オ) ◎文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気づくことができる。(思・判・表C(1)カ) ○言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解することができる。(知・技(1)オ) ■文章を読んで考えたことを伝え合う。 ☆生き物の生態や不思議さに目を向けさせる題材(理科)</p>	<p>【知・技】 ・言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解している。(1)オ) ・指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解している。(1)カ)</p>	<p>【思・判・表】 ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。(C(1)オ) ・「読むこと」において、文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気づいている。(C(1)カ)</p>	<p>【態】進んで文章を読んで理解したことに基づいて感想や考えをもち、学習課題に沿って、考えたことを伝え合おうとしている。</p>
つたわる言葉で表そう	5	<p>◎言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気づくことができる。(知・技(1)ア) ◎様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使い、語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)オ) ○自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫することができる。(思・判・表B(1)ウ) ■相手に伝わる文章を書く。 ☆体験したことを報告する文章にまとめる活動(社会、総合的な学習の時間)</p>	<p>【知・技】 ・言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気づいている。(1)ア) ・様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語彙を豊かにしている。(1)オ)</p>	<p>【思・判・表】「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。(B(1)ウ)</p>	<p>【態】言葉には考えたことや思ったことを表す働きがあることに積極的に気づき、学習の見通しをもって相手に伝わる文章を書くようとしている。</p>
たから島のぼうけん	8	<p>◎様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使い、語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)オ) ◎書き表し方を工夫することができる。(思・判・表B(1)ウ) ■物語を創作する。</p>	<p>【知・技】様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使い、語彙を豊かにしている。(1)オ)</p>	<p>【思・判・表】「書くこと」において、書き表し方を工夫している。(B(1)ウ)</p>	<p>【態】進んで様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使い、語彙を豊かにし、学習の見通しをもって物語を創作しようとしている。</p>

<p>お気に入りの場所、教えます</p>	<p>8</p>	<p>◎相手を見て話したり聞いたりするとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話すことができる。(知・技(1)イ) ◎相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるように話の構成を考慮することができる。(思・判・表A(1)イ) ○考えとそれを支える理由や事例、全体と中心などの情報と情報との関係について理解することができる。(知・技(2)ア) ○話の中心や話す場面を意識して、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫することができる。(思・判・表A(1)ウ) ■お気に入りの場所を発表する。 ☆発表に適切な写真の撮影(ICT活用) ☆発表の練習を撮影し見返すことでよりよくする活動(ICT活用)</p>	<p>【知・技】 ・相手を見て話したり聞いたりするとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話している。((1)イ) ・考えとそれを支える理由や事例、全体と中心などの情報と情報との関係について理解している。((2)ア)</p>	<p>【思・判・表】 ・「話すこと・聞くこと」において、相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるように話の構成を考えている。(A(1)イ)</p>	<p>【態】進んで話の中心が明確になるように話の構成を考え、学習課題に沿ってお気に入りの場所を発表しようとしている。</p>
<p>モチモチの木</p>	<p>12</p>	<p>◎文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気づくことができる。(思・判・表C(1)カ) ○様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)オ) ○登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わり結び付けて具体的に想像することができる。(思・判・表C(1)エ) ■登場人物について考えたことをまとめ、伝え合う。 ☆他者への愛情をもち、勇気をもって実行する姿勢を育てる題材(道徳)</p>	<p>【知・技】様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、語彙を豊かにしている。((1)オ)</p>	<p>【思・判・表】 ・「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わり結び付けて具体的に想像している。(C(1)エ) ・「読むこと」において、文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気づいている。(C(1)カ)</p>	<p>【態】登場人物の気持ちの変化や性格について、場面の移り変わり結び付けて具体的に粘り強く想像し、学習課題に沿って考えたことをまとめ、伝え合おうとしている。</p>
<p>漢字の広場⑥</p>	<p>2</p>	<p>◎第2学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)エ) ○修飾と被修飾との関係について理解することができる。(知・技(1)カ) ・間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えることができる。(思・判・表B(1)エ) ■絵を見て想像したことを基に文を書く。</p>	<p>【知・技】 ・第2学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。((1)エ) ・修飾と被修飾との関係について理解している。((1)カ)</p>	<p>【思・判・表】間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えている。(B(1)エ)</p>	<p>【態】積極的に第2学年までに配当されている漢字を書き、これまでの学習をいかして、漢字を適切に使った文を作ろうとしている。</p>

<p>三年生をふり返って</p>	<p>2</p>	<p>○言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気づくことができる。(知・技(1)ア) ○経験したことや想像したことなどから書くことを選び、伝えたいことを明確にすることができる。(思・判・表B(1)ア) ■1年間の国語科での学びを振り返って、書く。 ☆一人一人のキャリア形成と自己実現を育む題材(特別活動)</p>	<p>【知・技】言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気づいている。((1)ア)</p>	<p>【思・判・表】「書くこと」において、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア)</p>	<p>【態】進んで経験したことや想像したことなどから書くことを選び、伝えたいことを明確にし、学習課題に沿って1年間の振り返りを書こうとしている。</p>
------------------	----------	---	--	--	--

教科	国語	学年	第4学年
----	----	----	------

◎重点指導事項 △知識・技能 ◇話すこと・聞くこと ■書くこと □読むこと

A話すこと・聞くこと B書くこと C読むこと

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
よく見て、よく聞いて、受け止めよう つないで つないで	2	◇相手が言葉や動きをとおして伝えたいことは何か考えながら聞き、相手が伝えたいことの手を捉え、自分の考えをもつ。	◎【知技】言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付いている。([知識及び技能](1)ア)	◎【思判表】「話すこと・聞くこと」において、必要なことを記録したり質問したりしながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの手を捉え、自分の考えをもっている。(A(1)エ)	【態度】相手の言葉や動きを受け止め、相手が伝えたいことは何かすすんで考え、自分の考えをもとうとしている。
春のうた あり	1	△文章全体の内容や構成の大体を意識しながら音読すること。⇒◎知技(1)ク □登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像すること。⇒◎思判表C(1)エ	◎【知技】文章全体の構成や内容の大体を意識しながら音読している。([知識及び技能](1)ク)	◎【思判表】「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像している。([思考力、判断力、表現力等]Cエ)	【態度】進んで、登場人物の気持ちの変化や情景について具体的に想像し、学習の見通しをもって音読したりイメージを広げたりしようとしている。
白いぼうし	11	△様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解し、語彙を豊かにすること。⇒◎知技(1)オ ■自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫すること。⇒思判表B(1)ウ □場面の移り変わりや登場人物の行動、気持ちの変化などについて、叙述を基に捉えること。⇒◎思判表C(1)イ □登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像すること。⇒◎思判表C(1)エ	◎【知技】様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解し、語彙を豊かにしている。([知識及び技能](1)オ)	【思判表】「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。([思考力、判断力、表現力等]Bウ) ◎【思判表】「読むこと」において、登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えている。([思考力、判断力、表現力等]Cイ) ◎【思判表】「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像している。([思考力、判断力、表現力等]Cエ)	【態度】進んで登場人物の気持ちや性格、情景について具体的に想像し、今までの学習を生かして、登場人物になったつもりで日記を書こうとしている。

<p>見つけよう,ぴったりの言葉</p>	<p>4</p>	<p>△言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付くこと。⇒◎知技(1)ア △漢字と仮名を用いた表記、送り仮名の付け方、改行の仕方を理解して文や文章の中で使うとともに、句読点を適切に打つこと。また、第3学年においては、日常使われている簡単な単語について、ローマ字で表記されたものを読み、ローマ字で書くこと。⇒◎知技(1)ウ</p> <p>■相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にすること。⇒◎思判表B(1)ア</p>	<p>◎【知技】言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付いている。([知識及び技能](1)ア)</p> <p>◎【知技】漢字と仮名を用いた表記、送り仮名の付け方、改行の仕方を理解して文や文章の中で使っているとともに、句読点を適切に打っている。([知識及び技能](1)ウ)</p>	<p>◎【思判表】「書くこと」において、相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。([思考力、判断力、表現力等]Bア)</p>	<p>【態度】進んで経験したことや想像したことなどから書くことを選び、学習の見通しをもって、心が動いたできごとを短い文章で表現しようとしている。</p>
<p>漢字の広場① 漢字の部首</p>	<p>2</p>	<p>△第3学年及び第4学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読むこと。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使うこと。⇒◎知技(1)エ △丁寧な言葉を使うとともに、敬体と常体との違いに注意しながら書くこと。⇒知技(1)キ</p> <p>■書こうとしたことが明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けること。⇒◎思判表B(1)オ</p>	<p>◎【知技】前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使っている。([知識及び技能](1)エ)</p>	<p>【思判表】「書くこと」において、書こうとしたことが明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けている。([思考力、判断力、表現力等]Bオ)</p>	<p>【態度】積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を使い、学習課題に沿って、教科書の絵の中の言葉を使って文を書こうとしている。</p>
<p>三年生で学んだ漢字①</p>	<p>2</p>	<p>△漢字の部首について知り、漢字を覚えたり使ったりするときに役立てる。</p> <p>△第3学年及び第4学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読むこと。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使うこと。⇒知技(1)エ △漢字が、へんやつくりなどから構成されていることについて理解すること。⇒◎知技(3)ウ</p>	<p>◎【知技】漢字が、へんやつくりなどから構成されていることについて理解している。([知識及び技能](3)ウ)</p>		<p>【態度】進んで、漢字がへんやつくりなどから構成されていることについて理解し、学習の見通しをもって、漢字を覚えたり使ったりするときに役立てようとしている。</p>

<p>ぞうの重さを量る</p>	<p>2</p>	<p>△主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解すること。⇒◎知技(1)カ △考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解すること。⇒◎知技(2)ア □段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉えること。⇒◎思判表C(1)ア</p>	<p>◎【知技】主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解している。([知識及び技能](1)カ) ◎【知技】考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解している。([知識及び技能](2)ア)</p>	<p>◎【思判表】「読むこと」において、段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉えている。([思考力、判断力、表現力等]Cア)</p>	<p>【態度】粘り強く、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて叙述を基に捉え、学習の見通しをもって、考える筋道をつかもうとしている。</p>
<p>花を見つける手がかり</p>	<p>11</p>	<p>△主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解すること。⇒◎知技(1)カ △考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解すること。⇒◎知技(2)ア ■自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫すること。⇒思判表B(1)ウ □段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉えること。⇒◎思判表C(1)ア □目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約すること。⇒◎思判表C(1)ウ</p>	<p>◎【知技】主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解している。([知識及び技能](1)カ) ◎【知技】考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解している。([知識及び技能](2)ア)</p>	<p>【思判表】「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。([思考力、判断力、表現力等]Bウ) ◎【思判表】「読むこと」において、段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉えている。([思考力、判断力、表現力等]Cア) ◎【思判表】「読むこと」において、目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約している。([思考力、判断力、表現力等]Cウ)</p>	<p>【態度】粘り強く、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて叙述を基に捉え、学習の見通しをもって、結果と結論のつながりを捉えようとしている。</p>

<p>分類をもとに本を見つけてよう</p>	<p>4</p>	<p>△考えとそれを支える理由や事例，全体と中心など情報と情報との関係について理解すること。⇒◎知技(2)ア △比較や分類の仕方，必要な語句などの書き留め方，引用の仕方や出典の示し方，辞書や事典の使い方を理解し使うこと。⇒◎知技(2)イ △幅広く読書に親しみ，読書が，必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付くこと。⇒◎知技(3)オ □目的を意識して，中心となる語や文を見つけて要約すること。⇒◎思判表C(1)ウ</p>	<p>◎【知技】考えとそれを支える理由や事例，全体と中心など情報と情報との関係について理解している。([知識及び技能](2)ア) ◎【知技】比較や分類の仕方，必要な語句などの書き留め方，引用の仕方や出典の示し方，辞書や事典の使い方を理解し使っている。([知識及び技能](2)イ) ◎【知技】幅広く読書に親しみ，読書が，必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付いている。([知識及び技能](3)オ)</p>	<p>◎【思判表】「読むこと」において，目的を意識して，中心となる語や文を見つけて要約している。([思考力，判断力，表現力等]Cウ)</p>	<p>【態度】進んで比較や分類の仕方を理解し，学習の見通しをもって，分類記号を手がかりに本を探して読もうとしている。</p>
<p>漢字辞典の使い方</p>	<p>2</p>	<p>△比較や分類の仕方，必要な語句などの書き留め方，引用の仕方や出典の示し方，辞書や事典の使い方を理解し使うこと。⇒◎知技(2)イ △漢字が，へんやつくりなどから構成されていることについて理解すること。⇒知技(3)ウ</p>	<p>◎【知技】比較や分類の仕方，必要な語句などの書き留め方，引用の仕方や出典の示し方，辞書や事典の使い方を理解し使っている。([知識及び技能](2)イ)</p>		<p>【態度】積極的に辞書や事典の使い方を理解し，学習の見通しをもって漢字辞典を活用しようとしている。</p>
<p>メモの取り方のくふう</p>	<p>3</p>	<p>△比較や分類の仕方，必要な語句などの書き留め方，引用の仕方や出典の示し方，辞書や事典の使い方を理解し使うこと。⇒◎知技(2)イ ◇必要なことを記録したり質問したりしながら聞き，話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉え，自分の考えを持つこと。⇒◎思判表A(1)エ</p>	<p>◎【知技】比較や分類の仕方，必要な語句などの書き留め方，引用の仕方や出典の示し方，辞書や事典の使い方を理解し使っている。([知識及び技能](2)イ)</p>	<p>◎【思判表】「話すこと・聞くこと」において，必要なことを記録したり質問したりしながら聞き，話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉え，自分の考えをもっている。([思考力，判断力，表現力等]Aエ)</p>	<p>【態度】進んで必要なことを記録したり質問したりしながら聞き，話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉え，学習の見通しをもって，大切なことを落とさないように聞こうとしている。</p>

リーフレットでほうこく	10	<p>△漢字と仮名を用いた表記，送り仮名の付け方，改行の仕方を理解して文や文章の中で使うとともに，句読点を適切に打つこと。また，第3学年においては，日常使われている簡単な単語について，ローマ字で表記されたものを読み，ローマ字で書くこと。⇒◎知技(1)ウ</p> <p>■書く内容の中心を明確にし，内容のまとまりで段落をつつたり，段落相互の関係に注意したりして，文章の構成を考えること。⇒◎思判表B(1)イ</p> <p>■自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして，書き表し方を工夫すること。⇒◎思判表B(1)ウ</p> <p>■間違いを正したり，相手や目的を意識した表現になっているかを確認したりして，文や文章を整えること。⇒◎思判表B(1)エ</p>	<p>◎【知技】漢字と仮名を用いた表記，送り仮名の付け方，改行の仕方を理解して文や文章の中で使っているとともに，句読点を適切に打っている。〔知識及び技能〕(1)ウ)</p>	<p>◎【思判表】「書くこと」において，書く内容の中心を明確にし，内容のまとまりで段落をつつたり，段落相互の関係に注意したりして，文章の構成を考えている。〔思考力，判断力，表現力等〕Bイ)</p> <p>◎【思判表】「書くこと」において，自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして，書き表し方を工夫している。〔思考力，判断力，表現力等〕Bウ)</p> <p>◎【思判表】「書くこと」において，間違いを正したり，相手や目的を意識した表現になっているかを確認したりして，文や文章を整えている。〔思考力，判断力，表現力等〕Bエ)</p>	<p>【態度】積極的に，書く内容の中心を明確にし，文章の構成を考え，学習の見通しをもってリーフレットの組み立てを考えようとしている。</p>
いろいろな手紙	2	<p>△丁寧な言葉を使うとともに，敬体と常体との違いに注意しながら書くこと。⇒◎知技(1)キ</p> <p>■間違いを正したり，相手や目的を意識した表現になっているかを確認したりして，文や文章を整えること。⇒◎思判表B(1)エ</p>	<p>◎【知技】丁寧な言葉を使っているとともに，敬体と常体との違いに注意しながら書いている。〔知識及び技能〕(1)キ)</p>	<p>◎【思判表】「書くこと」において，間違いを正したり，相手や目的を意識した表現になっているかを確認したりして，文や文章を整えている。〔思考力，判断力，表現力等〕Bエ)</p>	<p>【態度】粘り強く間違いを正したり，相手や目的を意識した表現になっているかを確認し，学習の見通しをもって，送る相手や伝える目的に合わせた手紙を書こうとしている。</p>
短歌の世界	4	<p>△易しい文語調の短歌や俳句を音読したり暗唱したりするなどして，言葉の響きやリズムに親しむこと。⇒◎知技(3)ア</p> <p>■自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして，書き表し方を工夫すること。⇒◎思判表B(1)ウ</p>	<p>◎【知技】易しい文語調の短歌や俳句を音読したり暗唱したりするなどして，言葉の響きやリズムに親しんでいる。〔知識及び技能〕(3)ア)</p>	<p>【思判表】「書くこと」において，自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして，書き表し方を工夫している。〔思考力，判断力，表現力等〕Bウ)</p>	<p>【態度】進んで易しい文語調の短歌を音読したり暗唱したりするなどし，学習の見通しをもって，言葉のリズムを楽しんだり様子や気持ちを想像したりしようとしている。</p>
漢字の広場 ② 漢字の音を表す部分	2	<p>△漢字が，へんやつくりなどから構成されていることについて理解すること。⇒◎知技(3)ウ</p>	<p>◎【知技】漢字が，へんやつくりなどから構成されていることについて理解している。〔知識及び技能〕(3)ウ)</p>		<p>【態度】進んで漢字がへんやつくりなどから構成されていることについて理解し，学習課題に沿って，「音を表す部分」を漢字を覚えたり使ったりすることに役立てようとしている。</p>

<p>都道府県名に用いる漢字</p>	<p>1</p>	<p>△第3学年及び第4学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読むこと。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使うこと。⇒◎知技(1)エ ■相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にすること。⇒◎思判表B(1)ア</p>	<p>◎【知技】前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使っている。([知識及び技能](1)エ)</p>	<p>【思判表】「書くこと」において、相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。([思考力、判断力、表現力等]Bア)</p>	<p>【態度】積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使い、学習課題に沿って、都道府県名を覚えたり書いたりしようとしている。</p>
<p>漢字の広場 ② 三年生で学んだ漢字 ②</p>	<p>2</p>	<p>△第3学年及び第4学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読むこと。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使うこと。⇒◎知技(1)エ ■自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫すること。⇒◎思判表B(1)ウ</p>	<p>◎【知技】前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使っている。([知識及び技能](1)エ)</p>	<p>【思判表】「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。([思考力、判断力、表現力等]Bウ)</p>	<p>【態度】積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を使い、学習課題に沿って、教科書の絵の中の言葉を使って文を書こうとしている。</p>
<p>ぞろぞろ(落語)</p>	<p>11</p>	<p>△相手を見て話したり聞いたりするとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話すこと。⇒◎知技(1)イ ◇話の中心や話す場面を意識して、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫すること。⇒思判表A(1)ウ □場面の移り変わりや登場人物の行動、気持ちの変化などについて、叙述を基に捉えること。⇒◎思判表C(1)イ □登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わり結び付けて具体的に想像すること。⇒◎思判表C(1)エ</p>	<p>◎【知技】相手を見て話したり聞いたりしているとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話している。([知識及び技能](1)イ)</p>	<p>【思判表】「話すこと・聞くこと」において、話の中心や話す場面を意識して、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫している。([思考力、判断力、表現力等]Aウ) ◎【思判表】「読むこと」において、登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えている。([思考力、判断力、表現力等]Cイ) ◎【思判表】「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わり結び付けて具体的に想像している。([思考力、判断力、表現力等]Cエ)</p>	<p>【態度】進んで登場人物の気持ちの変化や性格、情景について具体的に想像し、学習の見通しをもって、落語を音読したり演じたりしようとしている。</p>

<p>読書の広場② ひろがる読書の世界</p>	<p>1</p>	<p>△「本について語り合う」、「同じ作者の本を読む」という学習活動を通して、幅広く読書に親しむ。</p>	<p>【知識・技能】 ◎幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付いている。(3才)</p>	<p>【思考・判断・表現】 ○「読むこと」において、文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付いている。(C1)力</p> <p>【態度】 ・読書生活を振り返り、読みたい本を選んだり、これからの読書生活を考えたりしている。</p>	<p>【態度】 ・読書生活を振り返り、読みたい本を選んだり、これからの読書生活を考えたりしている。</p>
<p>写真から読み取る</p>	<p>6</p>	<p>△相手を見て話したり聞いたりするとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話すこと。⇒◎知技(1)イ △考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解すること。⇒◎知技(2)ア ◇相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるよう話の構成を考えること。⇒◎思判表A(1)イ ◇話の中心や話す場面を意識して、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫すること。⇒◎思判表A(1)ウ</p>	<p>◎【知技】相手を見て話したり聞いたりしているとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話している。([知識及び技能](1)イ)</p> <p>◎【知技】考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解している。([知識及び技能](2)ア)</p>	<p>◎【思判表】「話すこと・聞くこと」において、相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるように話の構成を考えている。([思考力、判断力、表現力等]Aイ)</p> <p>◎【思判表】「話すこと・聞くこと」において、話の中心や話す場面を意識して、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫している。([思考力、判断力、表現力等]Aウ)</p>	<p>【態度】粘り強く、理由や事例などを挙げながら話の中心が明確になるように構成を考え、学習の見通しをもって、写真から読み取ったことを話そうとしている。</p>

<p>作ろう学級新聞</p>	<p>5</p>	<p>△漢字と仮名を用いた表記，送り仮名の付け方，改行の仕方を理解して文や文章の中で使うとともに，句読点を適切に打つこと。また，第3学年においては，日常使われている簡単な単語について，ローマ字で表記されたものを読み，ローマ字で書くこと。⇒◎知技(1)ウ △考えとそれを支える理由や事例，全体と中心など情報と情報との関係について理解すること。⇒◎知技(2)ア ■自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして，書き表し方を工夫すること。⇒◎思判表B(1)ウ ■間違いを正したり，相手や目的を意識した表現になっているか確かめたりして，文や文章を整えること。⇒◎思判表B(1)エ</p>	<p>◎【知技】漢字と仮名を用いた表記，送り仮名の付け方，改行の仕方を理解して文や文章の中で使っているとともに，句読点を適切に打っている。〔知識及び技能〕(1)ウ ◎【知技】考えとそれを支える理由や事例，全体と中心など情報と情報との関係について理解している。〔知識及び技能〕(2)ア</p>	<p>◎【思判表】「書くこと」において，自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして，書き表し方を工夫している。〔思考力，判断力，表現力等〕Bウ ◎【思判表】「書くこと」において，間違いを正したり，相手や目的を意識した表現になっているか確かめたりして，文や文章を整えている。〔思考力，判断力，表現力等〕Bエ</p>	<p>【態度】粘り強く間違いを正したり文章を整えたりし，学習の見通しをもって新聞を作ろうとしている。</p>
<p>漢字の広場 ③ 送りがなのつけ方</p>	<p>2</p>	<p>△送り仮名は，漢字の読みや意味をはっきりさせるはたらきをもつことを理解し，漢字を正しく使う。 △漢字と仮名を用いた表記，送り仮名の付け方，改行の仕方を理解して文や文章の中で使うとともに，句読点を適切に打つこと。また，第3学年においては，日常使われている簡単な単語について，ローマ字で表記されたものを読み，ローマ字で書くこと。⇒◎知技(1)ウ △第3学年及び第4学年の各学年においては，学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読むこと。また，当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き，文や文章の中で使うとともに，当該学年に配当されている漢字を漸次書き，文や文章の中で使うこと。⇒知技(1)エ</p>	<p>◎【知技】漢字と仮名を用いた表記，送り仮名の付け方，改行の仕方を理解して文や文章の中で使っているとともに，句読点を適切に打っている。〔知識及び技能〕(1)ウ</p>		<p>【態度】進んで送り仮名の付け方を理解して文や文章の中で使い，学習課題に沿って，漢字を正しく使おうとしている。</p>
<p>漢字の広場 ③ 三年生で学んだ漢字 ③</p>	<p>2</p>	<p>△第3学年及び第4学年の各学年においては，学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読むこと。また，当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き，文や文章の中で使うとともに，当該学年に配当されている漢字を漸次書き，文や文章の中で使うこと。⇒◎知技(1)エ ■自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして，書き表し方を工夫すること。 ⇒◎思判表B(1)ウ</p>	<p>◎【知技】前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使っている。〔知識及び技能〕(1)エ</p>	<p>【思判表】「書くこと」において，自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして，書き表し方を工夫している。〔思考力，判断力，表現力等〕Bウ</p>	<p>【態度】積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を使い，学習課題に沿って，教科書の絵の中の言葉を使って文を書こうとしている。</p>

<p>一つの花</p>	<p>10</p>	<p>△様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解し、語彙を豊かにすること。⇒◎知技(1)オ △考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解すること。⇒◎知技(2)ア ■相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にすること。⇒◎思判表B(1)ア □登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりや結び付けて具体的に想像すること。⇒◎思判表C(1)エ □文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつこと。⇒◎思判表C(1)オ</p>	<p>◎【知技】様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解し、語彙を豊かにしている。([知識及び技能](1)オ) ◎【知技】考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解している。([知識及び技能](2)ア)</p>	<p>【思判表】「書くこと」において、相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。([思考力、判断力、表現力等]Bア) ◎【思判表】「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりや結び付けて具体的に想像している。([思考力、判断力、表現力等]Cエ) ◎【思判表】「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。([思考力、判断力、表現力等]Cオ)</p>	<p>【態度】積極的に、文章を読んで理解したことに基づいて感想や考えをもち、学習の見通しをもって、心に残った場面をもとに感想文を書こうとしている。</p>
<p>修飾語</p>	<p>2</p>	<p>△文の中での修飾語のはたらきを理解する。 △様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解し、語彙を豊かにすること。⇒知技(1)オ △主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解すること。⇒◎知技(1)カ</p>	<p>◎【知技】主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解している。([知識及び技能](1)カ)</p>		<p>【態度】進んで修飾と被修飾との関係について理解し、学習の見通しをもって、修飾語を見つけたり、修飾語の種類を見分けたりしようとしている。</p>
<p>作ろう！「ショートショート」</p>	<p>6</p>	<p>△漢字と仮名を用いた表記、送り仮名の付け方、改行の仕方を理解して文や文章の中で使うとともに、句読点を適切に打つこと。また、第3学年においては、日常使われている簡単な単語について、ローマ字で表記されたものを読み、ローマ字で書くこと。⇒◎知技(1)ウ ■相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にすること。⇒◎思判表B(1)ア</p>	<p>◎【知技】漢字と仮名を用いた表記、送り仮名の付け方、改行の仕方を理解して文や文章の中で使っているとともに、句読点を適切に打っている。([知識及び技能](1)ウ)</p>	<p>◎【思判表】「書くこと」において、相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。([思考力、判断力、表現力等]Bア)</p>	<p>【態度】積極的に、相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりし、学習の見通しをもって「ショートショート」を書こうとしている。</p>
<p>「月」のつく言葉</p>	<p>1</p>	<p>△易しい文語調の短歌や俳句を音読したり暗唱したりするなどして、言葉の響きやリズムに親しむこと。⇒◎知技(3)ア ■相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にすること。⇒◎思判表B(1)ア</p>	<p>◎【知技】易しい文語調の短歌や俳句を音読したり暗唱したりするなどして、言葉の響きやリズムに親しんでいる。([知識及び技能](3)ア)</p>	<p>【思判表】「書くこと」において、相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。([思考力、判断力、表現力等]Bア)</p>	<p>【態度】進んで「月」に関わる言葉を音読するなどして言葉の響きやリズムに親しみ、学習の見通しをもって「月」に係る言葉を集めようとしている。</p>

<p>国語の学習 つながる ひろがる</p>	<p>1</p>	<p>■一年間の国語学習を振り返ったり、これからの学習について考えたりして、すすんで学習できるようにする。</p>	<p>【知識・技能】 ○相手を見て話したり聞いたりしているとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話している。(1)イ</p>	<p>【思考・判断・表現】 ○「話すこと・聞くこと」において、話の中心や話す場面を意識して、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫している。(A(1)ウ) ◎「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。(B(1)ウ)</p>	<p>【態度】 ・すすんで話の中心や話す場面を意識して、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫し、今までの学習を生かして、上巻の教科書での国語の学習を振り返ったり下巻の教科書での国語の学習への希望を話し合ったりしようとしている。</p>
<p>ごんぎつね</p>	<p>9</p>	<p>△様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解し、語彙を豊かにすること。⇒◎知技(1)オ ■自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫すること。⇒思判表B(1)ウ □登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わり結び付けて具体的に想像すること。⇒◎思判表C(1)エ □文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつこと。⇒◎思判表C(1)オ</p>	<p>◎【知技】様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解し、語彙を豊かにしている。(【知識及び技能】(1)オ)</p>	<p>【思判表】「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。(【思考力、判断力、表現力等】Bウ) ◎【思判表】「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わり結び付けて具体的に想像している。(【思考力、判断力、表現力等】Cエ) ◎【思判表】「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。(【思考力、判断力、表現力等】Cオ)</p>	<p>【態度】積極的に、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わり結び付けて具体的に想像し、学習の見通しをもって物語のポスターを作ろうとしている。</p>
<p>「読書発表会」をしよう</p>	<p>5</p>	<p>△比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方を理解し使うこと。⇒◎知技(2)イ △幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付くこと。⇒◎知技(3)オ □文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付くこと。⇒◎思判表C(1)カ</p>	<p>◎【知技】比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方を理解し使っている。(【知識及び技能】(2)イ) ◎【知技】幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付いている。(【知識及び技能】(3)オ)</p>	<p>◎【思判表】「読むこと」において、文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付いている。(【思考力、判断力、表現力等】Cカ)</p>	<p>【態度】積極的に文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、学習の見通しをもって、「読書発表会」で本を紹介しようとしている。</p>

令和6年度 評価規準

学校名：江戸川区立西葛西小学校

<p>言葉が表す感じ、言葉から受ける感じ</p>	<p>4</p>	<p>△言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付くこと。⇒◎知技(1)ア ◇相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるよう話の構成を考えること。⇒◎思判表A(1)イ 表A(2)ウ</p>	<p>◎【知技】言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付いている。([知識及び技能](1)ア)</p>	<p>【思判表】「話すこと・聞くこと」において、相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるように話の構成を考えている。([思考力、判断力、表現力等]Aイ)</p>	<p>【態度】進んで、言葉には考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付こうとし、学習課題に沿って、言葉がもつイメージについて考えようとしている。</p>
<p>みんなが楽しめる新スポーツ</p>	<p>8</p>	<p>△考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解すること。⇒◎知技(2)ア △比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方を理解し使うこと。⇒◎知技(2)イ ◇目的や進め方を確認し、司会などの役割を果たしながら話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめること。⇒◎思判表A(1)オ</p>	<p>◎【知技】考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解している。([知識及び技能](2)ア) ◎【知技】比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方を理解し使っている。([知識及び技能](2)イ)</p>	<p>◎【思判表】「話すこと・聞くこと」において、目的や進め方を確認し、司会などの役割を果たしながら話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめている。([思考力、判断力、表現力等]Aオ)</p>	<p>【態度】積極的に目的や進め方を確認し、司会などの役割を果たし、学習の見通しをもってクラスで話し合おうとしている。</p>
<p>漢字の広場 ④ いろいろな意味を表す漢字</p>	<p>2</p>	<p>△第3学年及び第4学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読むこと。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使うこと。⇒◎知技(1)エ</p>	<p>◎【知技】前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使っている。([知識及び技能](1)エ)</p>		<p>【態度】積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使い、学習課題に沿って、漢字がもつ複数の意味について考えようとしている。</p>
<p>漢字の広場 ④ 三年生で学んだ漢字 ④</p>	<p>2</p>	<p>△第3学年及び第4学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読むこと。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使うこと。⇒◎知技(1)エ ■書こうとしたことが明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けること。⇒◎思判表B(1)オ</p>	<p>◎【知技】前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使っている。([知識及び技能](1)エ)</p>	<p>【思判表】「書くこと」において、書こうとしたことが明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けている。([思考力、判断力、表現力等]Bオ)</p>	<p>【態度】積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を使い、学習課題に沿って、教科書の絵の中の言葉を使って文を書こうとしている。</p>

<p>ウミガメの命をつなぐ</p>	<p>10</p>	<p>△考えとそれを支える理由や事例，全体と中心など情報と情報との関係について理解すること。⇒◎知技(2)ア △比較や分類の仕方，必要な語句などの書き留め方，引用の仕方や出典の示し方，辞書や事典の使い方を理解し使うこと。⇒◎知技(2)イ</p> <p>■書く内容の中心を明確にし，内容のまとまりで段落をつくったり，段落相互の関係に注意したりして，文章の構成を考えること。⇒思判表B(1)イ</p> <p>□目的を意識して，中心となる語や文を見付けて要約すること。⇒◎思判表C(1)ウ □文章を読んで理解したことに基づいて，感想や考えをもつこと。⇒◎思判表C(1)オ</p>	<p>◎【知技】考えとそれを支える理由や事例，全体と中心など情報と情報との関係について理解している。([知識及び技能](2)ア)</p> <p>◎【知技】比較や分類の仕方，必要な語句などの書き留め方，引用の仕方や出典の示し方，辞書や事典の使い方を理解し使っている。([知識及び技能](2)イ)</p>	<p>【思判表】「書くこと」において，書く内容の中心を明確にし，内容のまとまりで段落をつくったり，段落相互の関係に注意したりして，文章の構成を考えている。([思考力，判断力，表現力等]Bイ)</p> <p>◎【思判表】「読むこと」において，目的を意識して，中心となる語や文を見付けて要約している。([思考力，判断力，表現力等]Cウ)</p> <p>◎【思判表】「読むこと」において，文章を読んで理解したことに基づいて，感想や考えをもっている。([思考力，判断力，表現力等]Cオ)</p>	<p>【態度】積極的に，目的を意識して中心となる語や文を見付けて要約し，学習の見通しをもって，本教材の紹介文を書こうとしている。</p>
<p>二つのことがらをつなぐ</p>	<p>2</p>	<p>△主語と述語との関係，修飾と被修飾との関係，指示する語句と接続する語句の役割，段落の役割について理解すること。⇒◎知技(1)カ</p>	<p>◎【知技】主語と述語との関係，修飾と被修飾との関係，指示する語句と接続する語句の役割，段落の役割について理解している。([知識及び技能](1)カ)</p>		<p>【態度】進んで接続する語句の役割について理解し，学習の見通しをもって，接続語のはたらきを意識して正しく使い分けようとしている。</p>
<p>クラスの「不思議ずかん」を作ろう</p>	<p>6</p>	<p>△比較や分類の仕方，必要な語句などの書き留め方，引用の仕方や出典の示し方，辞書や事典の使い方を理解し使うこと。⇒◎知技(2)イ</p> <p>■相手や目的を意識して，経験したことや想像したことなどから書くことを選び，集めた材料を比較したり分類したりして，伝えたいことを明確にすること。⇒◎思判表B(1)ア</p> <p>■自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして，書き表し方を工夫すること。⇒◎思判表B(1)ウ</p> <p>■間違いを正したり，相手や目的を意識した表現になっているか確かめたりして，文や文章を整えること。⇒◎思判表B(1)エ</p>	<p>◎【知技】比較や分類の仕方，必要な語句などの書き留め方，引用の仕方や出典の示し方，辞書や事典の使い方を理解し使っている。([知識及び技能](2)イ)</p>	<p>◎【思判表】「書くこと」において，相手や目的を意識して，経験したことから書くことを選び，集めた材料を比較したり分類したりして，伝えたいことを明確にしている。([思考力，判断力，表現力等]Bア)</p> <p>◎【思判表】「書くこと」において，自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして，書き表し方を工夫している。([思考力，判断力，表現力等]Bウ)</p> <p>◎【思判表】「書くこと」において，間違いを正したり，相手や目的を意識した表現になっているか確かめたりして，文や文章を整えている。([思考力，判断力，表現力等]Bエ)</p>	<p>【態度】積極的に，自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして書き表し方を工夫し，学習の見通しをもって「不思議ずかん」を作ろうとしている。</p>

令和6年度 評価規準

学校名：江戸川区立西葛西小学校

<p>故事成語</p>	<p>4</p>	<p>△長い間使われてきたことわざや慣用句、故事成語などの意味を知り、使うこと。⇒◎知技(3)イ ■自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫すること。⇒◎思判表B(1)ウ</p>	<p>◎【知技】長い間使われてきたことわざや慣用句、故事成語などの意味を知り、使っている。〔知識及び技能〕(3)イ)</p>	<p>【思判表】「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。〔思考力、判断力、表現力等〕Bウ)</p>	<p>【態度】積極的に、長い間使われてきた故事成語の意味を知り、学習の見通しをもってカードにまとめようとしている。</p>
<p>詩を読もう いろいろな詩／おおきな木</p>	<p>1</p>	<p>△文章全体の内容や構成の大体を意識しながら音読すること。⇒◎知技(1)ク <input type="checkbox"/>登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像すること。⇒◎思判表C(1)エ <input type="checkbox"/>文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつこと。⇒◎思判表C(1)オ</p>	<p>◎【知技】文章全体の構成や内容の大体を意識しながら音読している。〔知識及び技能〕(1)ク)</p>	<p>◎【思判表】「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像している。〔思考力、判断力、表現力等〕Cエ) ◎【思判表】「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。〔思考力、判断力、表現力等〕Cオ)</p>	<p>【態度】進んで、詩を読んで理解したことに基づいて感想や考えをもち、学習の見通しをもって発表し合おうとしている。</p>
<p>漢字の広場 ⑤ 熟語のでき方</p>	<p>2</p>	<p>△第3学年及び第4学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読むこと。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使うこと。⇒◎知技(1)エ</p>	<p>◎【知技】前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使っている。〔知識及び技能〕(1)エ)</p>		<p>【態度】積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を使い、学習課題に沿って、二つの漢字を組み合わせた熟語の構成について考えようとしている。</p>
<p>漢字の広場 ⑤ 三年生で学んだ漢字 ⑤</p>	<p>2</p>	<p>△第3学年及び第4学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読むこと。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使うこと。⇒◎知技(1)エ ■相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にすること。⇒◎思判表B(1)ア</p>	<p>◎【知技】前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使っている。〔知識及び技能〕(1)エ)</p>	<p>【思判表】「書くこと」において、相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。〔思考力、判断力、表現力等〕Bア)</p>	<p>【態度】積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を使い、学習課題に沿って、教科書の絵の中の言葉を使って文を書こうとしている。</p>

<p>くらしを便利にするために</p>	<p>6</p>	<p>△考えとそれを支える理由や事例，全体と中心など情報と情報との関係について理解すること。⇒◎知技(2)ア △比較や分類の仕方，必要な語句などの書き留め方，引用の仕方や出典の示し方，辞書や事典の使い方を理解し使うこと。⇒◎知技(2)イ △幅広く読書に親しみ，読書が，必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付くこと。⇒◎知技(3)オ</p> <p>■自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして，書き表し方を工夫すること。⇒思判表B(1)ウ</p> <p>□文章を読んで理解したことに基づいて，感想や考えをもつこと。⇒◎思判表C(1)オ □文章を読んで感じたことや考えたことを共有し，一人一人の感じ方などに違いがあることに気付くこと。⇒◎思判表C(1)カ</p>	<p>◎【知技】考えとそれを支える理由や事例，全体と中心など情報と情報との関係について理解している。([知識及び技能](2)ア) ◎【知技】比較や分類の仕方，必要な語句などの書き留め方，引用の仕方や出典の示し方，辞書や事典の使い方を理解し使っている。([知識及び技能](2)イ) ◎【知技】幅広く読書に親しみ，読書が，必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付いている。([知識及び技能](3)オ)</p>	<p>【思判表】「書くこと」において，自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして，書き表し方を工夫している。([思考力，判断力，表現力等]Bウ) ◎【思判表】「読むこと」において，文章を読んで理解したことに基づいて，感想や考えをもっている。([思考力，判断力，表現力等]Cオ) ◎【思判表】「読むこと」において，文章を読んで感じたことや考えたことを共有し，一人一人の感じ方などに違いがあることに気付いている。([思考力，判断力，表現力等]Cカ)</p>	<p>【態度】積極的に，文章を読んで理解したことに基づいて感想や考えをもち，学習の見通しをもって，「便利」について考えたことを文章にまとめようとしている。</p>
<p>目で見える言葉で話そう 手話であいさつをしよう</p>	<p>1</p>	<p>△漢字と仮名を用いた表記，送り仮名の付け方，改行の仕方を理解して文や文章の中で使うとともに，句読点を適切に打つこと。また，第3学年においては，日常使われている簡単な単語について，ローマ字で表記されたものを読み，ローマ字で書くこと。⇒◎知技(1)ウ</p>	<p>◎【知技】漢字と仮名を用いた表記，送り仮名の付け方，改行の仕方を理解して文や文章の中で使っているとともに，句読点を適切に打っている。([知識及び技能](1)ウ)</p>		<p>【態度】進んで句読点のはたらきを理解し，学習課題に沿って，文や文章の中で適切に使おうとしている。</p>
<p>調べてわかったことを発表しよう 「便利」をさがそう</p>	<p>8</p>	<p>◇調べてわかったことを，相手に伝えるように資料を示したり，話し方を工夫して，発表する。</p> <p>★ここが大事：資料を使って，伝えるようにくふうして発表する</p>	<p>【知識・技能】 ◎比較や分類の仕方，必要な語句などの書き留め方，引用の仕方や出典の示し方，辞書や事典の使い方を理解し使っている。((2)イ)</p>	<p>【思考・判断・表現】 ◎「話すこと・聞くこと」において，話の中心や話す場面を意識して，言葉の抑揚や強弱，間の取り方などを工夫している。(A(1)ウ)</p>	<p>【態度】 ・身のまわりの「便利」について調べ，わかったことを図などの資料を示しながら，言葉の調子や強弱，間の取り方に気をつけて発表しようとしている。</p>

<p>言葉の広場⑤ 点(、)を打つところ</p>	<p>2</p>	<p>△読点のはたらきを理解して、正しく使い分ける。</p>	<p>【知識・技能】 ◎漢字と仮名を用いた表記、送り仮名の付け方、改行の仕方を理解して文や文章の中で使うとともに、句読点を適切に打っている。(1)ウ ○主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解している。(1)</p>		<p>【態度】 ・すすんで句読点のはたらきを理解し、学習課題にそって、文や文章の中で適切に使おうとしている。</p>
<p>自分の成長をふり返って</p>	<p>9</p>	<p>△漢字と仮名を用いた表記、送り仮名の付け方、改行の仕方を理解して文や文章の中で使うとともに、句読点を適切に打つこと。また、第3学年においては、日常使われている簡単な単語について、ローマ字で表記されたものを読み、ローマ字で書くこと。⇒◎知技(1)ウ △主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解すること。⇒◎知技(1)カ ■自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫すること。⇒◎思判表B(1)ウ ■間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているか確かめたりして、文や文章を整えること。⇒◎思判表B(1)エ ■書こうとしたことが明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けること。⇒◎思判表B(1)オ</p>	<p>◎【知技】漢字と仮名を用いた表記、送り仮名の付け方、改行の仕方を理解して文や文章の中で使っているとともに、句読点を適切に打っている。([知識及び技能](1)ウ) ◎【知技】主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解している。([知識及び技能](1)カ)</p>	<p>◎【思判表】「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。([思考力、判断力、表現力等]Bウ) ◎【思判表】「書くこと」において、間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているか確かめたりして、文や文章を整えている。([思考力、判断力、表現力等]Bエ) ◎【思判表】「書くこと」において、書こうとしたことが明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けている。([思考力、判断力、表現力等]Bオ)</p>	<p>【態度】積極的に、書こうとしたことが明確になっているかなど文章に対する感想や意見を伝え合い、学習の見通しをもって、よりよい表現を選んで文章を書こうとしている。</p>
<p>雪</p>	<p>1</p>	<p>△長い間使われてきたことわざや慣用句、故事成語などの意味を知り、使うこと。⇒◎知技(3)イ ■自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫すること。⇒◎思判表B(1)ウ</p>	<p>◎【知技】長い間使われてきたことわざや慣用句、故事成語などの意味を知り、使っている。([知識及び技能](3)イ)</p>	<p>【思判表】「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。([思考力、判断力、表現力等]Bウ)</p>	<p>【態度】進んで、長い間使われてきた「雪」に関わる言葉の意味を知ろうとし、学習の見通しをもって「雪」に関する詩歌や言葉を集めようとしている。</p>

令和6年度 評価規準

学校名：江戸川区立西葛西小学校

漢字の広場 ⑥ 同じ読み方の漢字の 使い分け	2	△漢字と仮名を用いた表記，送り仮名の付け方，改行の仕方を理解して文や文章の中で使うとともに，句読点を適切に打つこと。また，第3学年においては，日常使われている簡単な単語について，ローマ字で表記されたものを読み，ローマ字で書くこと。⇒◎知技(1)ウ	◎【知技】漢字と仮名を用いた表記，送り仮名の付け方，改行の仕方を理解して文や文章の中で使っているとともに，句読点を適切に打っている。〔知識及び技能〕(1)ウ		【態度】進んで同じ読み方の漢字の使い分けを理解し，学習課題に沿って，文や文章の中で正しく使おうとしている。
漢字の広場 ⑥ 三年生で学んだ漢字 ⑥	2	△第3学年及び第4学年の各学年においては，学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読むこと。また，当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き，文や文章の中で使うとともに，当該学年に配当されている漢字を漸次書き，文や文章の中で使うこと。⇒◎知技(1)エ ■書く内容の中心を明確にし，内容のまとまりで段落をつくったり，段落相互の関係に注意したりして，文章の構成を考えること。⇒◎思判表B(1)イ	◎【知技】前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使っている。〔知識及び技能〕(1)エ	【思判表】「書くこと」において，書く内容の中心を明確にし，内容のまとまりで段落をつくったり，段落相互の関係に注意したりして，文章の構成を考えている。〔思考力，判断力，表現力等〕Bイ)	【態度】積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を使い，学習課題に沿って，お話の一場面を書こうとしている。
木竜うるし(人形げき)	8	△相手を見て話したり聞いたりするとともに，言葉の抑揚や強弱，間の取り方などに注意して話すこと。⇒◎知技(1)イ ■書く内容の中心を明確にし，内容のまとまりで段落をつくったり，段落相互の関係に注意したりして，文章の構成を考えること。⇒思判表B(1)イ □場面の移り変わりや登場人物の行動，気持ちの変化などについて，叙述を基に捉えること。⇒思判表C(1)イ □文章を読んで理解したことに基づいて，感想や考えをもつこと。⇒◎思判表C(1)オ □文章を読んで感じたことや考えたことを共有し，一人一人の感じ方などに違いがあることに気付くこと。⇒◎思判表C(1)カ	◎【知技】相手を見て話したり聞いたりしているとともに，言葉の抑揚や強弱，間の取り方などに注意して話している。〔知識及び技能〕(1)イ)	【思判表】「書くこと」において，書く内容の中心を明確にし，内容のまとまりで段落をつくったり，段落相互の関係に注意したりして，文章の構成を考えている。〔思考力，判断力，表現力等〕Bイ) ◎【思判表】「読むこと」において，文章を読んで理解したことに基づいて，感想や考えをもっている。〔思考力，判断力，表現力等〕Cオ) ◎【思判表】「読むこと」において，文章を読んで感じたことや考えたことを共有し，一人一人の感じ方などに違いがあることに気付いている。〔思考力，判断力，表現力等〕Cカ)	【態度】積極的に，文章を読んで理解したことに基づいて感想や考えをもち，学習の見通しをもって，脚本を物語のように書きかえようとしている。

<p>国語の学習 これまで これから</p>	<p>2</p>	<p>△相手を見て話したり聞いたりするとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話すこと。⇒◎知技(1)イ ◇話の中心や話す場面を意識して、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫すること。⇒◎思判表A(1)ウ ■自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫すること。⇒◎思判表B(1)ウ</p>	<p>◎【知技】相手を見て話したり聞いたりしているとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話している。([知識及び技能](1)イ)</p>	<p>◎【思判表】「話すこと・聞くこと」において、話の中心や話す場面を意識して、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫している。([思考力、判断力、表現力等]Aウ) ◎【思判表】「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。([思考力、判断力、表現力等]Bウ)</p>	<p>【態度】進んで話の中心や話す場面を意識して、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫し、今までの学習を生かして、1年間の国語の学習を振り返ったり次年への希望を話し合ったりしようとしている。</p>
----------------------------	----------	---	---	--	--

教科	国語	学年	第5学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
ひみつの言葉を引き出そう	1	<p>○言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気づくことができる。(知・技(1)ア)</p> <p>○目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、伝え合う内容を検討することができる。(思・判・表A(1)ア)</p> <p>○話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉えることができる。(思・判・表A(1)エ)</p> <p>■友達から「ひみつの言葉」を引き出せるように話す。</p>	【知・技】言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気づいている。((1)ア)	【思・判・表】 ・「話すこと・聞くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、伝え合う内容を検討している。(A(1)ア) ・「話すこと・聞くこと」において、話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉えている。(A(1)エ)	【態】進んで自分が聞こうとする意図に応じて話の内容を捉え、学習の見通しをもって友達から「ひみつの言葉」を引き出せるように話そうとしている。
かんがえるのって おもしろい	1	<p>◎詩を音読することができる。(知・技(1)ケ)</p> <p>○詩を読んでまとめた感想を共有し、自分の考えを広げることができる。(思・判・表C(1)カ)</p> <p>■音読して、想像したことを伝え合う。</p>	【知・技】詩を音読している。((1)ケ)	【思・判・表】「読むこと」において、詩を読んでまとめた感想を共有し、自分の考えを広げている。(C(1)カ)	【態】進んで詩を音読し、学習課題に沿って想像したことを伝え合おうとしている。
名前を使って、自己しょうかい 続けてみよう	1	<p>△比喩や反復などの表現の工夫に気付くこと。⇒◎知技(1)ク</p> <p>□登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えること。⇒◎思判表C(1)イ</p> <p>□人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすること。⇒◎思判表C(1)エ</p>	【知・技】 ・言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気づいている。((1)ア) ・文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開について理解している。((1)カ)	【思・判・表】 ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選んでいる。(B(1)ア) ・「書くこと」において、文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想を伝え合い、自分の文章のよいところを見つけている。(B(1)カ)	【態】積極的に文章の構成や展開について理解し、これまでの学習をいかして自分を紹介する文章を書こうとしている。
銀色の裏地	5	<p>◎比喩や反復などの表現の工夫に気づくことができる。(知・技(1)ク)</p> <p>◎登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えることができる。(思・判・表C(1)イ)</p> <p>○情報と情報との関係づけのしかた、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができる。(知・技(2)イ)</p> <p>■印象に残ったことを伝え合う。 ☆友情、信頼や相互理解に関わる題材(道徳)</p>	【知・技】 ・比喩や反復などの表現の工夫に気づいている。((1)ク) ・情報と情報との関係づけのしかた、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使っている。((2)イ)	【思・判・表】「読むこと」において、登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えている。(C(1)イ)	【態】粘り強く登場人物の相互関係や心情を捉え、学習の見通しをもって印象に残ったことを伝え合おうとしている。

令和年6度 評価規準

学校名:江戸川区立西葛西小学校

図書館を使いこなそう	1	◎日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに関与することに気づくことができる。(知・技(3)オ) ■本を探して、記録カードを書く。 ☆図書館で本を探す活動(図書館活用)	【知・技】日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに関与することに気づいている。((3)オ)		【態】進んで読書が自分の考えを広げることに関与することに気づき、これまでの学習をいかして本を探して、記録カードを書こうとしている。
漢字の成り立ち	2	◎漢字の由来、特質などについて理解することができる。(知・技(3)ウ)	【知・技】漢字の由来、特質などについて理解している。((3)ウ)		【態】進んで漢字の由来、特質などに関心を持ち、学習課題に沿ってそれらを理解しようとしている。
春の空	1	◎親しみやすい古文を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しむことができる。(知・技(3)ア) ○語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うことができる。(知・技(1)オ) ○目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選ぶことができる。(思・判・表B(1)ア) ■春らしいものや様子を文章に書く。 ☆我が国の伝統と文化を尊重する態度を養う題材(道徳)	【知・技】 ・語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。((1)オ) ・親しみやすい古文を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しんでいる。((3)ア)	【思・判・表】「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選んでいる。(B(1)ア)	【態】積極的に言葉の響きやリズムに親しみ、学習課題に沿って春らしいものや様子を文章に書こうとしている。
きいて、きいて、きいてみよう	6	◎情報と情報との関係づけのしかた、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができる。(知・技(2)イ) ◎話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることができる。(思・判・表A(1)エ) ○話し言葉と書き言葉との違いに気づくことができる。(知・技(1)イ) ○目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係づけたりして、伝え合う内容を検討することができる。(思・判・表A(1)ア) ■インタビューをし、報告する。 ☆インタビューを行い、報告する活動(社会、総合的な学習の時間) ☆インタビューの録音・録画(ICT活用)	【知・技】 ・話し言葉と書き言葉との違いに気づいている。((1)イ) ・情報と情報との関係づけのしかた、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使っている。((2)イ)	【思・判・表】 ・「話すこと・聞くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係づけたりして、伝え合う内容を検討している。(A(1)ア) ・「話すこと・聞くこと」において、話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめている。(A(1)エ)	【態】粘り強く話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて話の内容を捉え、学習の見通しをもってインタビューをしたり、報告したりしようとしている。

令和年6度 評価規準

学校名：江戸川区立西葛西小学校

<p>見立てる 言葉の意味が分かること 【情報】原因と結果</p>	<p>6</p>	<p>◎原因と結果など情報と情報との関係について理解することができる。(知・技(2)ア) ◎事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握することができる。(思・判・表C(1)ア) ○文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解することができる。(知・技(1)カ) ○文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができる。(思・判・表C(1)オ) ■考えたことを伝え合う。 ☆外国語や異文化への興味をもち、理解する態度を養う題材(外国語、道徳、総合的な学習の時間)</p>	<p>【知・技】 ・文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解している。((1)カ) ・原因と結果など情報と情報との関係について理解している。((2)ア)</p>	<p>【思・判・表】 ・「読むこと」において、事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握している。(C(1)ア) ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。(C(1)オ)</p>	<p>【態】粘り強く文章全体の構成を捉えて要旨を把握し、学習課題に沿って考えたことを伝え合おうとしている。</p>
<p>敬語</p>	<p>2</p>	<p>◎日常よく使われる敬語を理解し使い慣れることができる。(知・技(1)キ) ○言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気づくことができる。(知・技(1)ア) ☆礼儀や言葉遣いが、円滑な人とのつながりをつくることについて考える題材(道徳)</p>	<p>【知・技】 ・言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気づいている。((1)ア) ・日常よく使われる敬語を理解し使い慣れている。((1)キ)</p>		<p>【態】進んで日常よく使われる敬語について理解し、学習課題に沿って使い慣れようとしている。</p>
<p>日常を十七音で</p>	<p>3</p>	<p>◎比喩や反復などの表現の工夫に気づくことができる。(知・技(1)ク) ◎俳句の構成や書き表し方などに着目して、俳句を整えることができる。(思・判・表B(1)オ) ○俳句の中で漢字と仮名を適切に使い分けることができる。(知・技(1)ウ) ○目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。(思・判・表B(1)ウ) ■俳句を作る。</p>	<p>【知・技】 ・俳句の中で漢字と仮名を適切に使い分けている。((1)ウ) ・比喩や反復などの表現の工夫に気づいている。((1)ク)</p>	<p>【思・判・表】 ・「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。(B(1)ウ) ・「書くこと」において、俳句の構成や書き表し方などに着目して、俳句を整えている。(B(1)オ)</p>	<p>【態】粘り強く構成や書き表し方などに着目して文言を整え、学習の見通しをもって俳句を作ろうとしている。</p>
<p>漢字の広場①</p>	<p>1</p>	<p>◎第4学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)エ) ・文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えることができる。(思・判・表B(1)オ) ■示された言葉を使って、絵を基にして文を書く。</p>	<p>【知・技】第4学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。((1)エ)</p>	<p>【思・判・表】「書くこと」において、文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えている。(B(1)オ)</p>	<p>【態】進んで第4学年までに配当されている漢字を書き、これまでの学習をいかして文を書こうとしている。</p>

令和年6度 評価規準

学校名:江戸川区立西葛西小学校

<p>古典の世界(一)</p>	<p>1</p>	<p>◎親しみやすい古文を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しむことができる。(知・技(3)ア) ○古典について解説した文章を読んだり作品の内容の大体を知ったりすることを通して、昔の人のものの見方や感じ方を知ることができる。(知・技(3)イ) ■古文を音読する。 ☆我が国の伝統と文化を尊重する態度を養う題材(道徳)</p>	<p>【知・技】 ・親しみやすい古文を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しんでいる。((3)ア) ・古典について解説した文章を読んだり作品の内容の大体を知ったりすることを通して、昔の人のものの見方や感じ方を知っている。((3)イ)</p>		<p>【態】進んで言葉の響きやリズムに親しみ、学習課題に沿って古文を音読しようとしている。</p>
<p>【情報】目的に応じて引用するとき</p>	<p>2</p>	<p>◎引用して、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。(思・判・表B(1)エ) ○情報と情報との関係づけのしかたを理解し使うことができる。(知・技(2)イ) ■引用カードを書く。 ☆レポート等を作成する際に、目的に応じて適切な引用を行う活動(理科、社会、総合的な学習の時間)</p>	<p>【知・技】情報と情報との関係づけのしかたを理解し使っている。((2)イ)</p>	<p>【思・判・表】「書くこと」において、引用して、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。(B(1)エ)</p>	<p>【態】進んで目的に応じた引用のしかたを理解し、学習課題に沿って引用カードを書こうとしている。</p>
<p>みんなが使いやすいデザイン</p>	<p>8</p>	<p>◎目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係づけたりして、伝えたいことを明確にすることができる。(思・判・表B(1)ア) ○情報と情報との関係づけのしかたを理解し使うことができる。(知・技(2)イ) ■報告する文章を書く。 ☆よりよい社会や学校生活をつくろうと考える題材(道徳、総合的な学習の時間) ☆調べたことを報告する文章の書き方を工夫する活動(理科、社会、総合的な学習の時間) ☆インターネットによる情報収集(ICT活用)</p>	<p>【知・技】情報と情報との関係づけのしかたを理解し使っている。((2)イ)</p>	<p>【思・判・表】「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係づけたりして、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア)</p>	<p>【態】粘り強く目的や意図に応じて集めた材料を分類したり関係づけたりし、学習の見通しをもって報告する文章を書こうとしている。</p>
<p>同じ読み方の漢字</p>	<p>2</p>	<p>◎第5学年までに配当されている漢字を読むとともに、漸次書き、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)エ)</p>	<p>【知・技】第5学年までに配当されている漢字を読むとともに、漸次書き、文や文章の中で使っている。((1)エ)</p>		<p>【態】進んで同じ読み方の漢字の使い分けに関心をもち、これまでの学習をいかしてそれらを理解しようとしている。</p>
<p>夏の夜</p>	<p>1</p>	<p>◎親しみやすい古文を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しむことができる。(知・技(3)ア) ○語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うことができる。(知・技(1)オ) ○目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選ぶことができる。(思・判・表B(1)ア) ■夏らしいものや様子を文章に書く。 ☆我が国の伝統と文化を尊重する態度を養う題材(道徳)</p>	<p>【知・技】 ・語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。((1)オ) ・親しみやすい古文を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しんでいる。((3)ア)</p>	<p>【思・判・表】「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選んでしている。(B(1)ア)</p>	<p>【態】積極的に言葉の響きやリズムに親しみ、学習課題に沿って夏らしいものや様子を文章に書こうとしている。</p>

令和年6度 評価規準

学校名：江戸川区立西葛西小学校

<p>作家で広げるわたしたちの読書</p>	<p>5</p>	<p>◎日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに関与することに気づくことができる。(知・技(3)才) ○文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げることができる。(思・判・表C(1)力) ■本の魅力を伝え合う。 ☆作家を意識して選んだ本を読む活動(図書館活用)</p>	<p>【知・技】日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに関与することに気づいている。((3)才)</p>	<p>【思・判・表】「読むこと」において、文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている。(C(1)力)</p>	<p>【態】積極的に読書に親しみ、学習の見直しをもって本の魅力を伝え合おうとしている。</p>
<p>かぼちゃのつるがわれは草なり</p>	<p>2</p>	<p>◎比喩や反復などの表現の工夫に気づくことができる。(知・技(1)ク) ○詩の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることができる。(思・判・表C(1)エ) ■考えたことを伝え合う。</p>	<p>【知・技】比喩や反復などの表現の工夫に気づいている。((1)ク)</p>	<p>【思・判・表】「読むこと」において、詩の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしている。(C(1)エ)</p>	<p>【態】進んで比喩や反復などの表現の工夫に気づき、学習課題に沿って考えたことを伝え合おうとしている。</p>
<p>どちらを選びますか</p>	<p>2</p>	<p>◎思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うことができる。(知・技(1)才) ◎互いの立場や意図を明確にしながらか計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりすることができる。(思・判・表A(1)才) ■立場に分かれて話し合う。 ☆適切な資料を用意し、相手が納得する説明をする活動(特別活動)</p>	<p>【知・技】思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使っている。((1)才)</p>	<p>【思・判・表】「話すこと・聞くこと」において、互いの立場や意図を明確にしながらか計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりしている。(A(1)才)</p>	<p>【態】積極的に互いの立場を明確にして、これまでの学習をいかして立場に分かれて話し合おうとしている。</p>
<p>新聞を読もう</p>	<p>2</p>	<p>◎目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見つけたり、論の進め方について考えたりすることができる。(思・判・表C(1)ウ) ○文章の構成や、文章の種類とその特徴について理解することができる。(知・技(1)カ) ○事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握することができる。(思・判・表C(1)ア) ■新聞記事を読む。 ☆新聞記事等による情報収集(社会、総合的な学習の時間)</p>	<p>【知・技】文章の構成や、文章の種類とその特徴について理解している。((1)カ)</p>	<p>【思・判・表】 ・「読むこと」において、事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握している。(C(1)ア) ・「読むこと」において、目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見つけたり、論の進め方について考えたりしている。(C(1)ウ)</p>	<p>【態】進んで必要な情報を見つけたり、論の進め方について考えたりし、学習課題に沿って新聞記事を読もうとしている。</p>
<p>文章に説得力をもたせるには</p>	<p>2</p>	<p>◎筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えることができる。(思・判・表B(1)イ) ○文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解することができる。(知・技(1)カ) ■考えたことを伝え合う。</p>	<p>【知・技】文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解している。((1)カ)</p>	<p>【思・判・表】「書くこと」において、筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えている。(B(1)イ)</p>	<p>【態】積極的に筋道の通った文章となるように文章全体の構成や展開を考え、学習の見直しをもって考えたことを伝え合おうとしている。</p>

令和年6度 評価規準

学校名：江戸川区立西葛西小学校

漢字の広場②	1	<p>◎第4学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)エ) ・文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えることができる。(思・判・表B(1)オ) ■示された言葉を使って、絵を基にして文を書く。</p>	【知・技】第4学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。((1)エ)	【思・判・表】「書くこと」において、文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えている。(B(1)オ)	【態】進んで第4学年までに配当されている漢字を書き、これまでの学習をいかして文を書こうとしている。
たずねびと	6	<p>◎人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることができる。(思・判・表C(1)エ) ○比喩や反復などの表現の工夫に気づくことができる。(知・技(1)ク) ■考えたことを伝え合う。 ☆戦争や平和について考えさせるとともに、平和を願う心を養う題材(道徳) ☆紹介された本を選んで読む活動(図書館活用)</p>	【知・技】比喩や反復などの表現の工夫に気づいている。(知・技(1)ク)	【思・判・表】「読むこと」において、人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしている。(C(1)エ)	【態】粘り強く物語の全体像を具体的に想像し、学習の見通しをもって考えたことを伝え合おうとしている。
漢字の広場③	1	<p>◎第4学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)エ) ・文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えることができる。(思・判・表B(1)オ) ■示された言葉を使って、絵を基にして文を書く。</p>	【知・技】第4学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。((1)エ)	【思・判・表】「書くこと」において、文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えている。(B(1)オ)	【態】進んで第4学年までに配当されている漢字を書き、これまでの学習をいかして文を書こうとしている。
方言と共通語	2	◎共通語と方言との違いを理解することができる。(知・技(3)ウ)	【知・技】共通語と方言との違いを理解している。((3)ウ)		【態】進んで方言と共通語の違いに関心をもち、学習課題に沿ってそれらを理解しようとしている。
秋の夕	1	<p>◎親しみやすい古文を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しむことができる。(知・技(3)ア) ○語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うことができる。(知・技(1)オ) ○目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選ぶことができる。(思・判・表B(1)ア) ■秋らしいものや様子を文章に書く。 ☆我が国の伝統と文化を尊重する態度を養う題材(道徳)</p>	【知・技】 ・語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。((1)オ) ・親しみやすい古文を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しんでいる。((3)ア)	【思・判・表】「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選んでいく。(B(1)ア)	【態】積極的に言葉の響きやリズムに親しみ、学習課題に沿って秋らしいものや様子を文章に書こうとしている。

令和年6度 評価規準

学校名:江戸川区立西葛西小学校

<p>よりよい学校生活のために 【コラム】意見が対立したときには</p>	<p>6</p>	<p>◎情報と情報との関係づけのしかた、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができる。(知・技(2)イ) ◎目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係づけたりして、伝え合う内容を検討することができる。(思・判・表A(1)ア) ◎互いの立場や意図を明確にしながらか計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりすることができる。(思・判・表A(1)オ) ○思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うことができる。(知・技(1)オ) ■身の回りの問題について、それぞれの立場から考えを伝えて話し合う。 ☆身近な問題に気づき、仲間と共に解決を図る学習(特別活動、社会、総合的な学習の時間) ☆ICT端末の機能を使って、出てきた考えを整理する活動(ICT活用)</p>	<p>【知・技】 ・思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使っている。((1)オ) ・情報と情報との関係づけのしかた、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使っている。((2)イ)</p>	<p>【思・判・表】 ・「話すこと・聞くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係づけたりして、伝え合う内容を検討している。(A(1)ア) ・「話すこと・聞くこと」において、互いの立場や意図を明確にしながらか計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりしている。(A(1)オ)</p>	<p>【態】粘り強く互いの立場や意図を明確にしながらか、学習の見通しをもって身の回りの問題を解決するために話し合おうとしている。</p>
<p>浦島太郎——「御伽草子」より</p>	<p>1</p>	<p>◎古典について解説した文章を読んだり作品の内容の大体を知ったりすることを通して、昔の人のものの見方や感じ方を知ることができる。(知・技(3)イ) ○親しみやすい古文の文章を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しむことができる。(知・技(3)ア) ○時間の経過による言葉の変化に気づくことができる。(知・技(3)ウ) ■古典の文章を読み、知っている話と比べて思ったことを話す。 ☆二次元コードから朗読を視聴(ICT活用)</p>	<p>【知・技】 ・親しみやすい古文の文章を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しんでいる。((3)ア) ・古典について解説した文章を読んだり作品の内容の大体を知ったりすることを通して、昔の人のものの見方や感じ方を知っている。((3)イ) ・時間の経過による言葉の変化に気づいている。((3)ウ)</p>		<p>【態】進んで昔の人のものの見方や感じ方を知り、学習課題に沿って古典の文章について思ったことを話そうとしている。</p>
<p>和語・漢語・外来語</p>	<p>2</p>	<p>◎語句の由来などに関心をもつとともに、世代による言葉の違いに気づくことができる。(知・技(3)ウ) ○語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うことができる。(知・技(1)オ)</p>	<p>【知・技】 ・語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。((1)オ) ・語句の由来などに関心をもつとともに、世代による言葉の違いに気づいている。((3)ウ)</p>		<p>【態】進んで和語・漢語・外来語などの由来に関心をもち、学習課題に沿ってそれらを理解しようとしている。</p>

令和年6度 評価規準

学校名: 江戸川区立西葛西小学校

<p>固有種が教えてくれること 自然環境を守るために 【コラム】統計資料の読み方</p>	<p>9</p>	<p>◎原因と結果など情報と情報との関係について理解することができる。(知・技(2)ア) ◎引用したり、図表やグラフを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。(思・判・表B(1)エ) ◎目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見つけたり、論の進め方について考えたりすることができる。(思・判・表C(1)ウ) ○日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに役立つことに気づくことができる。(知・技(3)オ) ○事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握することができる。(思・判・表C(1)ア) ■身の回りの問題について、それぞれの立場から考えを伝えて話し合う。 ☆身近な問題に気づき、仲間と共に解決を図る学習(特別活動、社会、総合的な学習の時間) ☆ICT端末の機能を使って、出てきた考えを整理する活動(ICT活用)</p>	<p>【知・技】 ・思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使っている。((1)オ) ・情報と情報との関係づけのしかた、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使っている。((2)イ)</p>	<p>【思・判・表】 ・「話すこと・聞くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係づけたりして、伝え合う内容を検討している。(A(1)ア) ・「話すこと・聞くこと」において、互いの立場や意図を明確にしながらか計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりしている。(A(1)オ)</p>	<p>【態】粘り強く互いの立場や意図を明確にしながらか、学習の見通しをもって身の回りの問題を解決するために話し合おうとしている。</p>
<p>カンジー博士の暗号解読</p>	<p>2</p>	<p>◎第5学年までに配当されている漢字を読むとともに、漸次書き、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)エ)</p>	<p>【知・技】第5学年までに配当されている漢字を読むとともに、漸次書き、文や文章の中で使っている。((1)エ)</p>		<p>【態】進んで漢字の読み方に関心をもち、これまでの学習をいかして漸次書こうとしている。</p>
<p>古典の世界(二)</p>	<p>1</p>	<p>◎親しみやすい漢文を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しむことができる。(知・技(3)ア) ○作品の内容の大体を知ることを通して、昔の人のもの見方や感じ方を知ることができる。(知・技(3)イ) ■漢文を音読する。 ☆国語に対する関心と、我が国の文化と伝統に対する理解と愛情を養う題材(道徳)</p>	<p>【知・技】 ・親しみやすい漢文を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しんでいる。((3)ア) ・作品の内容の大体を知ることを通して、昔の人のもの見方や感じ方を知っている。((3)イ)</p>		<p>【態】進んで言葉の響きやリズムに親しみ、学習課題に沿って漢文を音読しようとしている。</p>
<p>漢字の広場④</p>	<p>1</p>	<p>◎第4学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)エ) ・文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えることができる。(思・判・表B(1)オ) ■示された言葉を使って、それぞれの県についての文を書く。</p>	<p>【知・技】第4学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。((1)エ)</p>	<p>【思・判・表】「書くこと」において、文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えている。(B(1)オ)</p>	<p>【態】進んで第4学年までに配当されている漢字を書き、これまでの学習をいかして文を書こうとしている。</p>

令和年6度 評価規準

学校名: 江戸川区立西葛西小学校

<p>やなせたかし——アンパンマンの勇氣</p>	<p>5</p>	<p>◎日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに関与することに気づくことができる。(知・技(3)オ) ◎文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができる。(思・判・表C(1)オ) ○登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えることができる。(思・判・表C(1)イ) ■伝記を読み、自分の生き方について考えたことを交流する。 ☆自分の郷土に目を向けさせる題材(総合的な学習の時間) ☆伝記の選書(図書館活用)</p>	<p>【知・技】日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに関与することに気づいている。((3)オ)</p>	<p>【思・判・表】 ・「読むこと」において、登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えている。(C(1)イ) ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。(C(1)オ)</p>	<p>【態】積極的に文章を読んで理解したことに基づいて自分の考えをまとめ、学習課題に沿って考えたことを交流しようとしている。</p>
<p>あなたは、どう考える</p>	<p>6</p>	<p>◎語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うことができる。(知・技(1)オ) ◎文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見つけることができる。(思・判・表B(1)カ) ○文章の構成や展開、文章の種類とその特徴について理解することができる。(知・技(1)カ) ○目的や意図に応じて、事実と感想、意見とを区別して書くことで、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。(思・判・表B(1)ウ) ■意見文を書く。 ☆自分の関心のあることから題材を決め、詳しく知りたいと思うことを調べる活動(社会、総合的な学習の時間) ☆意見や理由とその根拠を説明する活動(社会、総合的な学習の時間) ☆ICT端末に文章構成の表を用意し、付箋機能を使い、文章の構成を考える活動(ICT活用)</p>	<p>【知・技】 ・語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。((1)オ) ・文章の構成や展開、文章の種類とその特徴について理解している。((1)カ)</p>	<p>【思・判・表】 ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、事実と感想、意見とを区別して書くことで、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。(B(1)ウ) ・「書くこと」において、文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見つけている。(B(1)カ)</p>	<p>【態】積極的に文章に対する感想や意見を伝え合い、学習の見通しをもって意見文を書こうとしている。</p>
<p>冬の朝</p>	<p>1</p>	<p>◎親しみやすい古文を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しむことができる。(知・技(3)ア) ○語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うことができる。(知・技(1)オ) ○目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選ぶことができる。(思・判・表B(1)ア) ■冬らしいものや様子を文章に書く。 ☆我が国の伝統と文化を尊重する態度を養う題材(道徳)</p>	<p>【知・技】 ・語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。((1)オ) ・親しみやすい古文を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しんでいる。((3)ア)</p>	<p>【思・判・表】「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選んでいく。(B(1)ア)</p>	<p>【態】積極的に言葉の響きやリズムに親しみ、学習の課題に沿って冬らしいものや様子を文章に書くようとしている。</p>

令和年6度 評価規準

学校名：江戸川区立西葛西小学校

好きな詩のよさを伝えよう	2	<p>○比喩や反復などの表現の工夫に気づくことができる。(知・技(1)ク)</p> <p>○目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選ぶことができる。(思・判・表B(1)ア)</p> <p>○文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げることができる。(思・判・表C(1)カ)</p> <p>■詩を紹介する文章を書く。</p> <p>☆詩集を読む活動(図書館利用)</p>	【知・技】比喩や反復などの表現の工夫に気づいている。((1)ク)	<p>【思・判・表】</p> <p>・「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選んでいる。(B(1)ア)</p> <p>・「読むこと」において、文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている。(C(1)カ)</p>	【態】積極的に詩を読んでまとめた感想を共有し、学習課題に沿って詩を紹介しようとしている。
言葉でスケッチ	2	<p>◎目的や意図に応じて事実と感想とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。(思・判・表B(1)ウ)</p> <p>○比喩や反復などの表現の工夫に気づくことができる。(知・技(1)ク)</p> <p>■情景が伝わるように書く。</p>	【知・技】比喩や反復などの表現の工夫に気づいている。((1)ク)	【思・判・表】「書くこと」において、目的や意図に応じて事実と感想とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。(B(1)ウ)	【態】粘り強く自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫し、学習課題に沿って情景が伝わるように書こうとしている。
熟語の読み方	2	◎第5学年までに配当されている漢字を読むことができる。(知・技(1)エ)	【知・技】第5学年までに配当されている漢字を読んでいる。((1)エ)		【態】進んで熟語の読み方に関心を持ち、学習課題に沿ってそれらを理解しようとしている。
漢字の広場⑤	1	<p>◎第4学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)エ)</p> <p>・文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えることができる。(思・判・表B(1)オ)</p> <p>■示された言葉やつなぎ言葉を使って、道順を案内する文を書く。</p>	【知・技】第4学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。((1)エ)	【思・判・表】「書くこと」において、文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えている。(B(1)オ)	【態】進んで第4学年までに配当されている漢字を書き、これまでの学習をいかして文を書こうとしている。
想像力のスイッチを入れよう	6	<p>◎文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができる。(思・判・表C(1)オ)</p> <p>○文章の構成や展開、文章の種類とその特徴について理解することができる。(知・技(1)カ)</p> <p>○文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げることができる。(思・判・表C(1)カ)</p> <p>■メディアとの関わり方について考えを伝え合う。</p> <p>☆メディアとの関わり方について理解し、考えをもつ題材(総合的な学習の時間、日常生活)</p>	【知・技】文章の構成や展開、文章の種類とその特徴について理解している。((1)カ)	<p>【思・判・表】</p> <p>・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。(C(1)オ)</p> <p>・「読むこと」において、文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている。(C(1)カ)</p>	【態】積極的に文章を読んで理解したことに基づいて自分の考えをまとめ、学習の見直しをもってメディアとの関わり方について話し合おうとしている。
複合語	2	◎語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)オ)	【知・技】語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにしている。((1)オ)		【態】進んで複合語の構成や変化について関心を持ち、学習課題に沿ってそれらを理解しようとしている。

令和年6度 評価規準

学校名: 江戸川区立西葛西小学校

<p>言葉を使い分けよう</p>	<p>3</p>	<p>○言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気づくことができる。(知・技(1)ア) ○語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うことができる。(知・技(1)オ) ○目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。(思・判・表B(1)ウ) ■手紙を書く。</p>	<p>【知・技】 ・言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気づいている。((1)ア) ・語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。((1)オ)</p>	<p>【思・判・表】「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。(B(1)ウ)</p>	<p>【態】積極的に語感や言葉の使い方に対する感覚を意識し、学習課題に沿って手紙を書こうとしている。</p>
<p>もう一つの物語</p>	<p>6</p>	<p>◎話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解することができる。(知・技(1)カ) ◎筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えることができる。(思・判・表B(1)イ) ■別の物語に書き換える。</p>	<p>【知・技】話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解している。((1)カ)</p>	<p>【思・判・表】「書くこと」において、筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えている。(B(1)イ)</p>	<p>【態】粘り強く文章全体の構成や展開を考え、学習の見通しをもって物語を書こうとしている。</p>
<p>「子ども未来科」で何をする</p>	<p>6</p>	<p>◎話し言葉と書き言葉との違いに気づくことができる。(知・技(1)イ) ◎話の内容が明確になるように、事実と感想、意見とを区別するなど、話の構成を考えることができる。(思・判・表A(1)イ) ○文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解することができる。(知・技(1)カ) ○資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫することができる。(思・判・表A(1)ウ) ■提案するスピーチを行う。 ☆自分の関心のあることから題材を決め、詳しく知りたいと思うことを調べる活動(社会、総合的な学習の時間) ☆意見や理由と根拠を説明する活動(社会、総合的な学習の時間) ☆練習時のスピーチの録音・録画(ICT活用)</p>	<p>【知・技】 ・話し言葉と書き言葉との違いに気づいている。((1)イ) ・文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解している。((1)カ)</p>	<p>【思・判・表】 ・「話すこと・聞くこと」において、話の内容が明確になるように、事実と感想、意見とを区別するなど、話の構成を考えている。(A(1)イ) ・「話すこと・聞くこと」において、資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫している。(A(1)ウ)</p>	<p>【態】粘り強く話の構成を考え、学習の見通しをもって提案するスピーチをしようとしている。</p>
<p>大造じいさんとガン</p>	<p>6</p>	<p>◎文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げることができる。(思・判・表C(1)カ) ○比喩や反復などの表現の工夫に気づくことができる。(知・技(1)ク) ○文章を音読したり朗読したりすることができる。(知・技(1)ケ) ○人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることができる。(思・判・表C(1)エ) ■物語の魅力を伝える文章を書く。 ■物語の魅力が表れているところを朗読する。</p>	<p>【知・技】 ・比喩や反復などの表現の工夫に気づいている。((1)ク) ・文章を音読したり朗読したりしている。((1)ケ)</p>	<p>【思・判・表】 ・「読むこと」において、人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしている。(C(1)エ) ・「読むこと」において、文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている。(C(1)カ)</p>	<p>【態】積極的に意見や感想を共有し、学習の見通しをもって物語の魅力や魅力を伝え合おうとしている。</p>

令和年6度 評価規準

学校名:江戸川区立西葛西小学校

漢字の広場⑥	1	<p>◎第4学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)エ) ・文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えることができる。(思・判・表B(1)オ) ■示された言葉を使って、出来事を報道する文を書く。</p>	<p>【知・技】第4学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。(1)エ)</p>	<p>【思・判・表】「書くこと」において、文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えている。(B(1)オ)</p>	<p>【態】進んで第4学年までに配当されている漢字を書き、これまでの学習をいかして文を書こうとしている。</p>
五年生をふり返って	1	<p>○言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気づくことができる。(知・技(1)ア) ○目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選ぶことができる。(思・判・表B(1)ア) ■1年間の国語科での学びを振り返って、書く。</p>	<p>【知・技】言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気づいている。(1)ア)</p>	<p>【思・判・表】「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選んでいる。(B(1)ア)</p>	<p>【態】進んで考えたことなどから書くことを選び、学習課題に沿って1年間の振り返りを書こうとしている。</p>

教科	国語	学年	第6学年
----	----	----	------

◎重点指導事項 △知識・技能 ◇話すこと・聞くこと ■書くこと □読むこと

A話すこと・聞くこと B書くこと C読むこと

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
自分との対話	2	△言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気付くこと。⇒◎知技(1)ア ◇目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討すること。⇒◎思判表A(1)ア	◎【知技】言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気付いている。〔知識及び技能〕(1)ア)	◎【思判表】「話すこと・聞くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討している。〔思考力、判断力、表現力等〕Aア)	【態度】積極的に自分のことを客観的に捉え、今までの学習を生かして質問について考えようとしている。
風景 純銀もざいく	1	△思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うこと。⇒◎知技(1)オ □人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすること。⇒◎思判表C(1)エ	◎【知技】思考に関わる語句の量を増し、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにしている。〔知識及び技能〕(1)オ) ◎【知技】文章を音読したり朗読したりしている。〔知識及び技能〕(1)ケ)	◎【思判表】人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすること。⇒◎思判表C(1)エ	【態度】進んで言葉の意味を考え、繰り返しの響きや意味に気をつけて音読しようとしている。
あの坂をのぼれば	2	△文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解すること。⇒◎知技(1)カ □人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすること。⇒◎思判表C(1)エ	◎【知技】文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解している。〔知識及び技能〕(1)カ)	◎【思判表】「読むこと」において、人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしている。〔思考力、判断力、表現力等〕Cエ)	【態度】進んで言葉の意味を考え、学習の見通しをもって音読しようとしている。
考えを図や表に	3	△情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うこと。⇒◎知技(2)イ ■目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にすること。⇒◎思判表B(1)ア	◎【知技】情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使っている。〔知識及び技能〕(2)イ)	◎【思判表】「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にしている。〔思考力、判断力、表現力等〕Bア)	【態度】粘り強く伝えたいことを明確にしようとし、学習の見通しをもって考えや意見を図に書いてまとめようとしている。

令和6年度 評価規準

学校名: 江戸川区立西葛西小学校

<p>言葉の文化① 春はあけぼの</p>	<p>4</p>	<p>△親しみやすい古文や漢文、近代以降の文語調の文章を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しむこと。⇒◎知技(3)ア ■目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にすること。⇒◎思判表B(1)ア □文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げること。⇒◎思判表C(1)カ</p>	<p>◎【知技】親しみやすい古文や漢文、近代以降の文語調の文章を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しんでいる。([知識及び技能](3)ア)</p>	<p>◎【思判表】「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にしている。([思考力、判断力、表現力等]Bア) ◎【思判表】「読むこと」において、文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている。([思考力、判断力、表現力等]Cカ)</p>	<p>【態度】進んで語感や言葉の使い方に対する感覚を意識し、学習の見通しをもって『枕草子』ふうの文章を書こうとしている。</p>
<p>主語と述語の対応をみる</p>	<p>2</p>	<p>△文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解すること。⇒◎知技(1)カ</p>	<p>◎【知技】文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解している。([知識及び技能](1)カ)</p>		<p>【態度】積極的に主語と述語の対応について理解し、今までの学習を生かして、文のねじれに気づき、正しく直そうとしている。</p>
<p>漢字の広場 ① 三字以上の熟語の構成</p>	<p>1</p>	<p>△思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うこと。⇒◎知技(1)オ</p>	<p>◎【知技】思考に関わる語句の量を増し、文章の中で使っているとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにしている。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。([知識及び技能](1)オ)</p>		<p>【態度】積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使い、学習の見通しをもって熟語の由来に関心をもち調べようとしている。</p>
<p>五年生で学んだ漢字 ①</p>	<p>1</p>	<p>△第5学年及び第6学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読むこと。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使うこと。⇒◎知技(1)エ ■筋道の通った文章となるように、文章全体</p>	<p>◎【知技】前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使っている。([知識及び技能](1)エ)</p>	<p>◎【思判表】「書くこと」において、筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えている。([思考力、判断力、表現力等]Bイ)</p>	<p>【態度】積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を使い、学習課題に沿って、教科書の絵を説明する文を書こうとしている。</p>
<p>アイスは暑いほどおいしい? ——グラフの読み取り</p>	<p>2</p>	<p>□グラフについての説明を生かしてグラフを読み取り、全体の傾向や変化について説明する。</p>	<p>【知識・技能】 ◎情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使っている。((2)イ)</p>	<p>【思考・判断・表現】 ◎「読むこと」において、事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握している。(C(1)ア)</p>	<p>【態度】 ・すすんでグラフの意味や構成要素を理解しようとし、これまでの経験を生かし、どのような傾向や変化が読み取れるか、考えようとしている。</p>

<p>雪は新しいエネルギー</p>	<p>6</p>	<p>△情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うこと。⇒◎知技(2)イ ■目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。⇒◎思判表B(1)ウ □事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握すること。⇒◎思判表C(1)ア □目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりすること。⇒◎思判表</p>	<p>◎【知技】情報と情報との関係付けの仕方、語句と語句との関係の表し方を理解し使っている。〔知識及び技能〕(2)イ)</p>	<p>◎【思判表】「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりしているとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりしているなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。〔思考力、判断力、表現力等〕Bウ) ◎【思判表】「読むこと」において、事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握している。〔思考力、判断力、表現力等〕Cア) ◎【思判表】「読むこと」において、目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりしている。〔思考力、判断力、表現力等〕Cウ)</p>	<p>【態度】積極的に雪エネルギーの利用に対する筆者の主張と取り上げた事例の関係、残された課題などを検討し、今までの学習を生かして、筆者の説明の仕方や雪エネルギーの利用について考えをまとめようとしている。</p>
<p>立場を明確にして主張しよう パネルディスカッション—— 地域の防災</p>	<p>6</p>	<p>△思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うこと。⇒◎知技(1)オ ◇互いの立場や意図を明確にしながらか計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりするこ</p>	<p>◎【知技】思考に関わる語句の量を増し、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにしている。〔知識及び技能〕(1)オ)</p>	<p>◎【思判表】「話すこと・聞くこと」において、互いの立場や意図を明確にしながらか計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりしている。〔思考力、判断力、表現力等〕Aオ)</p>	<p>【態度】粘り強く意見の違いを大事にしながらか話し合い、学習の見通しをもって考えを深めようとしている。</p>
<p>立場を明確にして主張しよう みんなで作ろうパンフレット</p>	<p>4</p>	<p>△情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うこと。⇒◎知技(2)イ ■筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えること。⇒◎思判表B(1)イ ■目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。⇒◎思判表B(1)ウ ■引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。⇒◎思判表B(1)エ ■文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えること。⇒◎思判表B(1)オ</p>	<p>◎【知技】情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使っている。〔知識及び技能〕(2)イ)</p>	<p>◎【思判表】「書くこと」において、筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えている。〔思考力、判断力、表現力等〕Bイ) ◎【思判表】「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりしているとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりしているなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。〔思考力、判断力、表現力等〕Bウ) ◎【思判表】「書くこと」において、引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。〔思考力、判断力、表現力等〕Bエ) ◎【思判表】「書くこと」において、文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えている。〔思考力、判断力、表現力等〕Bオ)</p>	<p>【態度】積極的に相手や目的に応じて内容や構成を考え、学習課題に沿ってパンフレットを作ろうとしている。</p>

令和6年度 評価規準

学校名: 江戸川区立西葛西小学校

<p>言葉の文化② 雨</p>	<p>1</p>	<p>△語句の由来などに関心をもつとともに、時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気づき、共通語と方言との違いを理解すること。また、仮名及び漢字の由来、特質などについて理解すること。⇒◎知技(3)ウ ■目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にすること。⇒思判表B(1)ア</p>	<p>◎【知技】語句の由来などに関心をもっているとともに、時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気づき、共通語と方言との違いを理解している。また、仮名及び漢字の由来、特質などについて理解している。([知識及び技能](3)ウ)</p>	<p>【思判表】「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にしている。([思考力、判断力、表現力等]Bア)</p>	<p>【態度】粘り強く「雨」を扱った言語表現を集め、学習の見通しをもって「言葉ノート」を作ろうとしている。</p>
<p>言葉の広場② 世代による言葉のちがひ</p>	<p>1</p>	<p>△語句の由来などに関心をもつとともに、時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気づき、共通語と方言との違いを理解すること。また、仮名及び漢字の由来、特質などについて理解すること。⇒◎知技(3)ウ ◇互いの立場や意図を明確にしながらか計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりすること。⇒思判表A(1)オ</p>	<p>◎【知技】語句の由来などに関心をもっているとともに、時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気づき、共通語と方言との違いを理解している。また、仮名及び漢字の由来、特質などについて理解している。([知識及び技能](3)ウ)</p>	<p>【思判表】「話すこと・聞くこと」において、互いの立場や意図を明確にしながらか計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりしている。([思考力、判断力、表現力等]Aオ)</p>	<p>【態度】積極的に世代による言葉の違いについて理解し、学習課題に沿って相手や場面に応じて適切な言葉を選んで使おうとしている。</p>
<p>漢字の広場 ② 複数の意味をもつ漢字</p>	<p>1</p>	<p>△語句の由来などに関心をもつとともに、時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気づき、共通語と方言との違いを理解すること。また、仮名及び漢字の由来、特質などについて理解すること。⇒◎知技(3)ウ</p>	<p>◎【知技】語句の由来などに関心をもっているとともに、時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気づき、共通語と方言との違いを理解している。また、仮名及び漢字の由来、特質などについて理解している。([知識及び技能](3)ウ)</p>		<p>【態度】積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使い、学習の見通しをもって複数の意味をもつ漢字が構成する熟語の意味を考えようとしている。</p>
<p>五年生で学んだ漢字 ②</p>	<p>1</p>	<p>△第5学年及び第6学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読むこと。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使うこと。⇒◎知技(1)エ ■筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えること。⇒思判表B(1)イ</p>	<p>◎【知技】前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使っている。([知識及び技能](1)エ)</p>	<p>◎【思判表】「書くこと」において、筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えている。([思考力、判断力、表現力等]Bイ)</p>	<p>【態度】積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を使い、学習課題に沿って、教科書の絵を説明する文を書こうとしている。</p>

令和6年度 評価規準

学校名: 江戸川区立西葛西小学校

<p>表現が読み手にあたえる効果について考えよう 川とノリオ</p>	<p>8</p>	<p>△比喩や反復などの表現の工夫に気付くこと。⇒◎知技(1)ク △文章を音読したり朗読したりすること。⇒◎知技(1)ケ ◇互いの立場や意図を明確にしながらか計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりすること。⇒思判表A(1)オ □登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えること。⇒◎思判表C(1)イ □人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすること。⇒◎思判表C(1)エ □文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめること。⇒思判表C(1)◎オ □文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げること。⇒思判表C(1)◎カ</p>	<p>◎【知技】比喩や反復などの表現の工夫に気付いている。〔知識及び技能〕(1)ク) ◎【知技】文章を音読している。〔知識及び技能〕(1)ケ)</p>	<p>【思判表】「話すこと・聞くこと」において、互いの立場や意図を明確にしながらか計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりしている。〔思考力、判断力、表現力等〕Aオ) ◎【思判表】「読むこと」において、登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えている。〔思考力、判断力、表現力等〕Cイ) ◎【思判表】「読むこと」において、人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしている。〔思考力、判断力、表現力等〕Cエ) ◎【思判表】「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。〔思考力、判断力、表現力等〕Cオ) ◎【思判表】「読むこと」において、文章を読んでまとめた意見や感想を共有している。〔思考力、判断力、表現力等〕Cカ)</p>	<p>【態度】進んで優れた表現を味わいながら、人物の心情を読み優れた表現を味わいながら、人物の心情を読み、学習の見通しをもって優れた表現についての感想を話し合おうとしている。</p>
<p>読書の広場① 地域の施設を活用しよう</p>	<p>2</p>	<p>△身のまわりに情報を集めることのできる施設があることを知る。</p>	<p>【知識・技能】 ◎情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使っている。〔2)イ)</p>	<p>【思考・判断・表現】 ○「読むこと」において、目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりしている。〔C(1)イ)</p>	<p>【態度】 ・地域の施設について調べ、情報収集のための活用方法を考えている。</p>
<p>読書の広場② ひろがる読書の世界</p>	<p>3</p>	<p>△特別な一冊を紹介したり、伝記の人物から学んだことを漢字で表したりする活動とおして、日常的に読書に親しむ。</p>	<p>【知識・技能】 ◎日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げること役立つことに気付いている。〔3)オ)</p>	<p>【思考・判断・表現】 ○「読むこと」において、文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている。〔C(1)カ)</p>	<p>【態度】 ・読書生活を振り返り、「特別な一さつ」を紹介し合ったり、これからの読書生活を考えたりしている。</p>
<p>相手の思いを考えながら聞こう 聞かせて！「とっておき」の話</p>	<p>1</p>	<p>△言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気付くこと。⇒◎知技(1)ア ◇話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめること。⇒◎思判表A(1)エ</p>	<p>◎【知技】言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気付いている。〔知識及び技能〕(1)ア)</p>	<p>◎【思判表】「話すこと・聞くこと」において、話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめている。〔思考力、判断力、表現力等〕Aエ)</p>	<p>【態度】積極的に話し手の意図を考慮し、今までの学習を生かして自分の意見と比べて考えをまとめようとしている。</p>

令和6年度 評価規準

学校名:江戸川区立西葛西小学校

<p>詩を読もう イナゴ</p>	<p>1</p> <p>△思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うこと。⇒◎知技(1)オ □登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えること。⇒◎思判表C(1)イ</p>	<p>◎【知技】思考に関わる語句の量を増し、話の中で使っているとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにしている。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。([知識及び技能](1)オ)</p>	<p>◎【思判表】「読むこと」において、登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えている。([思考力、判断力、表現力等]Cイ)</p>	<p>【態度】積極的に言葉の広がりを楽しむ、学習課題に沿って詩の世界を楽しもうとしている。</p>
<p>言葉の文化③ 「知恵の言葉」を集めよう</p>	<p>2</p> <p>△思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うこと。⇒◎知技(1)オ △原因と結果など情報と情報との関係について理解すること。⇒◎知技(2)ア ■目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にすること。⇒思判表B(1)ア</p>	<p>◎【知技】思考に関わる語句の量を増し、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにしている。([知識及び技能](1)オ) ◎【知技】原因と結果など情報と情報との関係について理解している。([知識及び技能](2)ア)</p>	<p>【思判表】「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にしている。([思考力、判断力、表現力等]Bア)</p>	<p>【態度】進んで語感や言葉の使い方に対する感覚を意識し、学習の見通しをもって自分の「知恵の言葉」をつくらうとしている。</p>
<p>てんかいを工夫して物語を書こう あなたは作家</p>	<p>6</p> <p>△文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解すること。⇒◎知技(1)カ ■筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えること。⇒◎思判表B(1)イ ■目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。⇒◎思判表B(1)ウ ■文章全体の構成や書き表し方などに着目し、文や文章を整えている。([思考力、判断力、表現力等]Bオ)</p>	<p>◎【知技】文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、文章の構成や展開、文章の種類とその特徴について理解している。([知識及び技能](1)カ)</p>	<p>◎【思判表】「書くこと」において、筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えている。([思考力、判断力、表現力等]Bイ) ◎【思判表】「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりしていると、事実と感想、意見とを区別して書いたりしているなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。([思考力、判断力、表現力等]Bウ) ◎【思判表】「書くこと」において、文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えている。([思考力、判断力、表現力等]Bオ)</p>	<p>【態度】積極的に物語のつくりの特徴について理解し、学習課題に沿って写真から想像を広げ、展開を考えて物語を作ろうとしている。</p>
<p>言葉の広場③ なぜ、わかり合えなかったのかな？</p>	<p>4</p> <p>△言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気付くこと。⇒◎知技(1)ア ◇話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめること。⇒◎思判表A(1)エ ◇互いの立場や意図を明確にしながらか計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりすること。⇒◎思判表A(1)オ</p>	<p>◎【知技】言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気付いている。([知識及び技能](1)ア)</p>	<p>◎【思判表】「書くこと」において、引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。([思考力、判断力、表現力等]Bエ) ◎【思判表】「書くこと」において、文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えている。([思考力、判断力、表現力等]Bオ)</p>	<p>【態度】積極的に相手とのつながりをつくる言葉の働きを意識し、学習課題に沿って相手との言葉の掛け合いの工夫を考えようとしている。</p>

令和6年度 評価規準

学校名: 江戸川区立西葛西小学校

<p>熟語の使い分け</p>	<p>1</p>	<p>△思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うこと。⇒◎知技(1)オ</p>	<p>◎【知技】思考に関わる語句の量を増し、文章の中で使っているとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにしている。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。〔知識及び技能〕(1)オ)</p>		<p>【態度】積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使い、学習の見通しをもって意味のよく似た熟語の使い方の違いを理解し、使い分けようとしている。</p>
<p>五年生で学んだ漢字 ③</p>	<p>1</p>	<p>△第5学年及び第6学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読むこと。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使うこと。⇒◎知技(1)エ</p>	<p>◎【知技】前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使っている。〔知識及び技能〕(1)エ)</p>	<p>◎【思判表】「書くこと」において、文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えている。〔思考力、判断力、表現力等〕Bオ)</p>	<p>【態度】積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を使い、学習課題に沿って、教科書の絵を説明する文を書こうとしている。</p>
<p>国語の学習 つながる ひろがる</p>	<p>2</p>	<p>◇半年間の国語学習を振り返ったり、これからの学習について考えたりして、計画的に学習できるようにする。</p>	<p>【知識・技能】 ○話の構成や展開、話の種類とその特徴について理解している。((1)カ)</p>	<p>【思考・判断・表現】 ◎「話すこと・聞くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討している。(A(1)ア) ○「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア)</p>	<p>【態度】 ・積極的に上巻の教科書での国語学習を振り返ったり、これからの学習について考えたりして、今までの学習を生かして計画的に学習しようとしている。</p>
<p>きつねの窓</p>	<p>8</p>	<p>△思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うこと。⇒◎知技(1)オ ■目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。⇒思判表B(1)ウ □人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすること。⇒◎思判表C(1)エ □文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを表しめること。⇒◎思判表C(1)オ)</p>	<p>◎【知技】思考に関わる語句の量を増し、話の中で使っているとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにしている。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。〔知識及び技能〕(1)オ)</p>	<p>【思判表】「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりしているとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりしているなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。〔思考力、判断力、表現力等〕Bウ) ◎【思判表】「読むこと」において、人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしている。〔思考力、判断力、表現力等〕Cエ) ◎【思判表】「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。〔思考力、判断力、表現力等〕Cオ)</p>	<p>【態度】進んで登場人物の心情の変化を考え、学習の見通しをもって想像したことを書こうとしている。</p>

令和6年度 評価規準

学校名：江戸川区立西葛西小学校

<p>言葉は時代とともに</p>	<p>4</p>	<p>△古典について解説した文章を読んだり作品の内容の大体を知ったりすることを通して、昔の人のものの見方や感じ方を知ること。⇒◎知技(3)イ)ウ ■文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けること。⇒思判表B(1)カ</p>	<p>◎【知技】古典について解説した文章を読んだり作品の内容の大体を知ったりすることを通して、昔の人のものの見方や感じ方を知っている。([知識及び技能](3)イ)</p>	<p>【思判表】「書くこと」において、文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けている。([思考力、判断力、表現力等]B力)</p>	<p>【態度】積極的に言葉がその時代の人々とともに変化してきたことを理解し、学習課題に沿って自分の考えをまとめようとしている。</p>
<p>説得力のある文章を書こう 十二歳の主張</p>	<p>7</p>	<p>△文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解すること。⇒◎知技(1)カ ■目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。⇒◎思判表B(1)ウ ■引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。⇒◎思判表B(1)エ ■文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えること。⇒◎思判表B(1)オ ■文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けること。⇒◎思判表B(1)カ</p>	<p>◎【知技】文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、文章の構成や展開、文章の種類とその特徴について理解している。([知識及び技能](1)カ)</p>	<p>◎【思判表】「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりしているとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりしているなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。([思考力、判断力、表現力等]Bウ) ◎【思判表】「書くこと」において、引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。([思考力、判断力、表現力等]Bエ) ◎【思判表】「書くこと」において、文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えている。([思考力、判断力、表現力等]Bオ) ◎【思判表】「書くこと」において、文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けている。([思考力、判断力、表現力等]Bカ)</p>	<p>【態度】積極的に情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し、学習課題に沿って理由や根拠を示して、説得力のある意見文を書こうとしている。</p>
<p>漢字の広場 ④ 音を表す部分</p>	<p>1</p>	<p>△語句の由来などに関心をもつとともに、時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気付き、共通語と方言との違いを理解すること。また、仮名及び漢字の由来、特質などについて理解すること。⇒◎知技(3)ウ</p>	<p>◎【知技】語句の由来などに関心をもっているとともに、時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気付き、共通語と方言との違いを理解している。また、仮名及び漢字の由来、特質などについて理解している。([知識及び技能](3)ウ)</p>		<p>【態度】積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使い、学習の見通しをもって形声文字について、音と意味、成り立ちも含めて理解しようとしている。</p>
<p>五年生で学んだ漢字 ④</p>	<p>1</p>	<p>△第5学年及び第6学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読むこと。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使うこと。⇒◎知技(1)エ</p>	<p>◎【知技】前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使っている。([知識及び技能](1)エ)</p>		<p>【態度】積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を使い、学習課題に沿って、教科書の絵を説明する文を書こうとしている。</p>

令和6年度 評価規準

学校名：江戸川区立西葛西小学校

<p>自分の経験と重ねて読み、考えを広げよう あなたは感じる？</p>	<p>2</p>	<p>△情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うこと。⇒知技(2)イ □文章を読んで理解したことに基いて、自分の考えをまとめること。⇒◎思判表C(1)オ</p>	<p>◎【知技】情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使っている。([知識及び技能](2)イ)</p>	<p>◎【思判表】「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基いて、自分の考えをまとめている。([思考力、判断力、表現力等]Cオ)</p>	<p>【態度】進んで文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、学習課題に沿って友達と自分の感じ方の違いについて考えようとしている。</p>
<p>自分の経験と重ねて読み、考えを広げよう ぼくの世界、君の世界</p>	<p>7</p>	<p>△原因と結果など情報と情報との関係について理解すること。⇒◎知技(2)ア ■目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。⇒◎思判表A(1)エ</p>	<p>◎【知技】原因と結果など情報と情報との関係について理解している。([知識及び技能](2)ア)</p>	<p>【思判表】「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりしているとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりしているなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。([思考力、判断力、表現力等]Bウ)</p>	<p>【態度】進んで筆者の考えに気をつけながら、文章の要旨を捉え、自分の経験をふりかえりながら「心の世界」について考えようとしている。</p>
<p>自分の経験と重ねて読み、考えを広げよう 「うれしさ」って何？——哲学対話をしよう</p>	<p>4</p>	<p>△原因と結果など情報と情報との関係について理解すること。⇒◎知技(2)ア ◇話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめること。⇒◎思判表A(1)エ</p>	<p>◎【知技】原因と結果など情報と情報との関係について理解している。([知識及び技能](2)ア)</p>	<p>◎【思判表】「話すこと・聞くこと」において、話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめている。([思考力、判断力、表現力等]Aエ)</p>	<p>【態度】積極的にお互いの考えや意見を関連づけて述べ合い、今までの学習を生かして共通点や相違点をもとに分類しようとしている。</p>
<p>読書の広場③ 「読書タイムライン」を作って交流しよう</p>	<p>4</p>	<p>△日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに役立つことに気付くこと。⇒◎知技(3)オ ◇話の内容が明確になるように、事実と感想、意見とを区別するなど、話の構成を考えること。⇒◎思判表A(1)イ ◇資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫すること。⇒◎思判表A(1)ウ ■目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。⇒思判表B(1)ウ □文章を読んで理解したことに基いて、自分の考えをまとめること。⇒◎思判表C(1)オ</p>	<p>◎【知技】日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに役立つことに気付いている。([知識及び技能](3)オ)</p>	<p>◎【思判表】「話すこと・聞くこと」において、話の内容が明確になるように、事実と感想、意見とを区別するなど、話の構成を考えている。([思考力、判断力、表現力等]Aイ) ◎【思判表】「話すこと・聞くこと」において、資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫している。([思考力、判断力、表現力等]Aウ) 【思判表】「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりしているとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりしているなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。([思考力、判断力、表現力等]Bウ) ◎【思判表】「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基いて、自分の考えをまとめている。([思考力、判断力、表現力等]Cオ)</p>	<p>【態度】進んで書き表し方に着目して文を整え、これまでに読んだ本の中から好きな本について書評を書き、紹介し合おうとしている。</p>
<p>言葉の広場④ その場にふさわしい言い方</p>	<p>3</p>	<p>△日常よく使われる敬語を理解し使い慣れること。⇒◎知技(1)キ</p>	<p>◎【知技】日常よく使われる敬語を理解し、使い慣れている。([知識及び技能](1)キ)</p>		<p>【態度】積極的に語感や言葉の使い方に対する感覚を意識し、学習課題に沿って敬意を表す言い方を適切に使い分けようとしている。</p>

令和6年度 評価規準

学校名: 江戸川区立西葛西小学校

<p>詩を読もう 紙風船</p>	<p>2</p>	<p>□詩を朗読して表現の効果について考え、人物像を具体的に想像する。</p>	<p>【知識・技能】 ◎比喩や反復などの表現の工夫に気付いている。(1)ク ◎文章を音読したり朗読したりしている。(1)ケ</p>	<p>【思考・判断・表現】 ◎「読むこと」において、人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしている。(C(1)エ)</p>	<p>【態度】 ・すすんで言葉からイメージを膨らませ、詩の世界を味わおうとしている。</p>
<p>筆者の書き方の工夫を見つけよう 「迷う」</p>	<p>4</p>	<p>△文中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解すること。⇒◎知技(1)カ □事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握すること。⇒◎思判表C(1)ア □目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりすること。⇒◎思判表C(1)ウ</p>	<p>◎【知技】文中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解している。([知識及び技能](1)カ)</p>	<p>◎【思判表】「読むこと」において、事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握している。([思考力、判断力、表現力等]Cア) ◎【思判表】「読むこと」において、目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりしている。([思考力、判断力、表現力等]Cウ)</p>	<p>【態度】積極的に随筆の特徴について理解し、今までの学習を生かして、者のものの見方や感じ方などに触れ、随筆に親しもうとしている。</p>
<p>伝えたいことを明確にして書こう 六年間の思い出をつづろう—卒業文集</p>	<p>5</p>	<p>■事実や経験をもとに、感じたり考えたりしたことや自分にとっての意味について考えたことを文章に書く。</p>	<p>【知識・技能】 ◎比喩や反復などの表現の工夫に気付いている。(1)ク</p>	<p>【思考・判断・表現】 ◎「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア)</p>	<p>【態度】 ・自分のこれまでの小学校生活を振り返り、心に残っている事柄と自分にとっての意味を考えながら、読み手に伝わる文章を書こうとしている。</p>
<p>言葉と私たち</p>	<p>2</p>	<p>△話し言葉と書き言葉との違いに気付くこと。⇒知技(1)イ ◇話の内容が明確になるように、事実と感想、意見とを区別するなど、話の構成を考えること。⇒思判表A(1)イ ■目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にすること。⇒思判表B(1)ア □目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりすること。⇒◎思判表C(1)ウ</p>	<p>◎【知技】話し言葉と書き言葉との違いに気付いている。([知識及び技能](1)イ)</p>	<p>【思判表】「話すこと・聞くこと」において、話の内容が明確になるように、事実と感想、意見とを区別するなど、話の構成を考えている。([思考力、判断力、表現力等]Aイ) 【思判表】「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にしている。([思考力、判断力、表現力等]Bア) ◎【思判表】「読むこと」において、目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりすること。⇒◎思判表C(1)ウ</p>	<p>【態度】粘り強く論の進め方について考え、学習の見通しをもって言葉に対する自分の考えを書こうとしている。</p>
<p>漢字の広場 ⑤ 同じ訓をもつ漢字</p>	<p>1</p>	<p>△思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うこと。⇒◎知技(1)オ</p>	<p>◎【知技】思考に関わる語句の量を増し、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにしている。([知識及び技能](1)オ)</p>		<p>【態度】積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使い、学習の見通しをもって異字同訓について理解を深め、関心をもつとともに正しく使い分けようとしている。</p>

令和6年度 評価規準

学校名：江戸川区立西葛西小学校

<p>五年生で学んだ漢字⑤</p>	<p>1</p>	<p>△第5学年及び第6学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読むこと。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使うこと。⇒◎知技(1)エ ■目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝</p>	<p>◎【知技】前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使っている。〔知識及び技能〕(1)エ</p>	<p>◎【思判表】「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりしているとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりしているなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。〔思考力、判断力、表現力等〕Bウ</p>	<p>【態度】積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を使い、学習課題に沿って、教科書の絵を説明する文を書こうとしている。</p>
<p>伝記を読んで、生き方について自分の考えをまとめよう 津田梅子——未来をきりひらく「人」への思い</p>	<p>11</p>	<p>△文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解すること。⇒知技(1)カ ■目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。⇒思判表B(1)ウ <input type="checkbox"/>人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすること。⇒◎思判表C(1)エ <input type="checkbox"/>文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめること。⇒◎思判表C(1)オ</p>	<p>【知技】文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、文章の構成や展開、文章の種類とその特徴について理解している。〔知識及び技能〕(1)カ</p>	<p>【思判表】「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりしているとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりしているなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。〔思考力、判断力、表現力等〕Bウ ◎【思判表】「読むこと」において、人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしている。〔思考力、判断力、表現力等〕Cエ ◎【思判表】「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。〔思考力、判断力、表現力等〕Cオ ◎【思判表】「読むこと」において、文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている。〔思考力、判断力、表現力等〕Cカ</p>	<p>【態度】積極的に原因と結果など情報と情報との関係について理解し、学習課題に沿って伊能忠敬の生き方を考えたあと、興味のある人物の伝記を読んで、その人物を紹介しようとしている。</p>
<p>言葉の広場⑤ 日本語の文字</p>	<p>2</p>	<p>△語句の由来などに関心をもつとともに、時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気付き、共通語と方言との違いを理解すること。また、仮名及び漢字の由来、特質などについて理解すること。⇒◎知技(3)ウ ◇目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付け</p>	<p>◎【知技】語句の由来などに関心をもっているとともに、時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気付き、共通語と方言との違いを理解している。また、仮名及び漢字の由来、特質などについて理解している。〔知識及び技能〕(3)ウ</p>	<p>【思判表】「話すこと・聞くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討している。〔思考力、判断力、表現力等〕Aア</p>	<p>【態度】積極的に日本語の文字の由来や特徴を理解し、今までの学習を生かして適切に使い分けようとしている。</p>
<p>漢字の広場⑥ さまざまな読み方／特別な読み方の言葉</p>	<p>2</p>	<p>△思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うこと。⇒◎知技(1)オ</p>	<p>◎【知技】思考に関わる語句の量を増し、話の中で使っているとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにしている。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。〔知識及び技能〕(1)オ</p>		<p>【態度】積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使い、学習の見直しをもって同形異語や熟字訓、同字異訓についての理解を深め、言葉の使い方に関心をもとうとしている。</p>

令和6年度 評価規準

学校名:江戸川区立西葛西小学校

<p>ひろがる言葉 出会った言葉をふり返ろう</p>	<p>4</p>	<p>△話し言葉と書き言葉との違いに気付くこと。 ⇒◎知技(1)イ ◇目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討すること。⇒◎思判表A(1)ア ◇互いの立場や意図を明確にしながらか計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりすること。⇒◎思判表A(1)オ</p> <p>■目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。⇒◎思判表B(1)ウ ■文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けること。⇒◎思判表B(1)カ</p>	<p>◎【知技】話し言葉と書き言葉との違いに気付いている。([知識及び技能](1)イ)</p>	<p>◎【思判表】「話すこと・聞くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討している。([思考力, 判断力, 表現力等]Aア) ◇「話すこと・聞くこと」において、互いの立場や意図を明確にしながらか計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりしている。([思考力, 判断力, 表現力等]Aオ) ◎【思判表】「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりしているとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりしているなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。([思考力, 判断力, 表現力等]Bウ) ◎【思判表】「書くこと」において、文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を</p>	<p>【態度】積極的に卒業を前に六年間の言葉の学びを振り返り、成長を自覚するとともに、中学校での新しい言葉との出会いの希望を持つようとしている。</p>
--------------------------------	----------	--	---	---	--